

令和4年度版

山梨県林業統計書

山梨県林政部

利用される方々へ

- 1 この統計は、令和3年度中の事業実績と令和4年3月31日現在の現況を収録、表示することを原則としています。また、例外については、表ごとに表示しています。
- 2 統計資料は、各課からの資料をもとに編集していますが、国有林については、関東森林管理局山梨森林管理事務所の資料により編集しています。
- 3 統計資料の数値は原則、「Ⅰグラフで見る山梨の森林・林業」を過去10カ年、「Ⅱ森林・林業統計表」を過去5カ年で記載しています。なお、例外については各表ごとに表示しています。
- 4 単位は、原則として面積はヘクタール (ha)、立木材積、素材材積、石材は立方メートル (m³)、重量はトン (t)、薪は束、金額は円としています。
- 5 数字は単位未満は四捨五入することを原則としましたが、合計数字と内訳数字とが一致しない場合もあります。

- 6 表中の符号の用法は次のとおりです。

「0」 ……単位に満たないもの

「-」 ……該当数字なし

「…」 ……事実がわからない

「×」 ……個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計を公表しないもの

- 7 用語の解説

恩賜県有財産：

明治44年3月11日に御下賜された御料地を主体に恩賜県有財産特別会計で管理経営している県有林等をいう。

官行造林地：

公共団体所有の荒廃地に、昭和36年までに国が実施した分収造林地

点生木：

被災や収穫により、部分的に残った立木。複層林の上木樹冠占有率が30%未満の場合には、下層木の一斉林と見なし、上木を点生木扱いとしている。

不要存置県有林野：

恩賜県有財産存廃区分調査内規に基づき、経営対象森林（要存置林野）に区分されなかったもので、飛び地や狭小地が多い。その後、地元売り払ったり、見直しにより要存置林野に編入されたものは除かれる。

無立木地：

立木のない林地及び樹冠占有率30%未満の林分であって、伐採跡地と未立木地に区分する。

国有林野の地域別の森林計画書：

森林管理局長が、その管理経営する国有林につき全国森林計画に即し、森林計画区別に5年ごとに10年を一期として作成する計画

目 次

I グラフで見る山梨の森林・林業

1 森林資源の現状	2
2 木材需給量と材価	5
3 主な特用林産物の生産量（指数）の推移	10
4 林業生産活動の動向	11
5 森林・林業の役割	15

II 森林・林業統計表

森林の現況

1 管轄区域と管理面積	20
(1) 県有林・民有林	
(2) 国有林	
2 行政区画別森林面積	21
3 林種別・所管別森林面積	22
4 行政区画別森林蓄積	24
5 林種別・所管別森林蓄積	26
6 樹種別面積・蓄積	27
(附表) 地域森林計画樹立の状況	
(附表) 樹種別伐期齢	
7 保安林面積	29
8 保安林整備事業	30
(1) 保安林改良事業	
(2) 保安林保育事業	
9 県有林貸付地種類別面積	32
10 国・県有林の部分林	33

造林

11 苗畑面積	36
12 種苗生産	37
13 山行苗木需給状況	38
(1) 県有林・民有林需給	
(2) 国有林需給	
15 造林実行面積	42
(1) 育成単層林整備	
(2) 育成複層林整備	
(附表) 国有林・県有林造林種別内訳	
16 苗木価格	45
17 採種園設定状況	45
18 精英樹選出状況	46

収穫

19 国・県・民有林別、針・広別伐採量	48
20 成長量・標準年伐量	48
21 県有林主・間伐別立木処分量	50
(附表) 事務所別内訳	
22 県有林主産物契約方法別処分量	52

23 県有林主産物用途別処分量	53
24 県有林副産物処分量	54

木材需給と木材産業

25 県内木材価格の推移	56
26 用材（原木）需給の状況	57
27 製材	58
(1) 製材工場数・動力の出力数及び従業者数	
(2) 製材用素材の入荷量	
(3) 国産材・外材別の工場数及び原木入荷量	
(4) 製材品の用途別出荷量	
28 チップ	60
(1) 木材チップ工場数及び従業者数	
(2) 原材料入手区分別木材チップ生産量	

特用林産

31 管内別薪生産量	62
32 管内別木炭生産量	63
34 特用林産物生産量	63
35 管内別しいたけ生産量	64
(1) 生しいたけ	
(2) 乾しいたけ	

林道

36 県営林道の現況	66
37 県営林道5ヶ年実績	66
38 補助林道の現況	67
39 補助林道5ヶ年実績	67

治山

40 治山事業の現況	70
41 民有林直轄治山事業（山梨森林管理事務所）	76

林野被害

42 林野被害	78
43 森林保険契約及び損害てん補状況	80

森林組合及び林業金融

44 森林組合の状況	82
46 日本政策金融公庫資金借入状況	84
47 林業関係資金貸付状況	85
(1) 林業・木材産業改善資金貸付状況	
(2) 木材産業高度化推進資金貸付状況	

普及

48 林業普及指導員配置状況	88
49 林業普及指導の協力員・団体の状況	88
50 林業機械器具の現況	89

試験研究及び研修

51	試験研究実績表	92
52	森林総合研究所及び部内研修実績表	96
	(1) 基礎研修	
	(2) 専門研修	
	(3) 技能者養成研修	
	(4) 森の教室	
	(5) 植物園研修	

林業・木材産業構造改革

53	林業・木材産業構造改革事業実績	100
	(1) 林業構造改善事業等市町村別実績	
	(2) 林業・木材産業構造改革事業等実績	

環境緑化及び森林の保健・文化・教育的利用

54	緑の募金	104
	(1) 「緑の募金」実績額の推移	
	(2) 「緑の募金」の主な用途	
55	緑化樹生産	105
	(1) 公共用緑化樹養成数	
	(2) 施設別緑化樹配付状況	
56	緑の少年隊	106
57	森林公園	107
	(1) 県民の森	
	(2) 武田の杜	
	(3) 金川の森	
58	森林文化の森	108

林地開発許可等の現況

59	林地開発許可状況	110
60	採石、山・陸砂利、土採取認可状況	110
61	土砂の埋立て等許可等の状況	111
62	ゴルフ場の現況	112

恩賜県有財産

63	県有林の地籍移動	114
64	県有林以外の土地及び建物一覧表	115
65	境界保全管理事業実績	116

林政

66	林政関係予算及び決算	118
	(1) 一般会計	
	(2) 林業改善資金特別会計	
	(3) 恩賜県有財産特別会計	
67	恩賜林の交付金交付状況	124
68	行政組織図	125
69	行政職員数	126

林業公社

70 造林実行面積	128
71 保育事業実績	128

その他

72 自然公園	130
73 名勝および天然記念物	134
(1)文化財保護法による指定	
(2)山梨県文化財保護条例による指定	
74 山梨県自然環境保全条例による自然環境保全地区等一覧表	140
(1)自然環境保全地区一覧表	
(2)自然記念物一覧表	
75 やまなしの森林100選	142

附属資料

森林・林業関係団体	146
森林組合・国の機関等	147

注)次の項目は欠番

- 14 山梨県営苗畑一覧表
- 29 県有林製品生産
- 30 国有林製品処分量
- 33 木炭価格
- 45 共同利用施設の内容

1 森林資源の現状

- ◇ 本県の森林面積は34万7千haで県土の78%を占め、国有林5千ha(1%)、県有林15万8千ha(46%)、民有林18万5千ha(53%)から構成されている。
- ◇ 森林資源の構成は、人工林15万3千ha、天然林17万2千ha、その他2万2千ha。森林面積の44%を占める人工林の年齢構成は、X年齢以上(46年生以上)が80%であり、伐期に達した森林の占める割合が増加している。

森林面積と森林比率

全 国		
総面積	森林面積	森林比率
37,297千ha	25,048千ha	67.2%

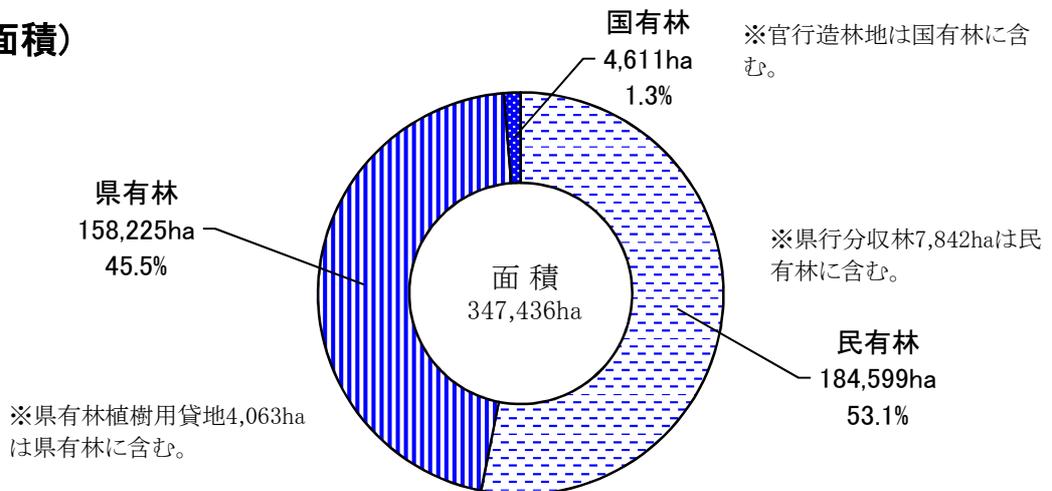
※総面積は、北方領土面積を除いた国土地理院出典全国都道府県市区町村別面積調による(R4.1.1時点)
 ※森林面積は、森林法第2条第1項に規定する森林の数値(2022「森林・林業統計要覧」(林野庁編)による)

山 梨		
総面積	森林面積	森林比率
446,527ha	347,436ha	77.8%

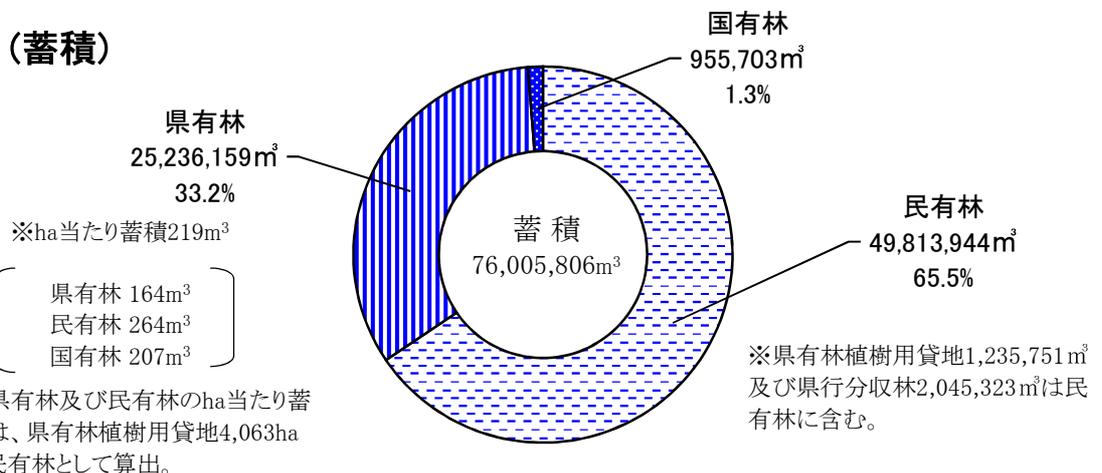
※総面積は、「山梨県統計年鑑」(令和3年度刊行)による
 ※森林面積は、森林法第5条に規定する地域森林計画の対象森林と県内国有林の計(R4.3.31時点)
 (森林整備課の業務資料及び関東森林管理局の数値による)

所有形態別森林面積と蓄積

(面積)



(蓄積)



人工林面積と人工林率

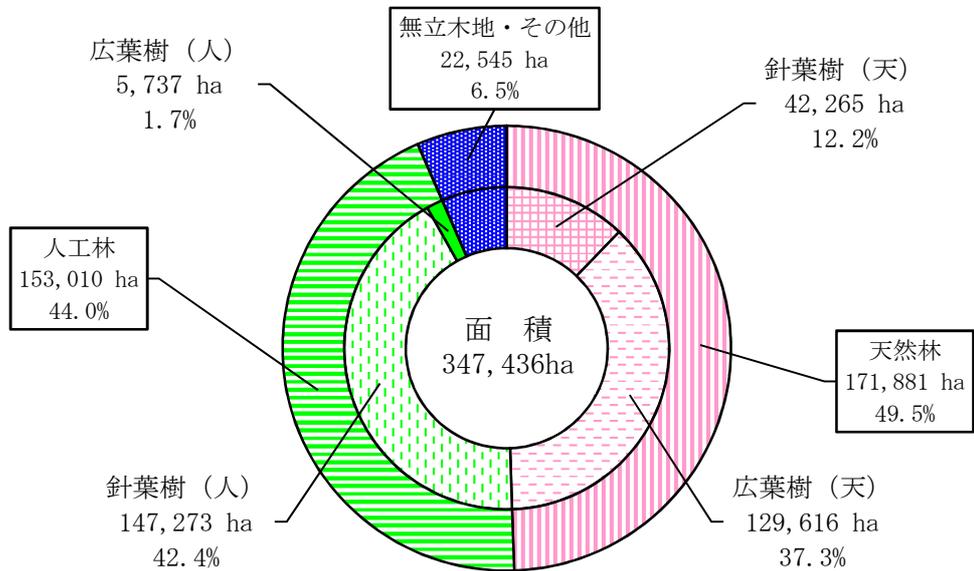
全 国		山 梨
10,204 千ha	人 工 林 面 積	153,010 ha
40.7 %	人 工 林 率	44 %

※全国の人工林面積は、2022「森林・林業統計要覧」（林野庁編）

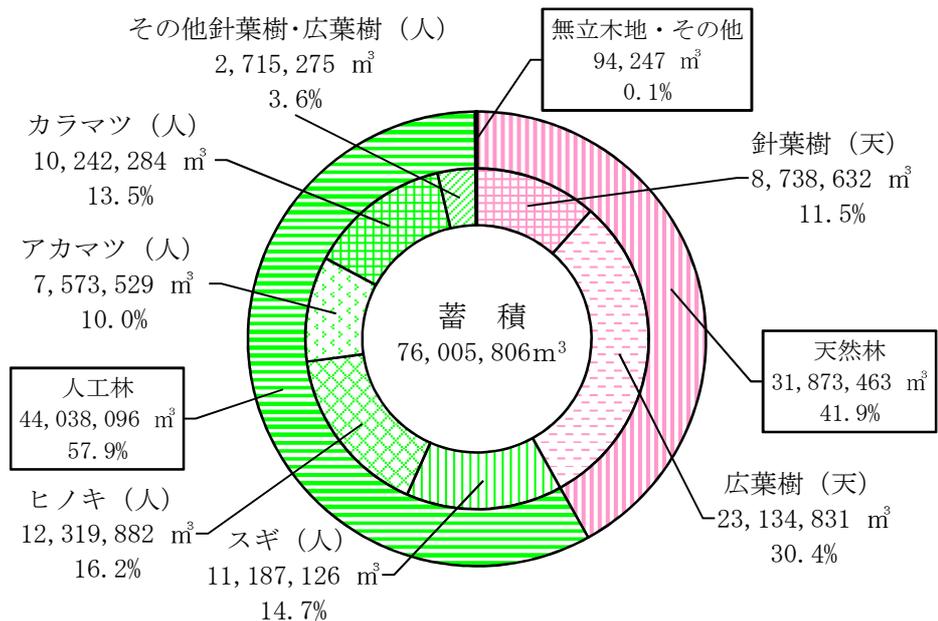
※山梨県の人工林面積は、森林整備課の業務資料（国有林については関東森林管理局の数値）

林種別・樹種別面積と蓄積

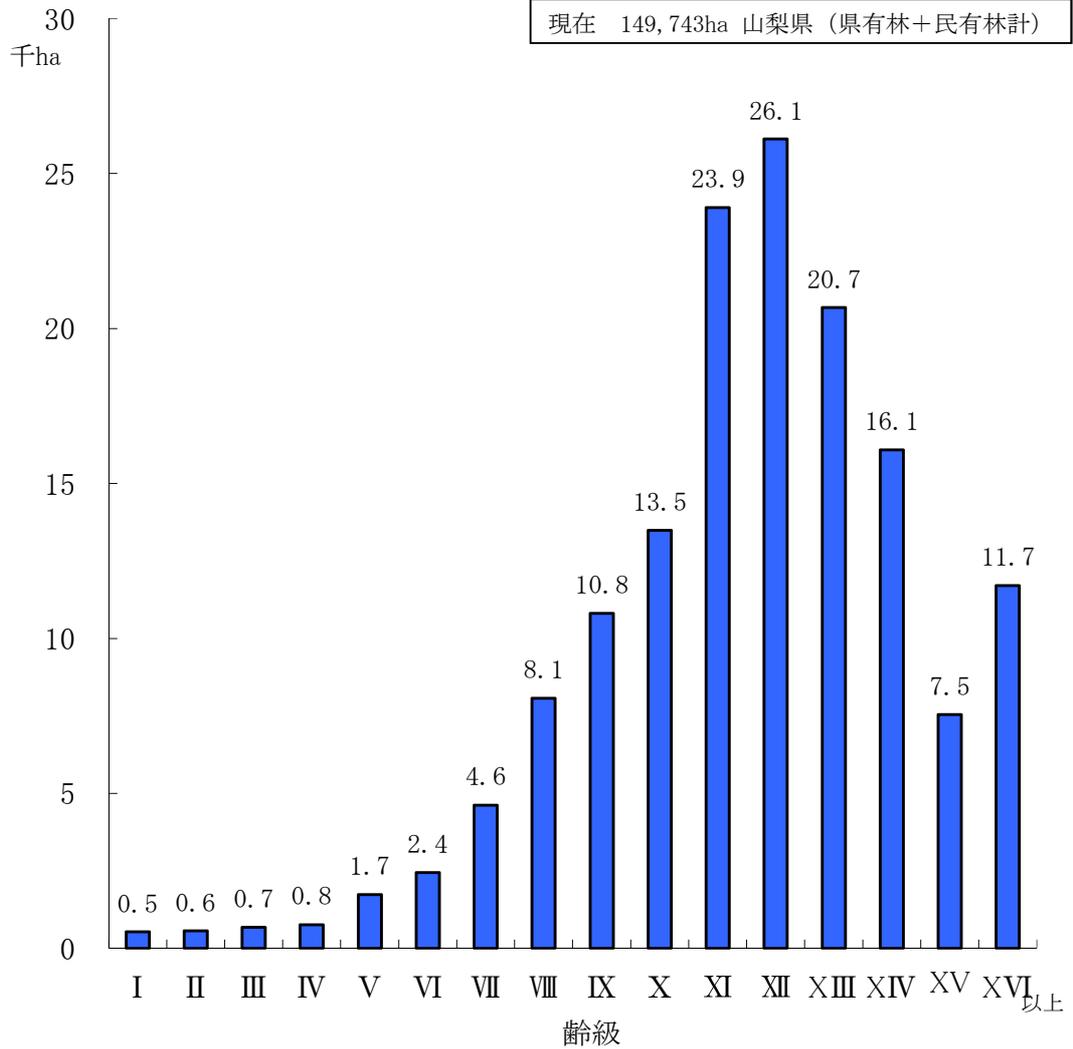
(面積)



(蓄積)



齡級別人工林面積



構成比

	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	XVI
山梨県	0	0	0	1	1	2	3	5	8	9	16	17	14	11	5	8
全国	1	1	1	2	2	3	6	8	11	15	16	14	9	3	2	6%

構成比(山梨県)

III齡級以下 (15年生以下)	1%
IV～IX齡級 (16～45年生)	19%
X齡級以上 (46年生以上)	80%

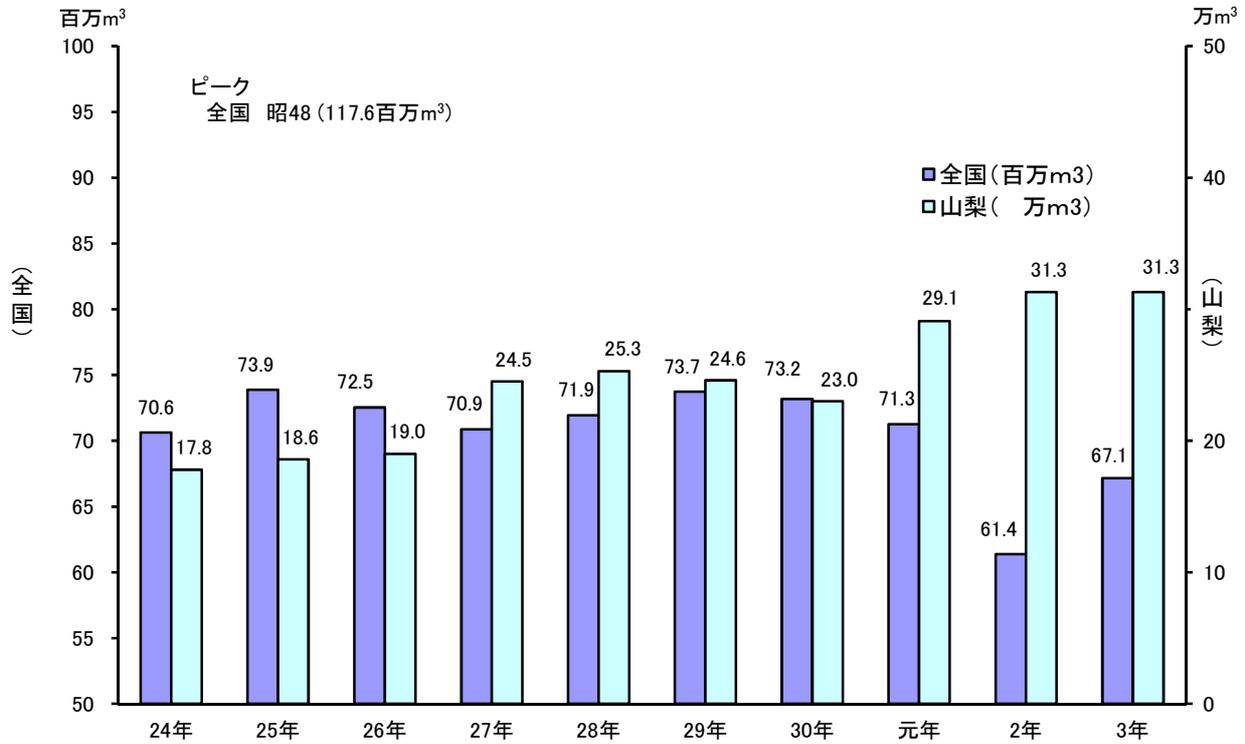
資料：全国は、2022「森林・林業統計要覧」（林野庁編）
山梨県は、森林整備課の業務資料（国有林除く）

齡級：森林の林齢を5年の幅でくくった単位。人工林は、苗木を植栽した年を1年生とし、1～5年生をI齡級、6～10年生をII齡級と数える。

2 木材需給量と材価

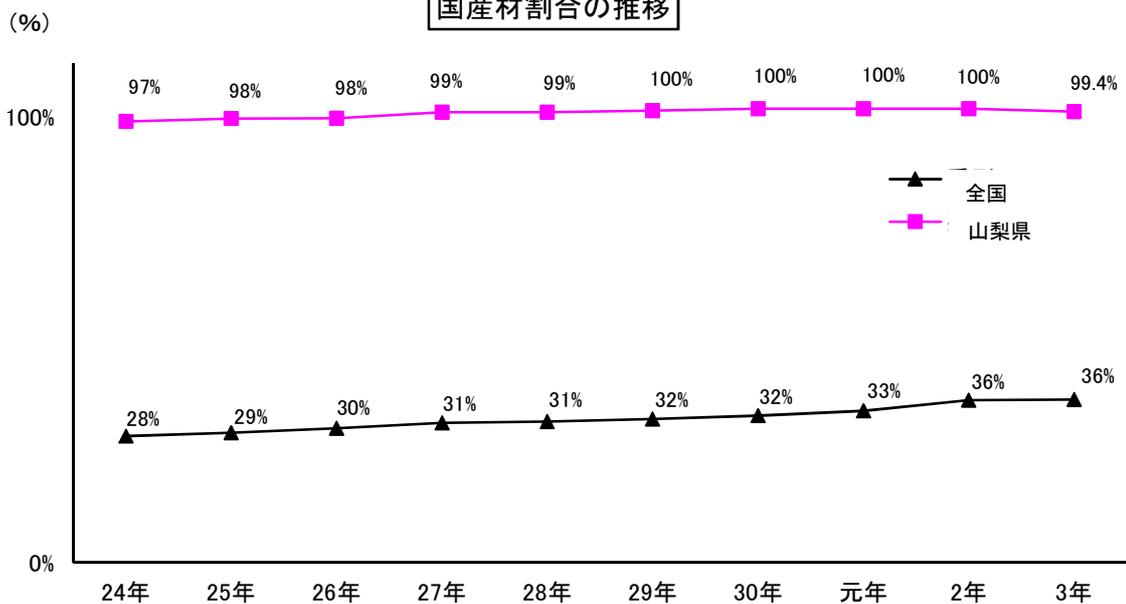
- ◇ 本県の木材（素材）需給量は、増加傾向に転じ、令和3年は31.3千m³となっている。用途別内訳では、製材、合板が増加傾向にある。
- ◇ 国産丸太価格は平成27年以降は概ね横ばいであったが、令和3年には大幅に上昇している。

用材需要(供給)量の推移



注：需給量には、製材品、木材パルプ、合板、薪炭材等の丸太以外の形態で輸入されたものについて、丸太材積に換算してカウントしている。

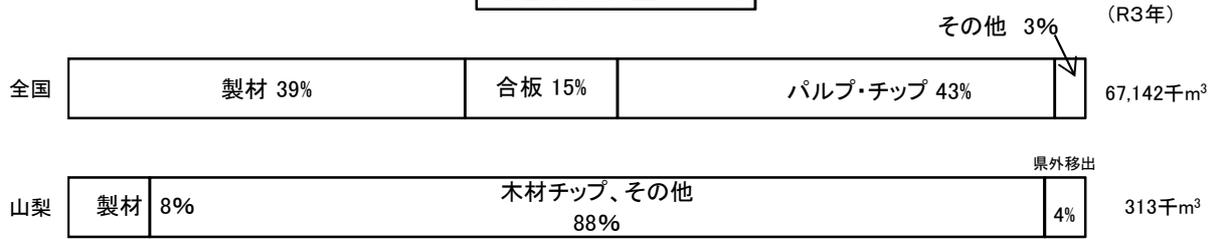
国産材割合の推移



資料：木材需給表（林野庁）
「県製材工場等調査等」（平成27年度～）

※平成30年度から一部（山梨県を含む）県別の外材輸入量が未公表

用途別需要量の割合

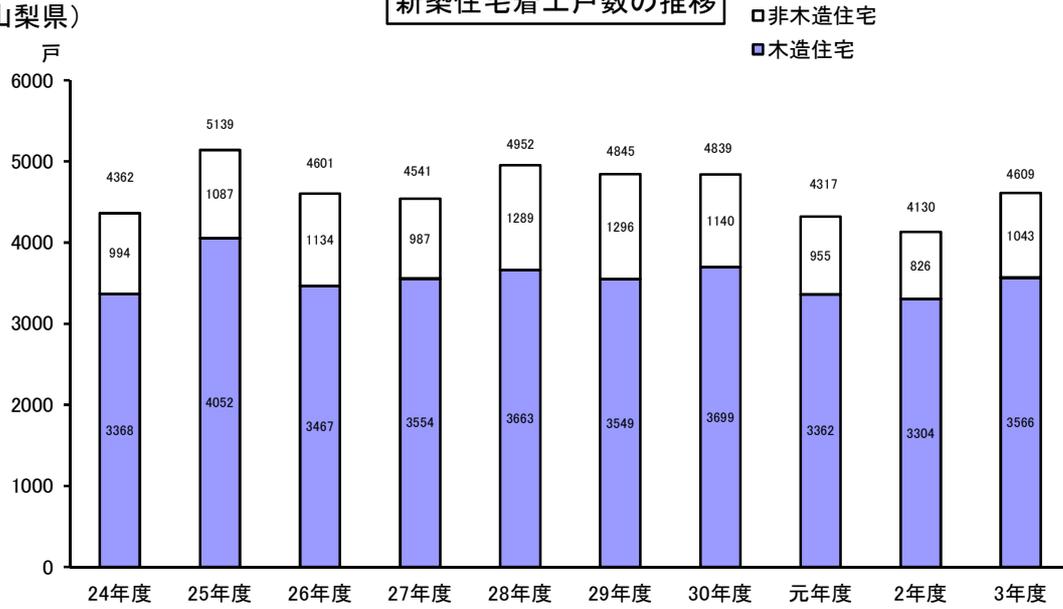


※平成30年度から一部（山梨県を含む）県別の用途別需要量が未公表

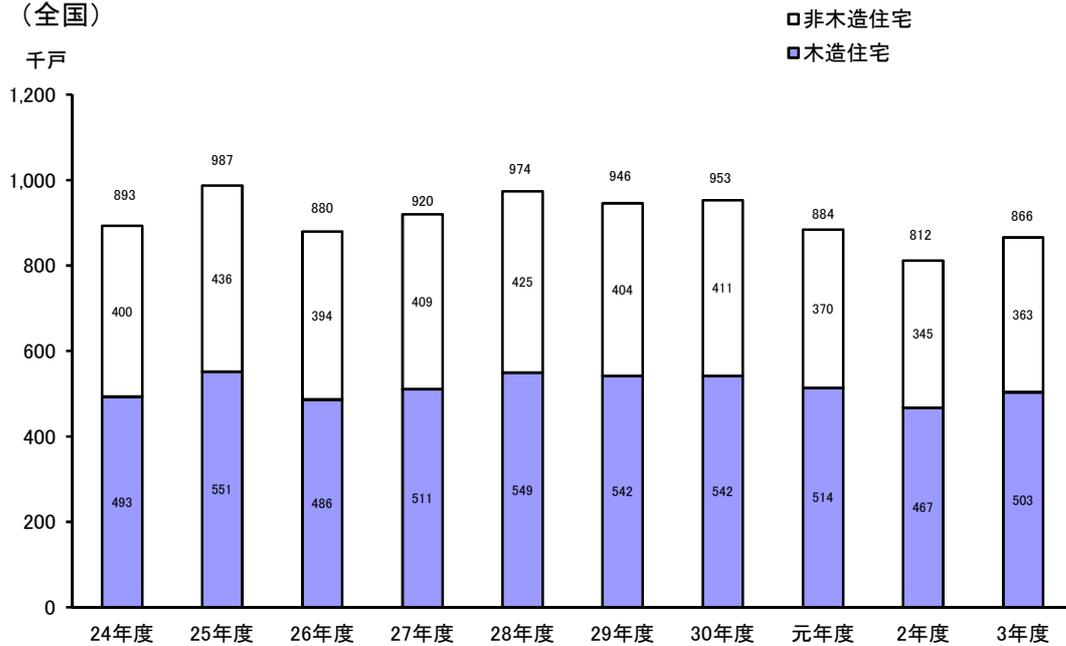
資料：木材需給表（林野庁）
県製材工場等調査等

(山梨県)

新築住宅着工戸数の推移

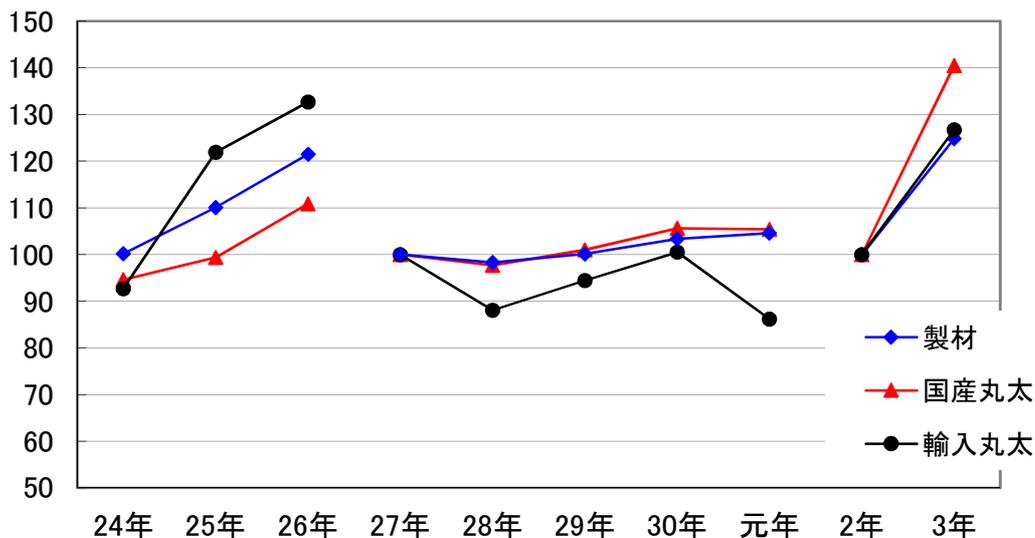


(全国)



資料：国土交通省 住宅着工統計

木材価格指数の推移 (全国)

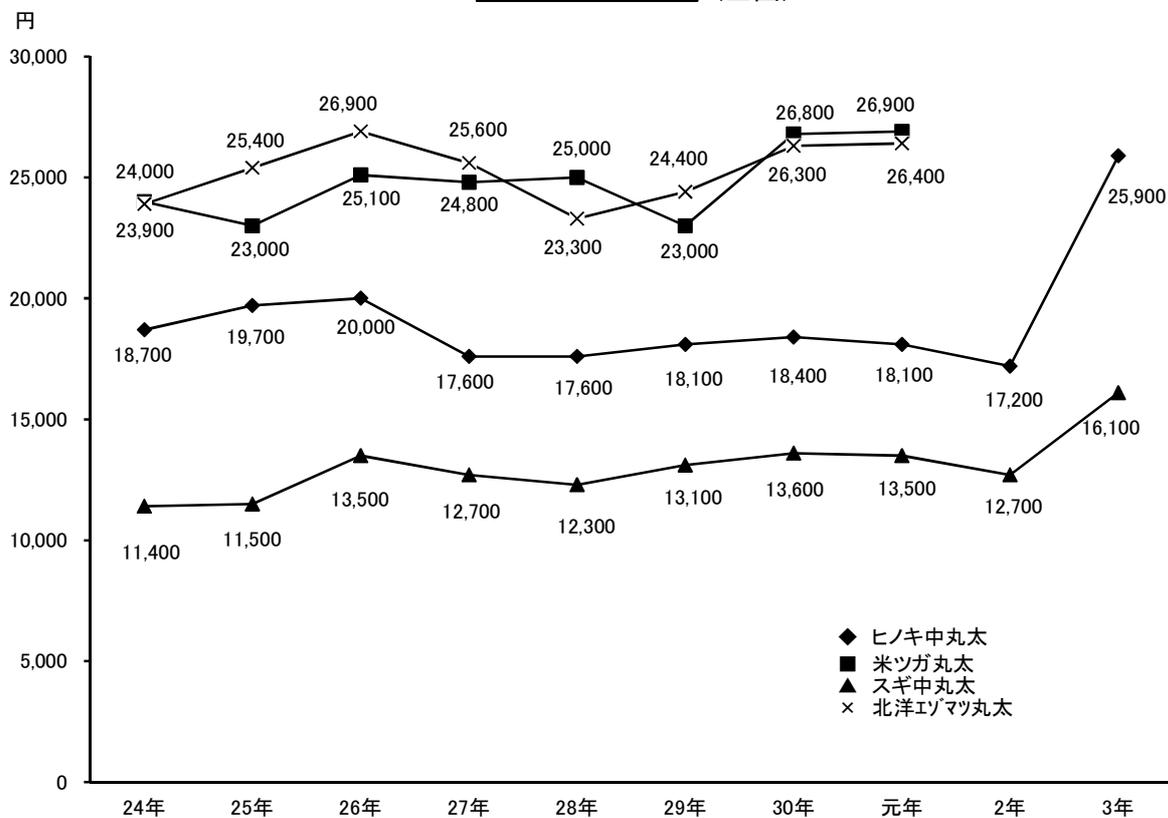


※出典「木材情報」物価指数の推移 (財)日本木材総合情報センター

※出典元の国内企業物価指数、輸入企業物価指数は、H22、H27、R2を100として算出

丸太価格の推移 (全国)

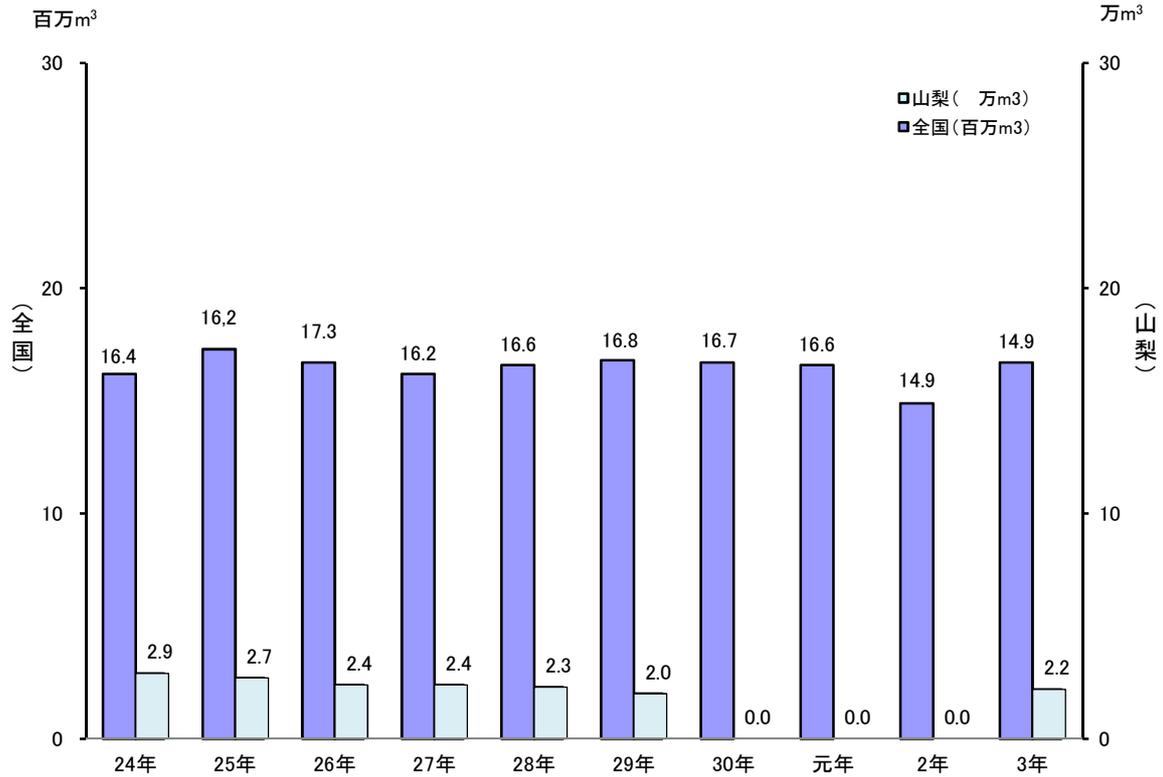
(m³当たり)



資料:「木材情報」製材用素材価格 (財)日本木材総合情報センター

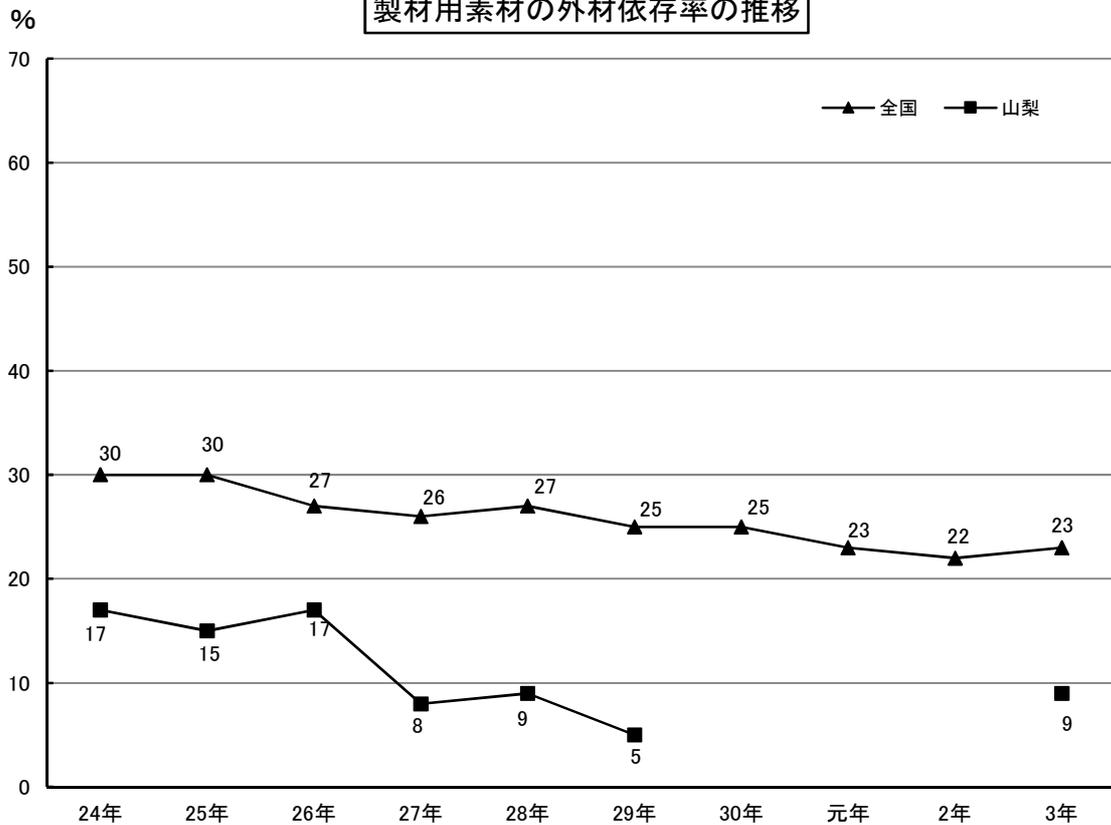
※令和2年から一部未公表

製材用素材の入荷量の推移



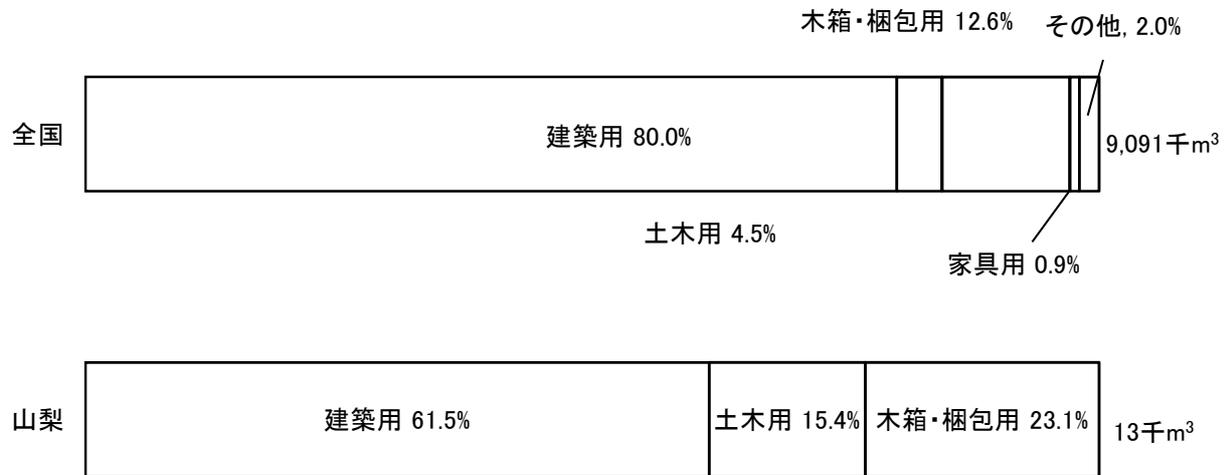
※平成30年度から一部（山梨県を含む）県別の製材用素材の入荷量が未公表
出典:木材統計(農林水産省)

製材用素材の外材依存率の推移



※平成30年度から一部（山梨県を含む）県別の外材輸入量が未公表
出典:木材統計(農林水産省)

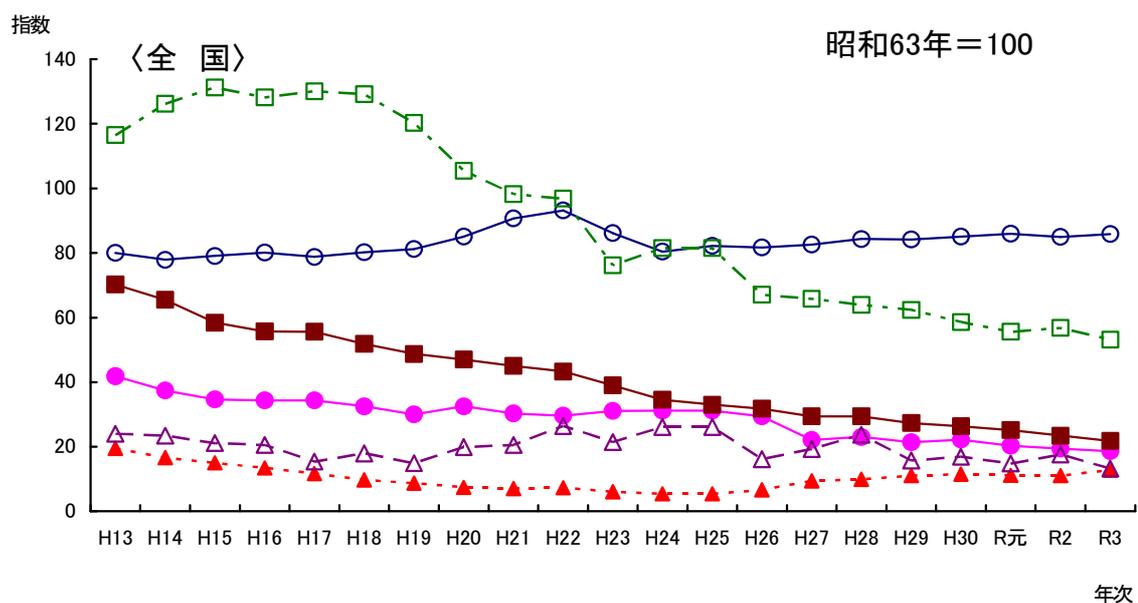
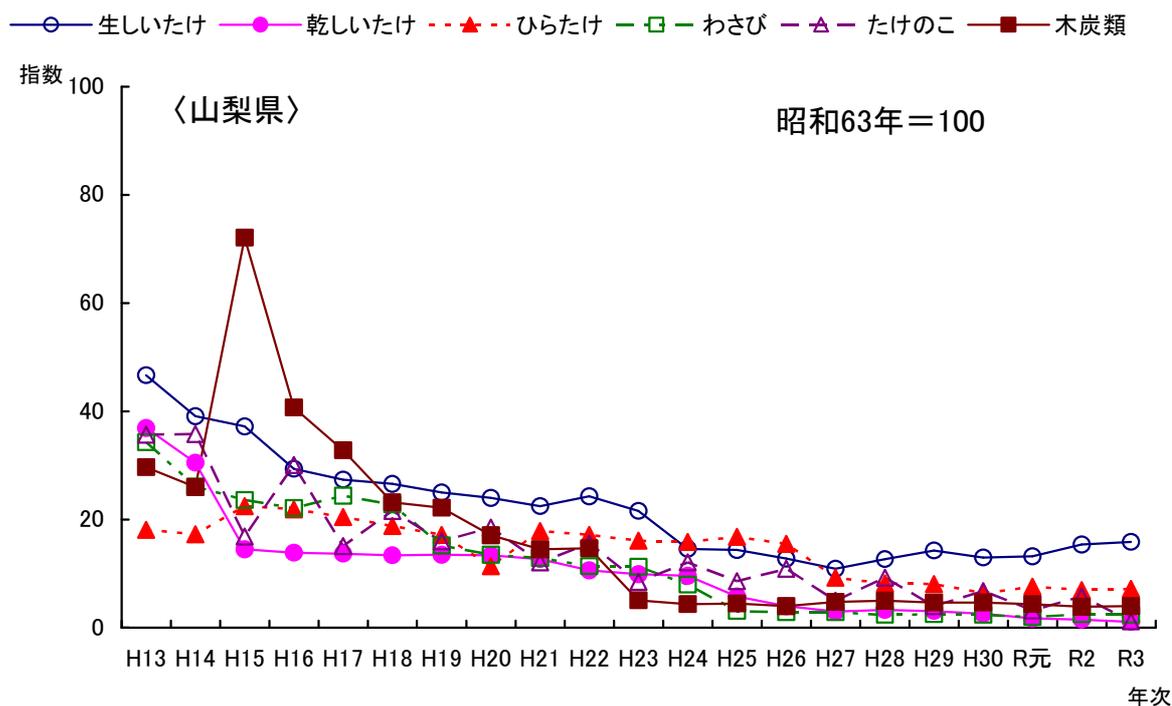
製材品の用途別出荷量の割合



出典:木材統計(農林水産省)

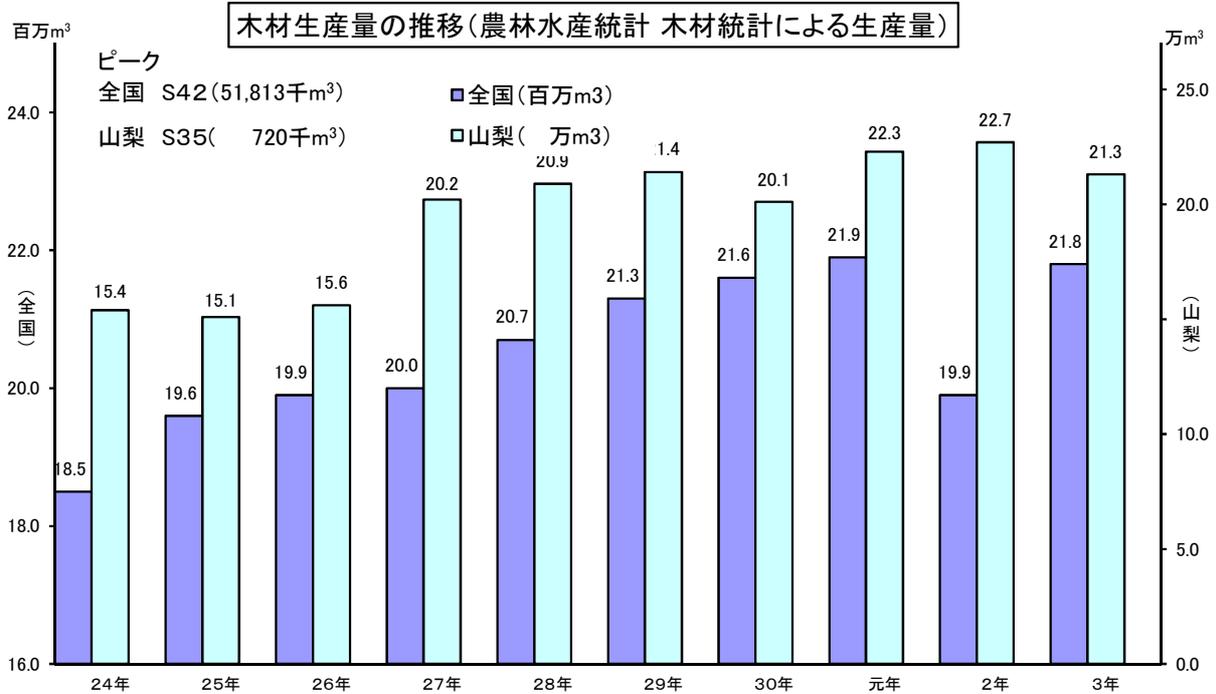
3 主な特用林産物の生産量（指数）の推移

- ◇ 特用林産物は、農林家の短期収入源として重要な地位を占めているが、生産量は生産者の高齢化、安価な輸入品の増加などの影響を受け減少傾向にある。
- ◇ 令和3年次は、本県では生しいたけ、ひらたけ、木炭類が、全国では生しいたけとひらたけが増加している。

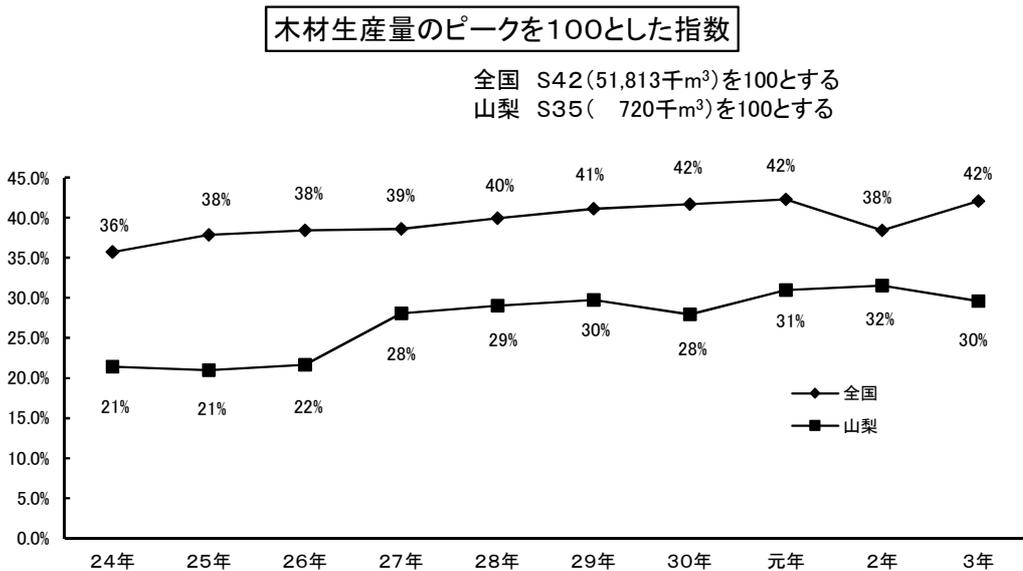


4 林業生産活動の動向

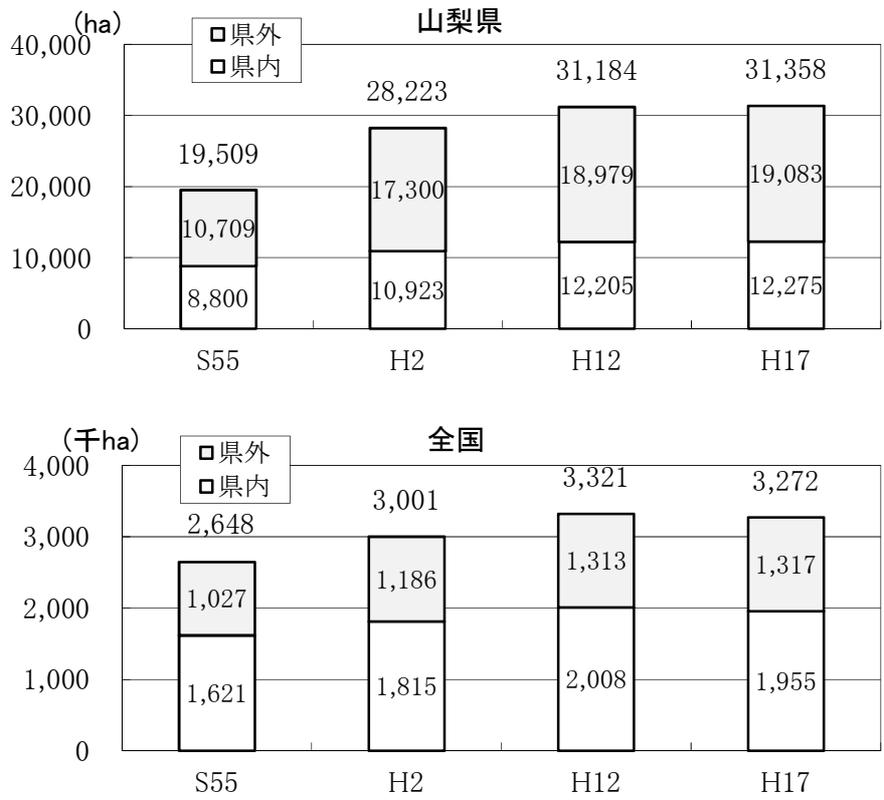
◇ 林業生産活動のうち長らく低迷していた木材生産量については、人工林資源の充実などにより持ち直してきており、大幅に増加した平成21年度以降、増加または横ばいとなっている。また、それに伴い造林面積も増加傾向となっている。



資料:「木材統計」農林水産省大臣官房統計部
 「県製材工場等調査等」(平成27年度～)



不在村者森林所有面積の推移



資料：農林水産省「世界農林業センサス」（1980, 1990, 2000）「農林業センサス」（2005）
 ※2010（H22）年度調査から項目除外

（参考）

林家数の推移

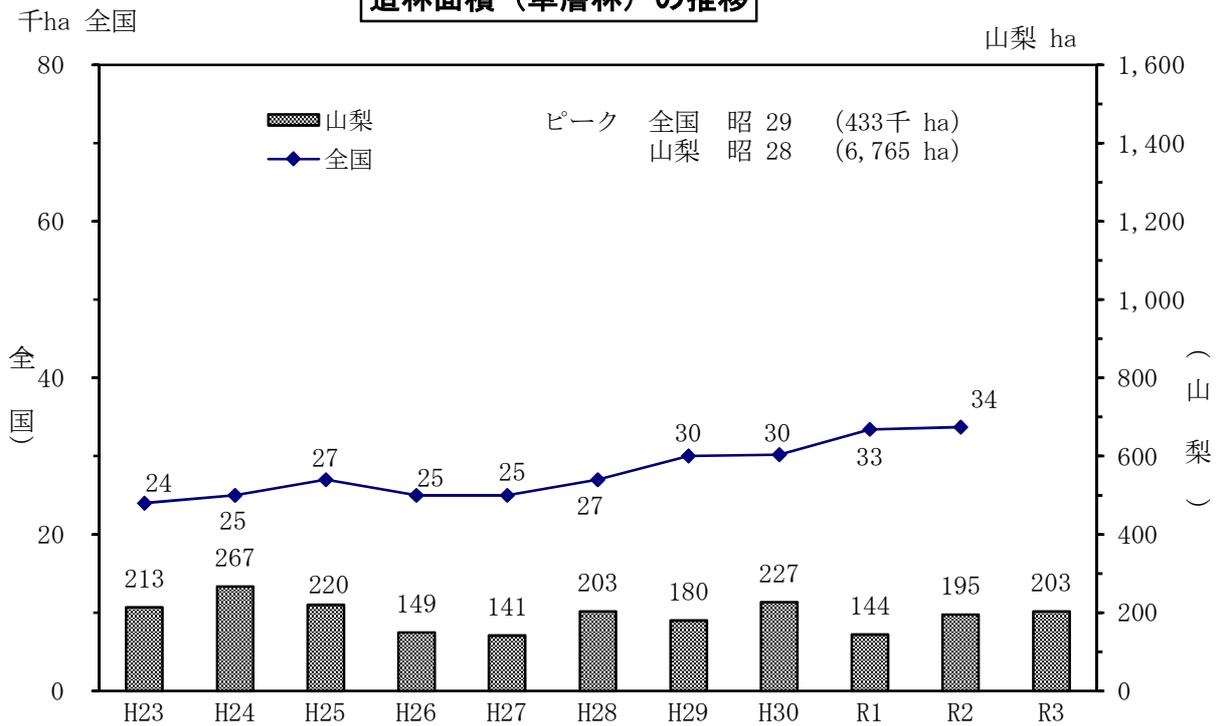
全 国			山 梨	
2,531	千戸	昭和55年	25,521	戸
2,509	千戸	平成2年	24,074	戸
1,019	千戸	平成12年	9,812	戸
920	千戸	平成17年	9,324	戸
907	千戸	平成22年	9,128	戸
829	千戸	平成27年	8,294	戸
690	千戸	令和2年	7,335	戸

資料：農林水産省「世界農林業センサス」（1980, 1990, 2000）「農林業センサス」（2005, 2010, 2015, 2020）

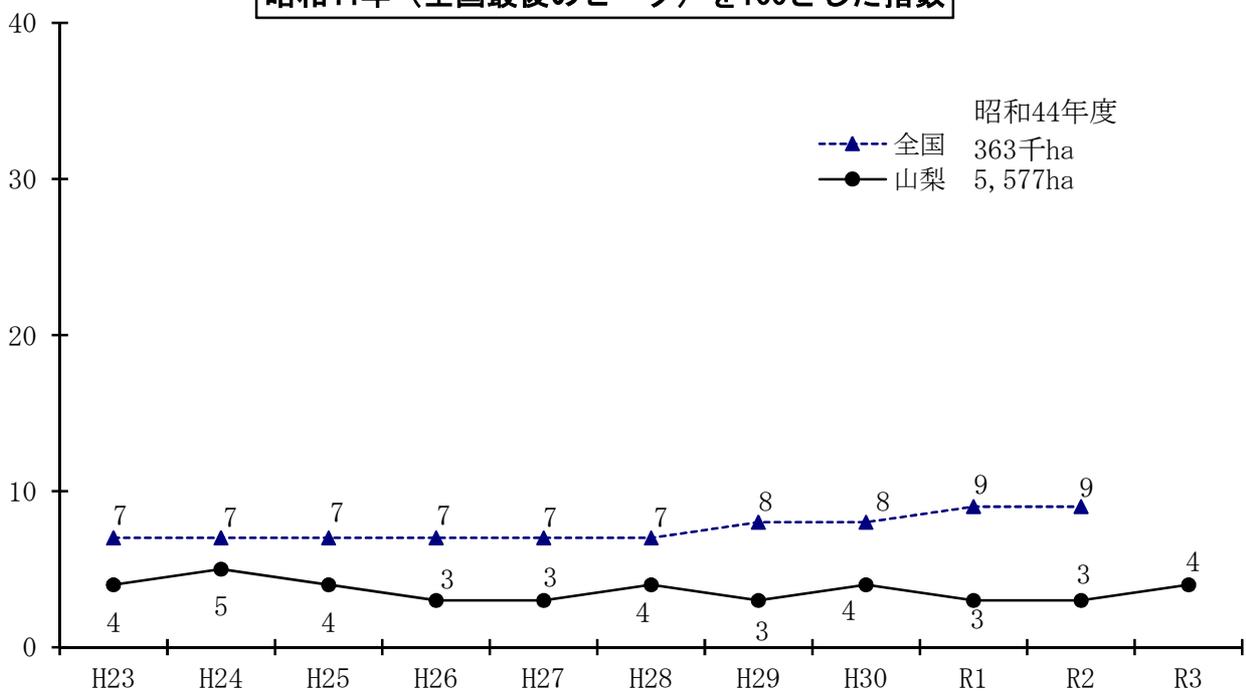
林 家

林家とは保有山林面積が一定規模以上の世帯
 ・（昭和55年, 平成2年）・・・ 保有山林面積が10a以上の世帯
 ・（平成12年, 平成17年, 平成22年, 平成27年, 令和2年）・・・ 保有山林面積が1ha以上の世帯

造林面積（単層林）の推移



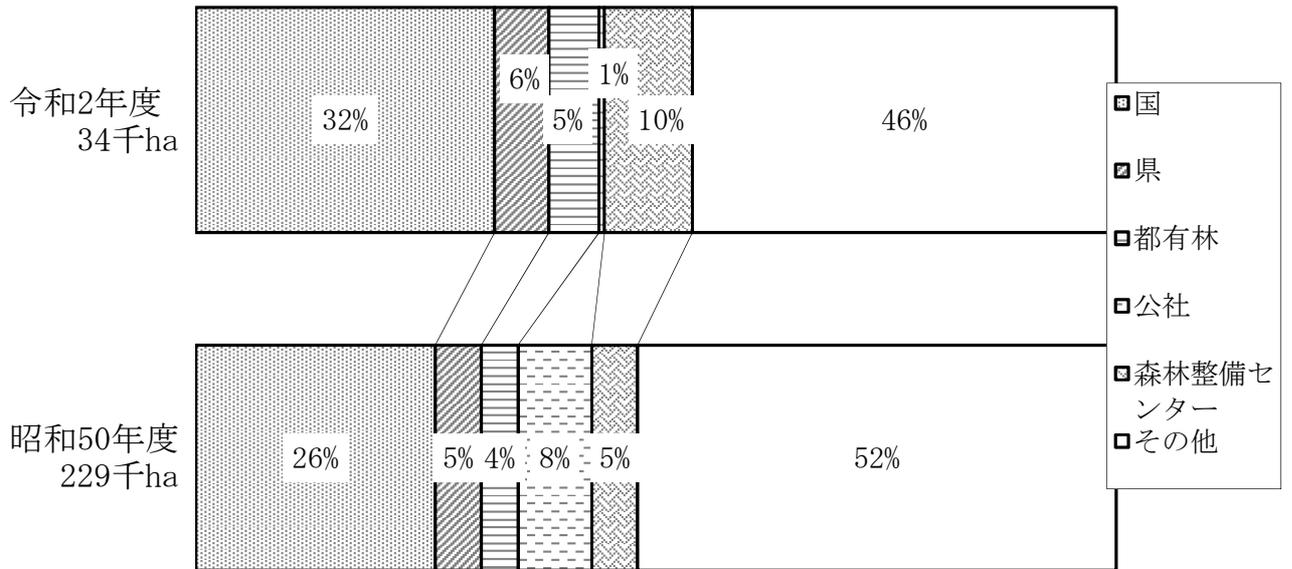
昭和44年（全国最後のピーク）を100とした指数



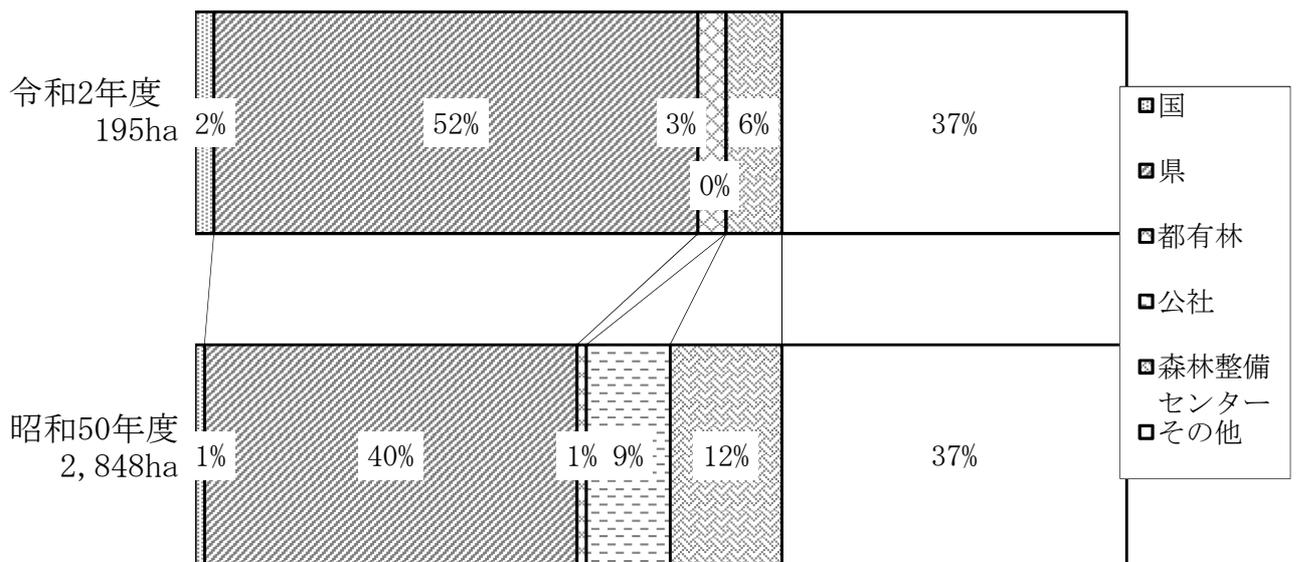
資料：全国のデータは、「森林・林業統計要覧（林野庁編）」より

施行主体別造林比率

全 国



山梨県



資料：全国は、林野庁「森林・林業統計要覧」より

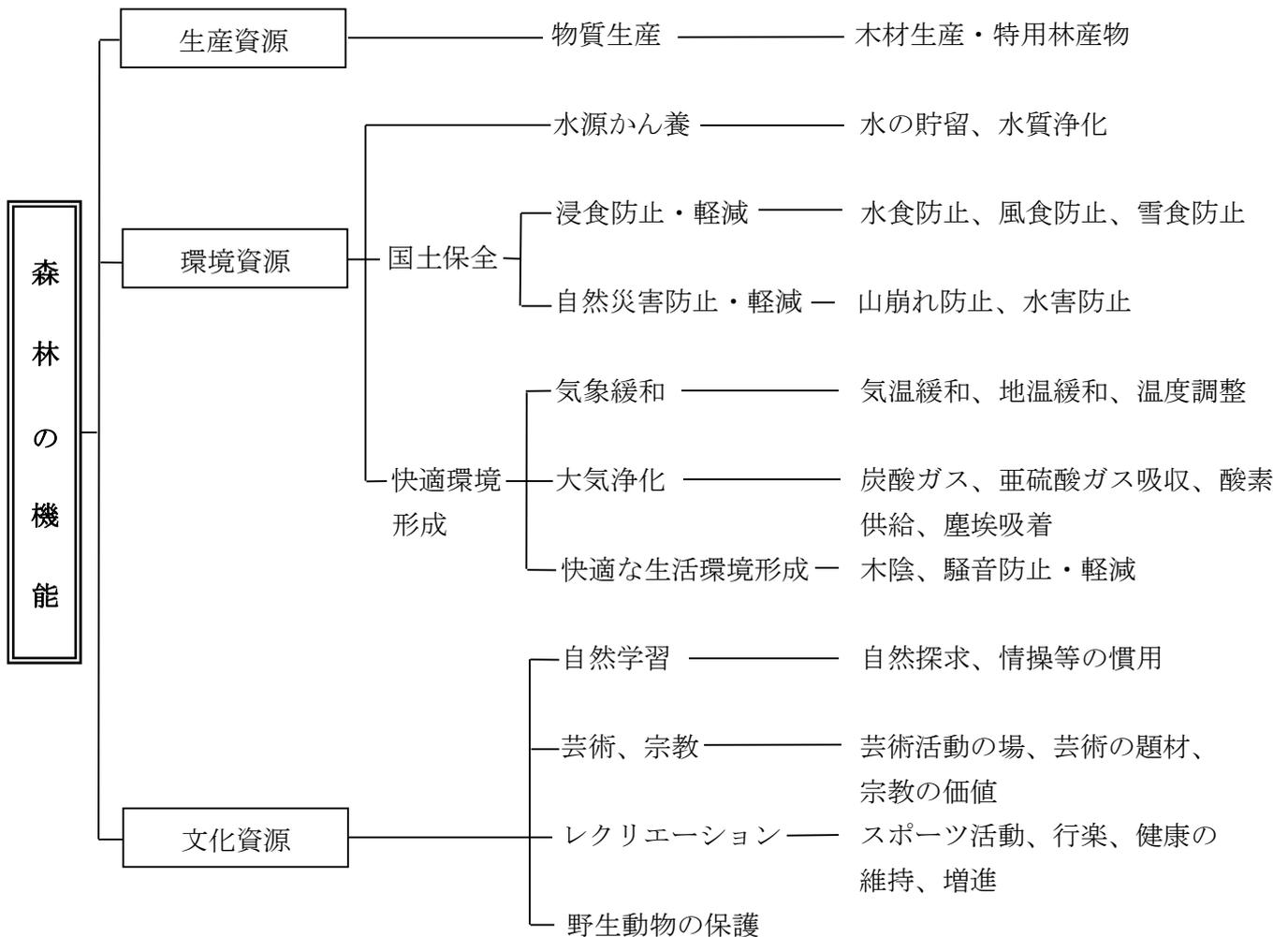
5 森林・林業の役割

- ◇ 国土の7割を占める森林は、水源かん養、国土保全等の公益的機能、木材生産等国民生活に極めて大きな貢献をしており、本県の森林は、首都圏の水源地としての役割も担っている。

- ◇ 保安林は、国民の暮らしを守るために、特に重要な森林について、国や都道府県が指定した森林のことで、その目的に応じて17の種類に分けて指定されている。

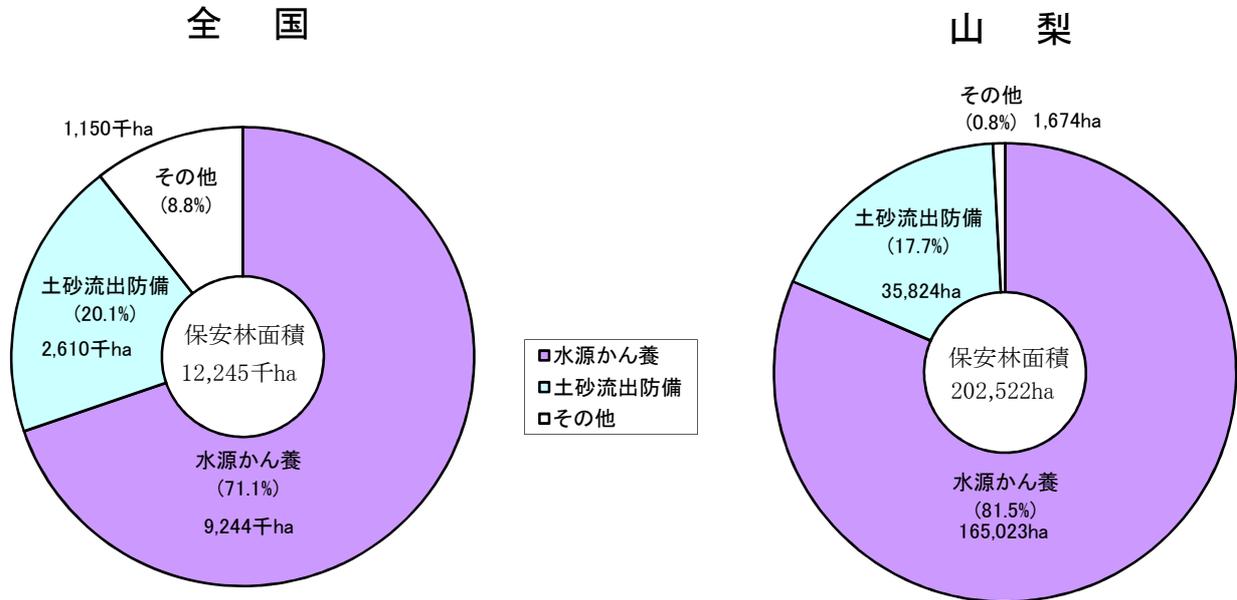
- ◇ 山梨県では、このうち10種類の保安林が指定され、保安林面積は約20万ha（全森林の58%）である。四方を山々に囲まれ、古くから洪水等の災害が多かったため、保安林の指定率では、全国3位である。

森林の多面的機能



◇森林の公益的利用

保安林の種別構成割合



その他内訳

全国(単位:千ha)	山梨(単位:ha)	全国(単位:千ha)	山梨(単位:ha)	全国(単位:千ha)	山梨(単位:ha)
(0.5) 60	土崩 14 (0.0)	(1.0) 126	干害 56 (0.0)	(0.0) 0	防火 26 (0.0)
(0.1) 16	飛砂防備 -	(0.0) 0	防雪 -	(0.5) 60	魚つき -
(0.4) 56	防風 158 (0.1)	(0.5) 62	防霧 -	(0.0) 1	航行 -
(0.0) 1	水害 110 (0.1)	(0.1) 19	なだれ -	(5.4) 704	保健 1,071 (0.5)
(0.1) 14	潮害 -	(0.0) 3	落石 3 (0.0)	(0.2) 28	風致 237 (0.1)

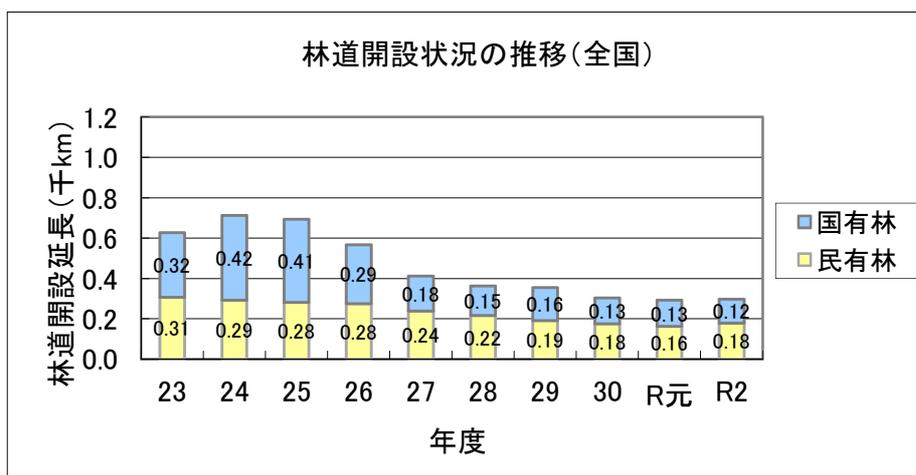
(注) 全国は令和3年3月31日現在(資料:2022「森林・林業統計要覧」(林野庁編))、
 県は令和4年3月31日現在の数値である。
 全国の内訳面積は延べ面積のため、合計面積とは一致しない。
 県の内訳面積は端数処理の関係上、合計面積と一致しないことがある。
 その他内訳の左側全国(単位:千ha)、右側山梨(単位:ha)

◇林道整備の目標と現況

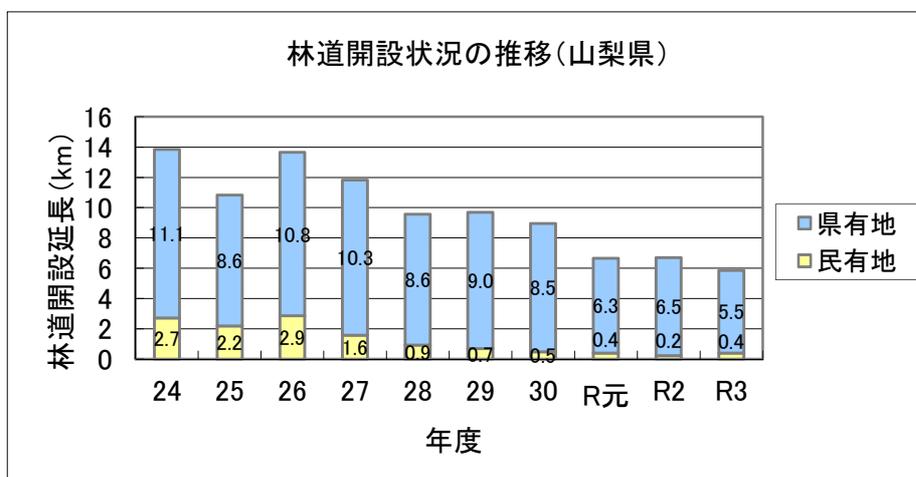
林道整備目標と現況

全 国		山 梨
240.0 千km	基本計画目標 [全国 令和7年度 山梨 令和11年度]	2,236 km
139.7 千km	現況延長 [全国 令和2年度末 山梨 令和3年度末]	2,142 km
5.6 m	現在林道密度 (ha当たり)	6.0 m

資料:全国は、2022「森林・林業統計要覧」(林野庁編)
山梨県延長には、国有林内延長を含まない



資料:「令和3年度版森林・林業白書」参考付表(林野庁編)



1 管轄区域と管理面積

(1) 県有林・民有林

単位：ha

林務環境 事務所	森 林 計画区	県 有 林		民 有 林		
		面 積	所轄区域	普及指導区	面 積	包 括 区 域
総 計		154,162 (158,225)			188,663 (184,599)	
中北	富士川 上 流	56,195 (57,810)	事業区全域	中北普及指導区	34,426 (32,811)	中北林務環境事務所 管内市町村
峡東	富士川 上 流	26,711 (27,130)	事業区全域	峡東普及指導区	29,693 (29,274)	峡東林務環境事務所 管内市町村
峡南	富士川 中 流	31,853 (32,213)	事業区全域	峡南普及指導区	56,592 (56,231)	峡南林務環境事務所 管内市町村
富士・東部	山 梨 東 部	39,403 (41,072)	事業区全域	富士・東部 普及指導区	67,952 (66,283)	富士・東部林務環境事務所 管内市町村

- (注) 1. 県有林面積は、県有林管理計画対象森林面積であるため、不要存置県有林野は含まない。
 2. 県有林面積の()は、県有林植樹用貸地を含んだ面積である。
 3. 民有林面積の()は、県有林植樹用貸地を含まない面積である。
 4. 県行分収林面積は、民有林に含む。

(2) 国 有 林

単位：ha

森 林 管 理 事 務 所	国 有 林			
	森林事務所	位 置	面 積	管 轄 区 域
山 梨	総数 2		(1,015) 3,596	山梨県下一円
	甲 府	甲府市	(684) 1,256	甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、中央市、西八代郡市川三郷町のうち旧市川大門町、南巨摩郡富士川町、中巨摩郡一円、南都留郡一円、北都留郡一円
	南 部	南巨摩郡南部町	(331) 2,340	西八代郡市川三郷町のうち旧三珠町、旧六郷町、南巨摩郡早川町、身延町、南部町

- (注) ()は官行造林地面積で、外数である。

2 行政区画別森林面積

単位：標高m、面積ha

郡市町村	標高	総面積	森 林 面 積					
			総 数	国 有 林		県 有 林		民 有 林
総 数		446, 527	347, 436	(1, 015)	3, 596	《 158, 225》	154, 162	188, 663
甲 府 市	261	21, 247	13, 656		1, 170	《 4, 367》	4, 335	8, 152
富 士 吉 田 市	757	12, 174	8, 509		14	《 6, 116》	5, 447	3, 047
都 留 市	475	16, 163	13, 635	(80)		《 6, 063》	5, 952	7, 602
山 梨 市	327	28, 980	23, 697	(23)	71	《 12, 693》	12, 611	10, 992
大 月 市	360	28, 025	24, 272	(207)		《 11, 456》	11, 203	12, 862
韮 崎 市	354	14, 369	9, 263			《 3, 558》	3, 452	5, 811
南アルプス市	289	26, 414	19, 330			《 17, 345》	16, 893	2, 437
北 杜 市	520	60, 248	45, 837			《 31, 397》	30, 377	15, 460
甲 斐 市	285	7, 195	3, 152			《 921》	916	2, 236
笛 吹 市	267	20, 192	11, 812	(114)		《 4, 444》	4, 327	7, 371
上 野 原 市	263	17, 057	13, 969	(184)		《 1, 299》	1, 299	12, 487
甲 州 市	403	26, 411	21, 103			《 9, 992》	9, 773	11, 330
中 央 市	251	3, 169	552			《 223》	222	331
西 八 代 郡		7, 518	4, 776	(59)		《 633》	604	4, 114
市 川 三 郷 町	250	7, 518	4, 776	(59)		《 633》	604	4, 114
南 巨 摩 郡		98, 482	86, 415	(348)	2, 340	《 31, 581》	31, 249	52, 478
早 川 町	322	36, 996	35, 264	(147)		《 16, 624》	16, 614	18, 502
身 延 町	183	30, 198	24, 319		305	《 7, 104》	7, 093	16, 921
南 部 町	150	20, 087	17, 630	(184)	2, 035	《 2, 590》	2, 587	12, 824
富 士 川 町	280	11, 200	9, 203	(17)		《 5, 262》	4, 955	4, 231
中 巨 摩 郡		908						
昭 和 町	263	908						
南 都 留 郡		42, 099	32, 636			《 16, 139》	15, 502	17, 134
道 志 村	410	7, 968	7, 473					7, 473
西 桂 町	625	1, 522	1, 295			《 429》	417	878
忍 野 村	936	2, 505	1, 510					1, 510
山 中 湖 村	1, 000	5, 305	3, 126			《 1, 430》	1, 352	1, 774
鳴 沢 村	980	8, 958	7, 744			《 6, 869》	6, 724	1, 020
富 士 河 口 湖 町	868	15, 840	11, 487			《 7, 411》	7, 009	4, 478
北 都 留 郡		15, 408	14, 821					14, 821
小 菅 村	667	5, 278	4, 953					4, 953
丹 波 山 村	670	10, 130	9, 868					9, 868

- (注)
1. 総面積は、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調 (R4. 1. 1時点)」
一部境界未定のため、各市町村総面積の合計は総数と一致しない。
 2. 県有林《 》内面積は、管理計画面積で、植樹用貸地を含み不要存置県有林野は含まない。
 3. 民有林面積には、県有林植樹用貸地及び県行分収林を含む。
 4. 国有林()は、官行造林面積で外数である。

3 林種別・所管別森林面積

単位：面積ha

所管別	総面積	林 地								除 地
		総 数	立 木 地			無 立 木 地				
			総 数	人工林	天然林	竹林	総 数	未立木地	伐跡地	
総 数	347,436	327,120	325,709	153,010	171,881	819	1,411	578	833	20,316
国有林	4,611	4,611	4,387	3,267	1,120	—	224	224	—	—
県有林	154,162	136,220	135,826	58,631	77,195	—	394	44	350	17,942
民有林	188,663	186,289	185,497	91,112	93,566	819	793	310	482	2,374

- (注)
1. 県有林面積は、不要存置県有林野は含まない。
 2. 県有林の面積は植樹用貸地を除いた面積である。
 3. 民有林面積は植樹用貸地及び県行分収林を含む。
 4. 国有林面積は関東森林管理局の数値で、官行造林地を含む。

4 行政区画別森林蓄積

郡市町村	総 数				国 有 林			
	面積	蓄 積			面積	蓄 積		
		総数	針葉樹	広葉樹		総数	針葉樹	広葉樹
総 数	347,436	76,005,806	51,765,375	24,240,431	(1,015) 3,596	(205,833) 749,870	(187,664) 606,264	(18,169) 143,606
甲 府 市	13,656	2,747,780	1,827,885	919,895	1,170	261,485	240,951	20,534
富 士 吉 田 市	8,509	1,954,474	1,761,447	193,027	14	4,195	4,195	
都 留 市	13,635	3,580,066	2,664,218	915,848	(80)	(12,872)	(11,646)	(1,226)
山 梨 市	23,697	4,966,158	3,731,933	1,234,225	(23)	(5,069)	(4,883)	(186)
大 月 市	24,272	5,654,371	3,679,654	1,974,717	71	19,953	18,614	1,339
韮 崎 市	9,263	1,761,140	1,134,125	627,015	(207)	(44,177)	(40,589)	(3,588)
南アルプス市	19,330	3,592,295	2,653,965	938,330				
北 杜 市	45,837	8,197,620	5,345,178	2,852,442				
甲 斐 市	3,152	721,299	453,796	267,503				
笛 吹 市	11,812	2,682,010	1,784,750	897,260	(114)	(16,673)	(14,224)	(2,449)
上 野 原 市	13,969	4,027,928	2,988,831	1,039,097	(184)	(43,398)	(41,918)	(1,480)
甲 州 市	21,103	3,827,760	2,305,541	1,522,219				
中 央 市	552	127,131	67,299	59,832				
西 八 代 郡	4,776	1,005,557	443,655	561,902	(59)	(11,498)	(11,069)	(429)
市 川 三 郷 町	4,776	1,005,557	443,655	561,902	(59)	(11,498)	(11,069)	(429)
南 巨 摩 郡	86,415	20,127,921	13,388,275	6,739,646	(348) 2,340	(72,146) 464,237	(63,335) 342,504	(8,811) 121,733
早 川 町	35,264	6,958,462	3,864,992	3,093,470	(147)	(28,225)	(23,406)	(4,819)
身 延 町	24,319	5,701,073	3,360,261	2,340,812	305	55,400	35,445	19,955
南 部 町	17,630	5,389,491	4,516,669	872,822	(184)	(38,791)	(35,056)	(3,735)
富 士 川 町	9,203	2,078,895	1,646,353	432,542	2,035	408,837	307,059	101,778
					(17)	(5,130)	(4,873)	(257)
中 巨 摩 郡								
昭 和 町								
南 都 留 郡	32,636	7,355,517	5,865,359	1,490,158				
道 志 村	7,473	2,048,168	1,379,172	668,996				
西 桂 町	1,295	385,802	342,762	43,040				
忍 野 村	1,510	510,616	496,019	14,597				
山 中 湖 村	3,126	608,984	447,190	161,794				
鳴 沢 村	7,744	1,424,742	1,286,324	138,418				
富 士 河 口 湖 町	11,487	2,377,205	1,913,892	463,313				
北 都 留 郡	14,821	3,676,779	1,669,464	2,007,315				
小 菅 村	4,953	1,313,475	789,407	524,068				
丹 波 山 村	9,868	2,363,304	880,057	1,483,247				

- (注) 1. 県有林《 》内面積は管理計画面積で、植樹用貸地を含み不要存置県有林野は含まない。
また、県有林蓄積には、植樹用貸地は含まない。
2. 民有林面積・蓄積には、県有林植樹用貸地及び県行分収林を含む。
3. 国有林()は官行造林地で外数である。
4. 国有林の面積・蓄積は、関東森林管理局の数値による。
5. 無立木地およびその他除地の蓄積は、広葉樹を含む。

単位：面積ha、蓄積m³

郡市町村	県有林				民有林			
	面積	蓄積			面積	蓄積		
		総数	針葉樹	広葉樹		総数	針葉樹	広葉樹
総数	154,162 《158,225》	25,236,159	17,369,257	7,866,902	188,663	49,813,944	33,602,190	16,211,754
甲府市	4,335 《4,367》	780,237	497,421	282,816	8,152	1,706,058	1,089,513	616,545
富士吉田市	5,447 《6,116》	918,521	776,347	142,174	3,047	1,031,758	980,905	50,853
都留市	5,952 《6,063》	1,261,686	849,441	412,245	7,602	2,305,508	1,803,131	502,377
山梨市	12,611 《12,693》	2,062,798	1,638,555	424,243	10,992	2,878,338	2,069,881	808,457
大月市	11,203 《11,456》	1,981,670	1,138,706	842,964	12,862	3,628,524	2,500,359	1,128,165
韭崎市	3,452 《3,558》	471,171	296,308	174,863	5,811	1,289,969	837,817	452,152
南アルプス市	16,893 《17,345》	2,963,873	2,150,531	813,342	2,437	628,422	503,434	124,988
北杜市	30,377 《31,397》	4,448,095	2,898,291	1,549,804	15,460	3,749,525	2,446,887	1,302,638
甲斐市	916 《921》	176,025	124,024	52,001	2,236	545,274	329,772	215,502
笛吹市	4,327 《4,444》	795,253	520,860	274,393	7,371	1,870,084	1,249,666	620,418
上野原市	1,299 《1,299》	306,578	207,023	99,555	12,487	3,677,952	2,739,890	938,062
甲州市	9,773 《9,992》	1,634,396	1,116,864	517,532	11,330	2,193,364	1,188,677	1,004,687
中央市	222 《223》	56,236	20,185	36,051	331	70,895	47,114	23,781
西八代郡	604 《633》	114,420	77,769	36,651	4,114	879,639	354,817	524,822
市川三郷町	604 《633》	114,420	77,769	36,651	4,114	879,639	354,817	524,822
南巨摩郡	31,249 《31,581》	5,012,267	3,256,357	1,755,910	52,478	14,579,271	9,726,079	4,853,192
早川町	16,614 《16,624》	2,296,285	1,528,568	767,717	18,502	4,633,952	2,313,018	2,320,934
身延町	7,093 《7,104》	1,193,411	555,670	637,741	16,921	4,452,262	2,769,146	1,683,116
南部町	2,587 《2,590》	707,814	566,457	141,357	12,824	4,234,049	3,608,097	625,952
富士川町	4,955 《5,262》	814,757	605,662	209,095	4,231	1,259,008	1,035,818	223,190
中巨摩郡								
昭和町								
南都留郡	15,502 《16,139》	2,252,933	1,800,575	452,358	17,134	5,102,584	4,064,784	1,037,800
道志村					7,473	2,048,168	1,379,172	668,996
西桂町	417 《429》	78,990	62,545	16,445	878	306,812	280,217	26,595
忍野村					1,510	510,616	496,019	14,597
山中湖村	1,352 《1,430》	126,239	46,633	79,606	1,774	482,745	400,557	82,188
鳴沢村	6,724 《6,869》	1,096,216	1,009,758	86,458	1,020	328,526	276,566	51,960
富士河口湖町	7,009 《7,411》	951,488	681,639	269,849	4,478	1,425,717	1,232,253	193,464
北都留郡					14,821	3,676,779	1,669,464	2,007,315
小菅村					4,953	1,313,475	789,407	524,068
丹波山村					9,868	2,363,304	880,057	1,483,247

5 林種別・所管別森林蓄積

単位：蓄積 m³、竹 束

区分	総 数			人 工 林			天 然 林			竹 林
	総 数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹	
総数	76,005,806	51,765,375	24,240,431	44,038,096	42,961,429	1,076,667	31,967,710	8,803,946	23,163,764	126,094
国 有 林	955,703	793,928	161,775	812,116	755,508	56,608	143,587	38,420	105,167	0
県 有 林	25,236,159	17,369,257	7,866,902	12,583,198	11,727,593	855,605	12,652,961	5,641,664	7,011,297	0
民 有 林	49,813,944	33,602,190	16,211,754	30,642,782	30,478,328	164,454	19,171,162	3,123,862	16,047,300	126,094
中 北 県 有 林	8,895,637	5,986,760	2,908,877	3,564,695	3,252,721	311,974	5,330,942	2,734,039	2,596,903	0
民 有 林	7,990,143	5,254,537	2,735,606	3,520,748	3,504,176	16,572	4,469,395	1,750,361	2,719,034	21,803
東 北 県 有 林	4,492,447	3,276,279	1,216,168	2,786,767	2,652,006	134,761	1,705,680	624,273	1,081,407	0
民 有 林	6,941,786	4,508,224	2,433,562	4,096,189	4,079,898	16,291	2,845,597	428,326	2,417,271	10,420
南 北 県 有 林	5,126,687	3,334,126	1,792,561	2,474,728	2,259,666	215,062	2,651,959	1,074,460	1,577,499	0
民 有 林	15,458,910	10,080,896	5,378,014	9,774,457	9,738,435	36,022	5,684,453	342,461	5,341,992	83,052
東 北 県 有 林	6,721,388	4,772,092	1,949,296	3,757,008	3,563,200	193,808	2,964,380	1,208,892	1,755,488	0
民 有 林	19,423,105	13,758,533	5,664,572	13,251,388	13,155,819	95,569	6,171,717	602,714	5,569,003	10,819

(注) 国有林の蓄積は、官行造林地を含み、関東森林管理局の数値による。
無立木地およびその他除地の蓄積は、天然林に含む。

6 樹種別面積・蓄積

単位：面積 ha、蓄積 m³、竹林 束

区 分	総 数		国 有 林		県 有 林		民 有 林	
	面 積	蓄 積	面 積	蓄 積	面 積	蓄 積	面 積	蓄 積
総 数	347,436	76,005,806	4,611	955,703	《158,225》 154,162	25,236,159	188,663	49,813,944
人工林総数	153,010	44,038,096	3,267	812,116	58,631	12,583,198	91,112	30,642,782
スギ	25,986	11,187,126	741	248,517	1,984	708,142	23,262	10,230,467
ヒノキ	44,799	12,319,882	1,164	300,844	11,679	2,823,907	31,956	9,195,131
アカマツ	26,548	7,573,529	524	131,230	8,408	1,509,630	17,616	5,932,669
カラマツ	43,371	10,242,284	297	73,046	26,666	5,142,116	16,407	5,027,122
その他 針葉樹	6,569	1,638,608	6	1,871	5,873	1,543,798	689	92,939
広葉樹	5,737	1,076,667	535	56,608	4,020	855,605	1,182	164,454
天然林総数	171,881	31,873,463	1,120	143,587	77,195	12,560,724	93,566	19,169,152
針葉樹	42,265	8,738,632	170	38,420	32,857	5,576,767	9,238	3,123,445
広葉樹	129,616	23,134,831	950	105,167	44,338	6,983,957	84,328	16,045,707
無立木地	1,411	-	224	-	394	-	793	-
竹 林	819	[126,094]	-	-	-	-	819	[126,094]
その他除地	20,316	94,247	-	-	17,942	92,237	2,374	2,010

- (注)
1. 県有林の面積は、不要存置県有林野は含まない。
また、蓄積は点生木を含まない。
 2. 県有林の《》は植樹用貸地を含む面積である。
 3. 県行分収林は民有林に含む。
 4. 民有林の〔〕は竹林の束数は外数である。
 5. 国有林の面積、蓄積には官行造林地分を含む。また、数値は関東森林管理局の数値による。

(6 附表)

地域森林計画樹立の状況

面積：ha

森林計画区	林務環境事務所	地域森林計画 計画期間	計画面積
富士川上流	中北、峡東	平成29～令和8年度	147,025
富士川中流	峡南	令和2～11年度	88,445
山梨東部	富士・東部	平成31～令和10年度	107,355

(附表)

樹種別伐期齢

(地域森林計画)

樹種	標準伐期齢
	年
スギ	40
ヒノキ	45
アカマツ	40
カラマツ	40
モミ・シラベ	50
その他針葉樹	70
クヌギ・ナラ類(用材)	30
その他広葉樹	50

(県有林管理計画)

樹種	利用末口 径級(cm)	利用径級 (cm)	伐期齢 (主伐の時期)
スギ	18	20	30～
ヒノキ	18	20	40～
アカマツ	18	24	35～
カラマツ	18	24	35～
シラベ	20	24	45～
モミ外針葉樹	20	24	40～
広葉樹	30	36	60～

※制限林地一般用材林作業団、普通林地一般用材林作業団

※保安林については、標準伐期齢以上とする。

7 保安林面積

単位 面積:ha

林務 環境 事務所	所管別	保安林 総数	水源 かん養 保安林	土砂流 出防備 保安林	土砂崩 壊防備 保安林	防風 保安林	水害 防備 保安林	干害 防備 保安林	落石 防止 保安林	防火 保安林	保健 保安林	風致 保安林	備考
総数	総数	(12,033) 202,522	165,023	35,824	14	158	110	(174) 56	3	26	(11,859) 1,071	237	
	国有林	(561)						(74)			(486)		
	林野庁	4,164 (10)	4,137	11	9						7 (10)		
	その他	107 (11,248)		37		7	53	(30)			(11,218)	10	
	県有林	135,591 (214)	107,747	26,561	0	6	6	0 (70)	0	26	1,062 (144)	183	
民有林	62,659	53,139	9,215	5	145	51	56	3	0	1	44		
中北	県民計	(6,798) 66,925 (6,744)	48,895	17,550	4	119	27	0	0	26	(6,798) 85 (6,744)	219	
	県有林	57,658 (54)	40,915	16,448	0	6	2	0	0	26	85 (54)	176	
	民有林	9,266	7,980	1,102	4	113	25	0	0	0	0	43	
峡東	県民計	(1,320) 39,229 (1,310)	36,077	3,102	0	7	27	(30) 0 (30)	2	0	(1,290) 14 (1,280)	0	
	県有林	25,488 (10)	23,502	1,969	0	0	4	0	0	0	13 (10)	0	
	民有林	13,741	12,575	1,133	0	7	23	0	2	0	1	0	
峡南	県民計	(1,741) 44,759 (1,642)	39,516	5,191	0	0	0	(70) 52	0	0	(1,671) 0 (1,642)	0	
	県有林	27,992 (99)	25,898	2,094	0	0	0	0 (70)	0	0	0 (29)	0	
	民有林	16,767	13,618	3,097	0	0	0	52	0	0	0	0	
富士 東部	県民計	(1,603) 47,338 (1,552)	36,399	9,933	1	25	3	4	1	0	(1,603) 964 (1,552)	8	
	県有林	24,453 (51)	17,432	6,049	0	0	0	0	0	0	964 (51)	7	
	民有林	22,885	18,967	3,884	1	25	3	4	1	0	0	1	

(注) ()は兼種保安林で外数
内訳面積は端数処理の関係上、合計面積と一致しない。

8 保安林整備事業

(1)保安林改良事業

年 度	総 数		
	箇 所	面 積	経 費
平成 29 年度	26	(0.08) 221.97	111,680
平成 30 年度	26	(0.00) 226.12	112,777
令和 元 年度	33	(0.00) 234.99	121,220
令和 2 年度	33	(0.00) 263.03	141,722
令和 3 年度	31	(0.00) 295.34	161,468
《 令和3年度内訳》			
中 北	6	(0.00) 67.94	36,565
峡 東	7	(0.00) 59.95	33,239
峡 南	7	(0.00) 41.25	31,602
富 士・東 部	11	(0.00) 126.20	60,062

(注) ()内は簡易施設、準備地拵箇所の面積で外数である。
面積は延べ面積である。
経費は工事雑費及び事務費を含まない。

(2)保安林保育事業

年 度	総 数		
	箇 所	面 積	経 費
平成 29 年度	41	302.30	130,697
平成 30 年度	33	256.45	122,189
令和 元 年度	36	239.31	122,188
令和 2 年度	34	222.07	122,197
令和 3 年度	31	200.96	122,198
《 令和3年度内訳》			
中 北	9	62.63	33,015
峡 東	7	40.97	27,633
峡 南	6	46.24	33,394
富 士・東 部	9	51.12	28,156

(注) 面積は延べ面積である。
経費は工事雑費及び事務費を含まない。

単位 面積:ha 経費:千円

県 有 林			民 有 林		
箇所	面 積	経 費	箇所	面 積	経 費
15	(0.00) 134.03	63,107	11	(0.00) 87.94	48,573
16	(0.00) 121.56	58,751	10	(0.00) 104.56	54,026
19	(0.00) 138.19	68,564	14	(0.00) 96.80	52,655
20	(0.00) 157.43	79,276	13	(0.00) 105.60	62,446
17	(0.00) 165.08	95,522	14	(0.00) 130.26	65,946
4	(0.00) 51.93	27,938	2	(0.00) 16.01	8,627
3	(0.00) 27.15	16,088	4	(0.00) 32.80	17,151
4	(0.00) 22.14	20,122	3	(0.00) 19.11	11,480
6	(0.00) 63.86	31,374	5	(0.00) 62.34	28,688

単位 面積:ha 経費:千円

県 有 林			民 有 林		
箇所	面 積	経 費	箇所	面 積	経 費
21	154.89	66,956	20	147.41	63,741
16	137.55	59,282	17	118.90	62,907
20	132.13	64,631	16	107.18	57,557
18	130.08	67,235	16	91.99	54,962
15	110.14	74,238	16	90.82	47,960
3	30.28	16,422	6	32.35	16,593
4	21.62	16,911	3	19.35	10,722
4	35.76	26,831	2	10.48	6,563
4	22.48	14,074	5	28.64	14,082

9 県有林貸付地種類別面積

単位:ha

所属別 使用目的	令和3年度	中 北	峡 東	峡 南	富士・東部
総 数	6,561.5138	3,020.7445	560.0357	387.1080	2,593.6256
植樹用地	4,080.9199	1,631.7170	421.3082	368.6882	1,659.2065
農耕用地	348.6664	347.5883	1.0781	—	—
電気事業用地	346.7721	79.4070	119.7558	15.6692	131.9401
道路敷用地	134.7367	8.2455	1.0833	—	125.4079
水路用地	0.8891	0.7778	0.0267	0.0371	0.0475
建物敷用地	586.8064	127.5022	5.4780	2.3524	451.4738
牧場用地	354.5573	354.5573	—	—	—
鉱業用地	—	—	—	—	—
鉱泉用地	0.2309	0.0035	0.0894	0.1380	—
林業付帯用地	—	—	—	—	—
雑用地	707.9350	470.9459	11.2162	0.2231	225.5498

10 国・県有林の部分林

単位:件、ha

調査時点 (各年3月31日)		平成 30年	平成 31年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和4年3月31日				
							中北	峡東	峡南	富士・東部	
総数	件数	249	247	230	224	217	-	-	-	-	
	面積	9,214	9,136	9,050	9,030	8,944	-	-	-	-	
国有林	件数	4	4	4	4	4	3	-	1	-	
	面積	9	9	9	9	9	5	-	4	-	
県有林	県有林 総数	件数	245	243	226	220	213	96	48	12	57
		面積	9,205	9,127	9,041	9,021	8,935	3,567	680	302	4,386
	恩賜県 有財産 保護 組合	件数	66	66	62	60	57	19	12	5	21
		面積	4,930	4,918	4,896	4,878	4,843	1,054	105	220	3,464
	恩賜林 保護 財産区	件数	144	142	134	131	128	70	31	6	21
		面積	3,285	3,229	3,189	3,175	3,134	2,301	512	78	243
	市町村	件数	27	27	23	23	22	6	5	-	11
		面積	557	547	526	542	532	208	63	-	261
	その他	件数	8	8	7	6	6	1	-	1	4
		面積	433	433	430	426	426	4	-	4	418

造 林

1 1 苗畑面積

単位:面積(a)

年度	総数	国有林	県営		県森連	苗組	森林組合	その他	備考
			特別会計	一般会計					
平成29年度	476	—	—	—	—	365	111	0	
平成30年度	292	—	—	—	—	208	84	0	
令和元年度	274	—	—	—	—	162	112	0	
令和2年度	142	—	—	—	—	119	23	0	
令和3年度	265	—	—	—	—	214	51	0	
林務環境事務所 内訳									
中北	36	—	—	—	—	36	0	0	
峡東	81	—	—	—	—	75	6	0	
峡南	42	—	—	—	—	24	18	0	
富士・東部	106	—	—	—	—	79	27	0	

12 種 苗 生 産

年度	種 子(kg)		まき付(kg)	挿し木(千本)	養苗(千本)
	購入	採取	数量	数量	数量
平成29年度	—	131.1	81.8	0.0	693
平成30年度	—	132.0	100.5	0.0	681
令和元年度	—	155.2	141.5	0.0	581
令和2年度	—	32.0	26.2	0.0	628
令和3年度	—	88.9	16.2	0.0	605
針葉樹計	—	22.9	16.2	0.0	404
花粉の少ないスギ	—	3.8	0.9	0	29
ヒノキ	—	11.9	6.2	0	49
花粉の少ないヒノキ	—	3.0	5.8	0	154
アカマツ	—	0.0	0.0	0	0
カラマツ	—	4.2	3.3	0	172
その他	—	0.0	0.0	0.0	0
広葉樹計	—	66.0	0.0	0	201
(所管別内訳)					
国営	—	0.0	0.0	0.0	0
県営	—	88.9	0.0	0.0	0
民営	—	0.0	16.2	0.0	605

13 山行苗木需給状況

(1) 県有林・民有林需給

本数単位：千本

年度 樹種	供給量				
	総数(A) (B)+(C)	県内生産量(B) (B1)+(B2)	県営 (B1)	民営 (B2)	移入量 (C)
平成28年度	766	720	0	720	46
平成29年度	691	640	0	640	51
平成30年度	729	681	0	681	48
令和元年度	706	581	0	581	125
令和2年度	636	531	0	531	105
令和3年度	762	605	0	605	157
(樹種別内訳)					
針葉樹計	507	404	0	404	103
スギ	31	29	0	29	2
ヒノキ	212	203	0	203	9
アカマツ	7	0	0	0	7
カラマツ	257	172	0	172	85
シラベ	0	0	0	0	0
ウラジロモミ	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
広葉樹計	255	201	0	201	54
ク	16	16	0	16	0
ハンノキ	10	10	0	10	0
ケヤキ	16	16	0	16	0
その他	213	159	0	159	54

本数単位:千本

需 要 量				需給状況	
総 数(D)	保安林整備	県有造林	民有林等		
(E) + (F) + (G)	(E)	(F)	(G)	(A) - (D)	
474	4	229	241	残	292
411	1	164	246	残	280
435	0	212	223	残	294
468	4	278	186	残	238
337	5	216	116	残	299
449	5	303	141	残	313
376	0	293	83		131
11	0	8	3		20
137	0	82	55		75
7	0	0	7		0
221	0	203	18		36
0	0	0	0		0
0	0	0	0		0
0	0	0	0		0
73	5	10	58		182
0	0	0	0		16
4	0	4	0		6
0	0	0	0		16
69	5	6	58		144

(2) 国有林需給

本数単位:千本

年度 樹種	国 有 林					
	供 給 量			需 要 量		
	総 数	生産量	移入量	総 数	県内需要	移出量
平成28年度	0	-	0	2	2	-
平成29年度	0	-	0	2	2	-
平成30年度	0	-	0	5	5	-
令和元年度	0	-	0	0	0	-
令和2年度	0	-	0	8	8	-
令和3年度	0	-	0	0	0	-
(樹種別内訳)						
針葉樹計	0	-	-	0	0	-
スギ	-	-	-	-	-	-
ヒノキ	-	-	-	-	-	-
アカマツ	-	-	-	-	-	-
カラマツ	-	-	-	-	-	-
シラベ	-	-	-	-	-	-
ウラジロモミ	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-
広葉樹計	0	-	-	0	0	-
ク	-	-	-	-	-	-
ハンノキ	-	-	-	-	-	-
ケヤキ	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-

15 造林実行面積

(1) 育成単層林整備

年度	樹種	民有林			県有林			民有林合計			民有林補助造林		
		総数			(含保改)			(含保改)					
		再	拡	計	再	拡	計	再	拡	計	再	拡	計
平成28年度		172	31	203	98	0	98	74	31	105	44	27	71
平成29年度		166	13	179	92	0	92	74	13	87	64	5	69
平成30年度		205	20	226	89	0	89	116	20	136	56	0	56
令和元年度		135	9	144	71	0	71	64	9	73	47	0	47
令和2年度		179	0	179	99	0	99	80	0	80	62	0	62
令和3年度	スギ	9	2	11	3	0	3	6	2	8	1	0	1
	ヒノキ	30	0	30	22	0	22	8	0	8	5	0	5
	アカマツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	カラマツ	110	0	110	59	0	59	51	0	51	16	0	16
	その他	51	0	51	0	0	0	51	0	51	24	0	24
	計	200	2	202	84	0	84	116	2	118	46	0	46

(注) 民有林補助造林面積には、被害跡地造林面積は含まない。

(2) 育成複層林整備

単位：ha

年度	樹種	合計	県有林	民有林
平成28年度		28	6	22
平成29年度		25	4	21
平成30年度		33	2	31
令和元年度		15	2	13
令和2年度		12	2	10
令和3年度		1	1	0
	(内訳)			
	スギ	0	0	0
	ヒノキ	0	0	0
	カラマツ	0	0	0
	ウラジロモミ	0	0	0
	シラベ	0	0	0
	ケヤキ	0	0	0
	その他	1	1	0

(注) 1. 事業は昭和62年度から着手。
2. 実績には受光伐を含めない。

単位：ha

年 度																国有林 (含官行造林)		
	林業公社			森林整備センター (旧緑資源機構)			融資造林			都有林			自力等造林 (含保改)			再	拡	計
	再	拡	計	再	拡	計	再	拡	計	再	拡	計	再	拡	計			
平成28年度	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	30	0	30	0	0	0
平成29年度	0	0	0	0	8	8	0	0	0	0	0	0	10	0	10	0	0	0
平成30年度	0	0	0	12	11	23	0	0	0	0	0	0	48	9	57	2	0	2
令和元年度	0	0	0	8	2	10	0	0	0	0	0	0	9	7	16	0	0	0
令和2年度	0	0	0	8	0	8	0	0	0	0	0	0	10	0	10	4	0	4
令和3年度	0	0	0	5	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	0	35	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	27	0	0	0
	0	0	0	8	2	10	0	0	0	0	0	0	62	0	62	0	0	0

(注) 民有林

(15附表)

令和3年度国有林・県有林造林種別内訳

単位:ha

造林種別	国有林	県有林				
		総数	中北	峡東	峡南	富士・東部
総数		78	33	19	11	15
育成単層林(新植)	-	72	33	19	11	9
育成単層林(改植)	-	5	0	-	-	5
育成複層林	-	1	-	-	-	1
造林樹種内訳						
スギ	総数	-	1	-	1	-
	育成単層林(新植)	-	1	-	1	-
	育成単層林(改植)	-	-	-	-	-
	育成複層林	-	-	-	-	-
ヒノキ	総数	-	17	-	6	9
	育成単層林(新植)	-	17	-	6	9
	育成単層林(改植)	-	-	-	-	-
	育成複層林	-	-	-	-	-
アカマツ	総数	-	-	-	-	-
	育成単層林(新植)	-	-	-	-	-
	育成単層林(改植)	-	-	-	-	-
	育成複層林	-	-	-	-	-
カラマツ	総数	-	59	33	12	2
	育成単層林(新植)	-	54	33	12	2
	育成単層林(改植)	-	5	-	-	-
	育成複層林	-	-	-	-	-
シラベ	総数	-	-	-	-	-
	育成単層林(新植)	-	-	-	-	-
	育成単層林(改植)	-	-	-	-	-
	育成複層林	-	-	-	-	-
その他 針葉樹	総数	-	-	-	-	-
	育成単層林(新植)	-	-	-	-	-
	育成単層林(改植)	-	-	-	-	-
	育成複層林	-	-	-	-	-
広葉樹	総数	-	1	0	-	-
	育成単層林(新植)	-	-	-	-	-
	育成単層林(改植)	-	-	0	-	-
	育成複層林	-	-	-	-	1

(注)1.ゼロは、小数点第1位を四捨五入した場合に1未満となる面積を表す。

16 苗木価格

単位:1本当たり・円

年度	樹種名	春植秋植別	スギ	ヒノキ	アカマツ	カラマツ
平成29年度		春植	120.00	121.00	68.00	96.00
		秋植	120.00	121.00	68.00	96.00
平成30年度		春植	124.00	125.00	73.00	100.00
		秋植	124.00	125.00	73.00	100.00
令和元年度		春植	124.00	128.00	75.00	103.00
		秋植	124.00	128.00	75.00	103.00
令和2年度		春植	133.00	134.00	92.00	107.00
		秋植	133.00	134.00	92.00	107.00
令和3年度		春植	133.00	135.00	95.00	110.00
		秋植	133.00	135.00	95.00	110.00

17 採種園設定状況

単位:ha

所属	名称	所在位置	総数	スギ	ヒノキ	アカマツ	カラマツ	シラベ
森林総合研究所			28.2	1.9	6.5	7.0	11.8	1.0
	切久保採種園	南巨摩郡南部町 福土25589	2.3	1.3	1.0	-	-	-
	八木沢採種園	南巨摩郡南部町 井出2263-1	4.6	-	4.6	-	-	-
	富士山採種園	富士吉田市上吉田 字鳥居木前5598 (県有林15林班)	11.0	-	-	-	10.0	1.0
	八ヶ岳採種園	北杜市小淵沢町 字棒道下10060-3 (県有林72林班)	7.0	-	-	7.0	-	-
	徳間採種園	南巨摩郡南部町 徳間17356の45	1.5	0.6	0.9	-	-	-
	小淵沢採種園	北杜市小淵沢町 字淵平2204-1	1.8	-	-	-	1.8	-

18 精英樹選出状況

単位:本

調査時点 樹種名	総数		スギ		ヒノキ		アカマツ		カラマツ		シラベ	
	指定	現存	指定	現存	指定	現存	指定	現存	指定	現存	指定	現存
平成29年3月31日	156	134	30	30	12	12	58	47	41	30	15	15
平成30年3月31日	156	134	30	30	12	12	58	47	41	30	15	15
平成31年3月31日	156	134	30	30	12	12	58	47	41	30	15	15
令和2年3月31日	156	134	30	30	12	12	58	47	41	30	15	15
令和3年3月31日	156	134	30	30	12	12	58	47	41	30	15	15
令和4年3月31日	156	134	30	30	12	12	58	47	41	30	15	15
(林務環境事務所内訳)												
中北	36	30	1	1	-	-	26	22	9	7	-	-
峡東	9	8	-	-	-	-	2	2	7	6	-	-
峡南	24	24	16	16	8	8	-	-	-	-	-	-
富士・東部	87	72	13	13	4	4	30	23	25	17	15	15

精英樹：ある林において一定の基準を満たし優れた生長、形質を示す樹木(個体)を精英樹という。
 選抜された精英樹は、クローンとして接ぎ木増殖され、精英樹クローンで採種園が造成され、造林に供する優良な種子が生産される。

収

穫

19 国・県・民有林別、針・広別伐採量

年 度	総 数				国 有 林			
	面積	材 積			面積	材 積		
		総材積	針	広		総材積	針	広
平成29年度	2,102	245,835	239,246	6,589	73	10,667	10,648	20
平成30年度	1,911	243,622	235,659	7,963	65	14,182	14,105	77
令和元年度	1,707	236,603	231,231	5,372	33	4,861	4,791	70
令和2年度	2,048	249,301	242,790	6,511	22	4,715	4,674	41
令和3年度	1,941	291,245	284,621	6,624	27	7,399	7,329	70

- (注) 1. 県有林、民有林の伐採量は森林法第10条の8、同法第15条に基づく届出及び保安林内伐採に係る許可、届出実績の集計結果による。
2. 国有林に官行造林を含む。

20 成 長 量 ・ 標 準 年 伐 量

年 度	成 長 量			
	総 数	国 有 林	県 有 林	一般民有林
平成29年度	946,841	14,606	328,241	603,994
平成30年度	916,425	14,382	313,281	588,763
令和元年度	896,236	14,382	306,679	575,175
令和2年度	870,561	13,166	298,490	558,905
令和3年度	844,767	12,462	289,254	543,051

単位 面積：ha、材積：m³

県有林				民有林			
面積	材積			面積	材積		
	総材積	針	広		総材積	針	広
785	104,894	104,282	612	1,244	130,273	124,316	5,957
784	107,227	105,592	1,635	1,062	122,213	115,962	6,251
822	129,579	128,724	855	853	102,163	97,716	4,447
1,018	127,006	126,689	317	1,008	117,580	111,427	6,153
743	144,800	143,919	881	1,171	139,046	133,373	5,673

単位：m³

標準年伐量			
総数	国有林	県有林	一般民有林
-	42,132	75,000	-
-	42,132	75,000	-
-	34,331	75,000	-
-	43,840	75,000	-
	43,840	85,000	

2 1 県有林主・間伐別立木処分量

単位 面積:ha, 材積:m3

年度	処分別	総 数			主 伐			間 伐			そ の 他							
		面積	材 積		面積	材 積		面積	材 積		面積	材 積						
			総 数	用 材		薪材	総 数		用 材	薪材		総 数	用 材	薪材				
平成 29 年度	総 数	407	68,299	68,227	72	147	56,640	56,568	72	260	11,659	11,659	-	-	-	-	-	
	立木処分	407	68,299	68,227	72	147	56,640	56,568	72	260	11,659	11,659	-	-	-	-	-	
	製品資材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業務使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
平成 30 年度	総 数	459	69,673	69,594	79	150	52,630	52,550	79	309	17,043	17,043	-	-	-	-	-	
	立木処分	459	69,673	69,594	79	150	52,630	52,550	79	309	17,043	17,043	-	-	-	-	-	
	製品資材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業務使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和 元 年度	総 数	592	74,986	74,945	42	179	54,825	54,784	42	414	20,161	20,161	-	-	-	-	-	
	立木処分	592	74,986	74,945	42	179	54,825	54,784	42	414	20,161	20,161	-	-	-	-	-	
	製品資材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業務使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和 2 年度	総 数	355	79,897	79,897	-	168	62,695	62,695	-	187	17,202	17,202	-	-	-	-	-	
	立木処分	355	79,897	79,897	-	168	62,695	62,695	-	187	17,202	17,202	-	-	-	-	-	
	製品資材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業務使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和 3 年度	総 数	339	83,719	83,680	39	197	68,871	68,832	39	142	14,847	14,847	-	-	-	-	-	
	立木処分	339	83,719	83,680	39	197	68,871	68,832	39	142	14,847	14,847	-	-	-	-	-	
	製品資材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業務使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)その他の欄は横線主伐である。

出典: 実行総括表

(21 附表)

令和3年度の事務所別内訳

単位 :m3 面積:ha、材積:m3

所別	内訳 処分別	総 数				主 伐				間 伐				そ の 他			
		面積	材 積			面積	材 積			面積	材 積			面積	材 積		
			総 数	用 材	薪 材		総 数	用 材	薪 材		総 数	用 材	薪 材		総 数	用 材	薪 材
中 北	総 数	108	24,829	24,829	-	61	20,783	20,783	-	47	4,046	4,046	-	-	-	-	-
	立木処分	108	24,829	24,829	-	61	20,783	20,783	-	47	4,046	4,046	-	-	-	-	-
	製品資材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業務用資材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡 東	総 数	65	15,282	15,282	-	30	11,887	11,887	-	36	3,396	3,396	-	-	-	-	-
	立木処分	65	15,282	15,282	-	30	11,887	11,887	-	36	3,396	3,396	-	-	-	-	-
	製品資材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業務用資材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡 南	総 数	45	13,386	13,386	-	23	9,068	9,068	-	22	4,318	4,318	-	-	-	-	-
	立木処分	45	13,386	13,386	-	23	9,068	9,068	-	22	4,318	4,318	-	-	-	-	-
	製品資材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業務用資材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富 士 ・ 東 部	総 数	121	30,222	30,183	39	83	27,134	27,095	39	38	3,088	3,088	-	-	-	-	-
	立木処分	121	30,222	30,183	39	83	27,134	27,095	39	38	3,088	3,088	-	-	-	-	-
	製品資材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業務用資材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
森 林 総 合	総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	立木処分	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	製品資材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業務用資材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	総 数	339	83,719	83,680	39	197	68,871	68,832	39	142	14,847	14,847	-	-	-	-	-
	立木処分	339	83,719	83,680	39	197	68,871	68,832	39	142	14,847	14,847	-	-	-	-	-
	製品資材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	業務用資材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) その他の欄は横線主伐である。

出典:実行総括表

22 県有林主産物契約方法別処分量

単位:m3

年 度 林務環境 事務所	総 数	立 木 処 分							森 総 研 究 資	林 合 所 材	委託販売
		総 数	公 売			特 売					
			総 数	システム販売	一般公売	指名公売	管理条例 43条	管理条例 44条			
平成29年度	68,299	63,499	57,263	21,960	35,303	-	72	6,164	-	4,800	
平成30年度	69,673	58,285	46,632	19,938	26,694	-	79	11,574	-	11,388	
令和元年度	74,986	63,618	51,445	15,857	35,588	-	42	12,131	-	11,369	
令和2年度	79,897	67,269	56,342	22,325	34,017	-	44	10,884	-	12,628	
令和3年度	83,719	73,597	58,371	11,416	46,955	-	39	15,187	-	10,122	
((令和3年度内訳))											
中北	24,829	22,655	17,456	7,359	10,097	-	-	5,199	-	2,174	
峡東	15,282	13,222	10,278	739	9,539	-	-	2,944	-	2,061	
峡南	13,386	9,179	7,213	531	6,682	-	-	1,966	-	4,207	
富士・東部	30,222	28,541	23,424	2,786	20,638	-	39	5,079	-	1,681	

出典:実行総括表

23 県有林主産物用途別処分量

単位:m3

年度 林務環境 事務所	総数	用材								薪材	森 林 研 究 所 資 材	業 務 使 用
		総数	一般用材	パルプ 用材	チップ 用材	公共用 材	災害復 旧資材	付帯 材	その他			
平成29年度	68,300	68,228	62,063	-	-	27	-	525	5,613	72	-	-
平成30年度	69,673	69,594	58,019	-	-	22	-	3,067	8,486	79	-	-
令和元年度	74,986	74,945	62,813	-	-	-	-	4,481	7,650	42	-	-
令和2年度	79,897	79,897	69,013	-	-	-	-	9,134	1,750	-	-	-
令和3年度	83,719	83,680	68,493	-	-	1	-	8,932	6,254	39	-	-
((令和3年度内訳))												
中北	24,829	24,829	19,630	-	-	1	-	4,065	1,133	-	-	-
峡東	15,282	15,282	12,339	-	-	-	-	2,757	187	-	-	-
峡南	13,386	13,386	11,420	-	-	-	-	232	1,734	-	-	-
富士・東部	30,222	30,183	25,105	-	-	-	-	1,878	3,201	39	-	-

出典:実行総括表

24 県有林副産物処分量

単位 しば草:束,きのこ:kg,土石:m3,金額(税込):円

年 度 林 務 環 境 事 務 所	総 金 額	し ば 草		き の こ		土 石		そ の 他		
		数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	種 別	数 量	金 額
平成29年度	493,020	-	-	260	80,460	-	-	-	-	412,560
平成30年度	507,060	-	-	260	86,940	0	6,480	-	-	413,640
令和元年度	310,324	-	-	260	88,134	-	-	-	-	222,190
令和2年度	961,223	-	-	260	97,200	4,177	459,503	-	-	404,520
令和3年度	476,770	-	-	260	63,450	383	8,800	-	-	404,520
((令和3年度内訳))										
中北	63,450	-	-	260	63,450	-	-	-	-	-
峡東	8,800	-	-	-	-	383	8,800	-	-	-
峡南	180,400	-	-	-	-	-	-	ヒノキ皮	1,050kg	180,400
富士・東部	224,120	-	-	-	-	-	-	ナナカマ ト'枝条	100束	71,500
								ウツシロモミ 間伐木枝 条	100束	63,800
								オニク	100kg	12,441
								コケモモ	400L	32,379
								スズ竹	100束	18,700
								シラベ 幼苗	1,000本	25,300

出典:実行総括表

木材需給と木材産業

25 県内木材価格の推移

単位：円／m³

樹種 形状	スギ 中丸太	ヒノキ 中丸太	ヒノキ 中丸太	アカマツ 中丸太	カラマツ 中丸太
	径14～22cm 長3.65～4.0m	径14～22cm 長3.0m	径14～22cm 長3.65～4.0m	径16～28cm 長3.65～4.0m	径16～28cm 長3.65～4.0m
平成29年度	9,400	14,300	14,300	8,200	12,400
平成30年度	9,100	16,300	15,000	8,000	13,100
令和元年度	9,900	15,500	14,300	9,400	13,600
令和2年度	8,900	14,300	13,700	9,500	12,800
令和3年度	13,500	26,600	24,900	14,200	18,700

単位：円／m³

樹種 形状	針葉樹 チップ材	広葉樹 チップ材	米ツガ (カスケード)	米マツ (コースト)	スギ丸太 (合板適材)
	径 込 長 込	径 込 長 込	30cm上 6.0m上	30cm上 6.0m上	径18cm上 長4.0m上
平成29年度	5,700	9,100	23,000	32,600	10,800
平成30年度	6,100	9,200	26,800	40,200	11,000
令和元年度	6,300	9,300	26,900	25,600	11,300
令和2年度	6,500	9,500	—	21,000	11,100
令和3年度	6,600	9,500	—	26,600	12,000

資料：山梨県木材協会、農林水産省「木材価格」、「木材需給報告書」

注：北洋材カラマツは、農林水産省が実施する木材価格統計調査の調査対象品目見直しにより、平成25年1月より調査対象外となっていたことから、平成29年度より対象品目をスギ丸太（合板適材）に変更する。
「—」は未公表を示す。

26 用材（原木）需給の状況

単位：千m³

区分 年度	需 要 量					
	総 量	製 材	パルプ	木材 チップ	その他	県 外 移出量
平成29年度	246	20	—	190	12	24
平成30年度	230	×	—	×	13	23
令和元年度	291	×	—	×	11	16
令和2年度	313	20	—	×	9	15
令和3年度	313	22	—	×	×	11

単位：千m³

区分 年度	供 給 量				外材比率	製材用に 占める 外材比率
	総 量	県産材	県外材	外 材		
平成29年度	246	214	31	1	0	5
平成30年度	230	201	×	×	×	×
令和元年度	291	223	×	×	×	×
令和2年度	313	227	×	×	×	×
令和3年度	313	213	×	2	×	9

資料：「木材需給報告書」農林水産省統計情報部

「県製材工場等調査等」（平成27年度～）

※平成30年度～は一部（山梨県を含む）県別の外材輸入量が未公表
「—」は事実のないもの、「×」は非公表を意味する。

27 製 材

(1) 製材工場数・動力の出力数及び従業者数

区分 年次	計	出力階層別			動力の出力数		従業者数		素材消費量	
		7.5～75.0 KW未満	75.0～ 300.0	300.0 以上	(KW)	一工場 当たり	(人)	一工場 当たり	(千m ³)	一工場 当たり
平成29年	(100) 27	(56) 15	(33) 9	(11) 3	2,960	109.6	×	×	20	0.7
平成30年	(100) 24	(54) 13	(33) 8	(13) 3	2,864	119.3	×	×	20	0.8
令和元年	(100) 23	(52) 12	(35) 8	(13) 3	2,978	129.5	×	×	21	0.9
令和2年	(100) 20	(50) 10	(35) 7	(15) 3	2,902	145.1	×	×	19	1.0
令和3年	(100) 20	(45) 9	(40) 8	(15) 3	3,182	159.1	×	×	22	1.1

資料：「木材需給報告書」農林水産省統計部、「木材統計」農林水産省大臣官房統計部

注：平成29年調査から出力階層区分変更、従業者数削除

「-」は事実のないもの、「×」は非公表を意味する。

() は構成比

(2) 製材用素材の入荷量

単位:千m³

区分 年次	合計	国産材			外 材						外 材 依存率 (%)
		計	針葉樹	広葉樹	計	南洋材	米材	北洋材	ニュージ- ランド材	その他	
平成29年	20	19	19	0	1	-	1	-	-	-	5
平成30年	×	×	×	×	×	-	×	-	-	-	-
令和元年	×	×	×	×	×	-	×	-	-	-	-
令和2年	20	×	×	-	×	-	×	-	-	-	-
令和3年	22	20	×	-	2	-	2	-	-	-	-

資料：「木材需給報告書」農林水産省統計部、「木材統計」農林水産省大臣官房統計部

注：「-」は事実のないもの、「×」は非公表を意味する。

(3) 国産材・外材別の工場数及び原木入荷量

単位:千m³

区分 年次	計		国産材のみ		国産材と外材		外材のみ	
	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量	工場数	入荷量
平成29年	27	20	22	18	4	×	1	×
平成30年	24	×	22	×	1	×	1	×
令和元年	23	×	22	×	-	-	1	×
令和2年	20	×	19	×	-	-	1	×
令和3年	20	22	16	20	-	-	4	2

資料：「木材需給報告書」農林水産省統計部、「木材統計」農林水産省大臣官房統計部

注：「-」は事実のないもの、「×」は非公表を意味する。

(4) 製材品の用途別出荷量

単位:千m³

区分 年次	総数	建築用	土木用	木箱・梱包	家具・建具	その他
平成29年	15	6	×	×	-	-
平成30年	15	4	8	×	×	×
令和元年	16	4	9	×	-	×
令和2年	13	2	8	3	-	-
令和3年	13	8	2	3	-	-

資料：「木材需給報告書」農林水産省統計部、「木材統計」農林水産省大臣官房統計部

注：「-」は事実のないもの、「×」は非公表を意味する。

28 チップ

(1) 木材チップ工場数及び従業者数

区分 年次	工場数			従業者数 (人)	一工場当たり 従業者数 (人)
	計	製材工場を 兼営している	兼営なし		
平成29年	11	8	3	×	×
平成30年	10	7	3	×	×
令和元年	10	7	3	×	×
令和2年	10	7	3	×	×
令和3年	9	6	3	×	×

資料：「木材需給報告書」農林水産省統計部、「木材統計」農林水産省大臣官房統計部
注：「×」は非公表を示す。

(2) 原材料入手区分別木材チップ生産量

単位：千 t

区分 年次	入手区分					樹種別	
	計	素材 (原木)	工場 残材	林地 残材	解体材 ・廃材	針葉樹	広葉樹
平成29年	78	76	2	-	-	39	39
平成30年	63	62	1	-	-	38	25
令和元年	59	58	1	-	-	34	25
令和2年	54	52	2	-	-	33	21
令和3年	37	35	2	-	-	22	15

資料：「木材需給報告書」農林水産省統計部、「木材統計」農林水産省大臣官房統計部
注：「-」は事実のないものを意味する。

特 用 林 産

3 1 管内別薪生産量

単位：束

管内別 年次	総数	中北	峡東	峡南	富士東部
平成29年	100,755	89,505	—	—	11,250
平成30年	100,575	89,325	—	—	11,250
令和元年	63,450	47,880	—	—	15,570
令和2年	58,095	48,465	—	—	9,630
令和3年	68,670	43,785	—	—	24,885

(参考) 1 m³=45 束

3 2 管内別木炭生産量

単位：t

管内別 年次	総数	中北	峡東	峡南	富士・東部
平成29年	8	1	2	1	4
平成30年	8	1	2	1	4
令和元年	6	1	1	1	3
令和2年	6	1	1	1	3
令和3年	6	1	1	—	3

3 4 特用林産物生産量

単位：t

年次 管内	くり t	生しい たけ t	乾しい たけ t	ひらたけ t	なめこ t	まいたけ t	えりんぎ t	わさび t	たけのこ t	木炭 t
平成29年	14.5	176.4	3.2	27.2	43.8	16.4	20.0	3.9	22.5	7.0
平成30年	8.2	159.9	2.6	21.5	37.4	14.1	20.0	3.8	37.9	6.8
令和元年	7.0	162.4	1.7	25.3	48.7	3.8	20.0	3.1	17.9	5.8
令和2年	6.8	189.8	1.5	23.2	51.0	9.4	20.0	3.9	32.4	5.7
令和3年	5.8	196.0	1.2	23.9	50.0	16.8	20.0	3.7	6.8	5.5
(3年次内訳)										
中北	4.0	132.9	0.5	3.5	4.5	—	—	—	—	0.6
峡東	—	44.6	0.1	0.2	0.1	14.6	—	—	—	1.4
峡南	1.8	16.9	0.5	20.2	45.2	0.2	20.0	—	6.7	0.3
富士・東部	—	1.6	0.1	—	0.2	2.0	—	3.7	0.1	3.2

注) 少数第二位以降は四捨五入のため、合計数字と内訳数字とが一致しない場合があります。

35 管内別しいたけ生産量

(1) 生しいたけ

単位：t

管内別 年次	総数	中北	峡東	峡南	富士・東部
平成29年	176.4	124.9	27.6	18.1	5.9
平成30年	159.9	112.8	26.7	16.9	3.5
令和元年	162.4	115.9	25.6	18.5	2.4
令和2年	189.8	129.1	43.7	13.8	3.2
令和3年	196.0	132.9	44.6	16.9	1.6

注) 少数第二位以降は四捨五入のため、合計数字と内訳数字とが一致しない場合があります。

(2) 乾しいたけ

単位：t

管内別 年次	総数	中北	峡東	峡南	富士・東部
平成29年	3.2	0.4	—	2.2	0.4
平成30年	2.6	0.3	—	1.9	0.3
令和元年	1.7	0.7	—	0.8	0.2
令和2年	1.5	0.5	—	0.7	0.3
令和3年	1.2	0.5	0.1	0.5	0.1

注) 少数第二位以降は四捨五入のため、合計数字と内訳数字とが一致しない場合があります。

林 道

36 県営林道の現況

単位 延長:m

林務環境事務所	総 数		自 動 車 道		軽 車 道	
	路線数	延 長	路線数	延 長	路線数	延 長
総 数	228(215)	1,161,162	228(215)	1,161,162	—	—
中 北	93(89)	404,317	93(89)	404,317	—	—
峡 東	49(47)	281,629	49(47)	281,629	—	—
峡 南	30(26)	172,979	30(26)	172,979	—	—
富士・東部	56(53)	302,237	56(53)	302,237	—	—

()実路線数

37 県営林道5ヶ年実績(開設)

単位 延長:m, 経費:千円

年 度 林務環境事務所	総 数			自 動 車 道			
	路線数	延 長	事業費	路線数	延 長	事業費	
平成29年度	23	9,011	1,599,864	23	9,011	1,599,864	
平成30年度	21	8,489	1,589,610	21	8,489	1,589,610	
令和元年度	21	6,253	1,007,135	21	6,253	1,007,135	
令和2年度	19	6,465	1,571,438	19	6,465	1,571,438	
令和3年度	19	5,457	1,135,582	19	5,457	1,135,582	
3 年 度 内 訳	中北	7	1,876	259,585	7	1,876	259,585
	峡東	5	1,637	428,775	5	1,637	428,775
	峡南	4	378	136,391	4	378	136,391
	富士・東部	3	1,566	310,831	3	1,566	310,831

38 補助林道の現況

単位 延長:m

林務環境事務所	総 数		自 動 車 道		軽 車 道	
	路線数	延 長	路線数	延 長	路線数	延 長
総 数	421(409)	924,609	416(404)	919,193	5	5,416
中 北	117(117)	278,900	115(115)	276,105	2	2,795
峡 東	59(57)	118,913	59(57)	118,913		
峡 南	113(108)	286,987	110(105)	284,366	3	2,621
富士・東部	132(127)	239,809	132(127)	239,809		

()実路線数
 ※市町村営林道の現況

39 補助林道5ヶ年実績(開設)

単位 延長:m, 経費:千円

年 度 林務環境事務所	総 数			自 動 車 道			
	路線数	延 長	事業費	路線数	延 長	事業費	
平成29年度	5	696	394,151	5	696	394,151	
平成30年度	3	484	311,789	3	484	311,789	
令和元年度	3	642	371,590	5	894	549,300	
令和2年度	2	243	122,490	3	495	300,200	
令和3年度	2	399	249,100	2	399	249,100	
3 年 度 内 訳	中北	0	0	0	0	0	
	峡東	0	0	0	0	0	
	峡南	1	96	51,100	1	96	51,100
	富士・東部	1	303	198,000	1	303	198,000

※市町村営林道の実績

治 山

40 治山事業の現況（その1-1）

単位 面積:ha, 経費:千円

年度	総経費	本工事費計		山地治山総合対策									
				復旧治山		山地災害重点地域総合対策		流木防止総合対策		緊急予防治山		緊急総合治山	
		面積	経費	面積	経費	面積	経費	面積	経費	面積	経費	面積	経費
平成28年度	3,732,007	38.84	3,454,498	9.26	1,908,147	-	-	-	-	-	64,002	-	-
平成29年度	3,705,797	100.06	3,705,797	10.67	1,906,494	-	-	-	-	0.09	88,001	-	-
平成30年度	4,525,584	13.43	4,218,042	7.46	2,529,168	0.00	51,509	-	-	0.45	149,227	-	-
令和元年度	5,324,362	41.13	4,933,751	6.93	2,854,151	0.60	156,455	0.19	85,296	0.61	315,850	-	-
令和2年度	4,841,428	11.52	4,534,273	6.98	2,679,802	0.52	227,354	0.25	149,279	0.33	218,393	-	-
令和3年度	5,137,810	23.87	4,872,024	8.25	2,898,828	1.01	260,765	0.27	141,937	1.29	382,857	0.09	50,001
(3年度内訳)													
中北	1,313,033	3.85	1,243,929	2.99	956,072	0.05	45,757	0.07	50,008	0.08	81,102	-	-
峡東	1,174,287	5.43	1,113,156	1.72	637,947	0.06	80,007	0.11	28,017	0.10	43,084	-	-
峡南	1,320,981	4.23	1,251,877	2.28	620,960	0.90	135,001	0.09	63,912	0.37	105,479	-	-
富士・東部	1,329,509	10.36	1,263,062	1.26	683,849	-	-	-	-	0.74	153,192	0.09	50,001

総経費は、事務費を含む。

40 治山事業の現況（その1-1）

単位 面積:ha, 経費:千円

年度	水源地域等保安林整備						地すべり防止		災害関連 緊急治山		林地荒廃 防止施設 災害復旧
	緊急 機能強化		水源森林 再生対策		奥地保安林 保全緊急対策						
	面積	経費	面積	経費	面積	経費	面積	経費	面積	経費	経費
平成28年度	-	-	0.92	85,001	8.16	181,654	10.43	232,466	-	-	-
平成29年度	-	-	58.80	159,790	15.55	217,516	4.37	181,504	-	42,882	40,160
平成30年度	-	-	2.28	169,237	0.45	265,877	1.16	158,400	0.31	57,942	42,057
令和元年度	-	-	26.47	123,756	1.22	93,289	1.27	136,612	0.00	89,509	17,450
令和2年度	-	43,805	1.41	143,952	0.06	47,006	1.01	106,010	0.29	57,799	28,344
令和3年度	-	40,011	-	54,921	2.50	57,009	-	90,896	-	-	-
(3年度内訳)											
中北											
峡東			-	54,921							
峡南	-	40,011					-	90,896			
富士・東部					2.50	57,009					

40 治山事業の現況（その1-2）

単位 面積:ha, 経費:千円

年度	農山漁村地域整備交付金										障害防止 対策
	予防治山		山地災害総合 減災対策治山		地域防災対策 総合治山		機能強化・ 老朽化対策		奥地保安林 保全緊急対策		
	面積	経費	面積	経費	面積	経費	面積	経費	面積	経費	
平成28年度	7.93	347,561	0.61	224,701	0.94	125,775	0.45	120,116	-	-	165,075
平成29年度	0.70	479,262	0.19	189,001	0.15	115,616	7.27	85,402	1.96	45,000	155,169
平成30年度	0.68	357,674	0.09	84,001	0.37	66,674	-	97,936	0.18	50,001	138,339
令和元年度	1.37	582,815	0.12	45,142	0.08	60,003	-	102,628	2.27	67,005	203,790
令和2年度	0.31	403,645	-	-	0.08	45,024	-	75,028	0.28	195,007	113,825
令和3年度	1.95	549,476	-	-	-	-	-	64,839	8.51	159,915	120,569
(3年度内訳)											
中北	0.66	105,981					-	5,009			
峡東	0.56	204,971					-	5,000	2.88	59,209	
峡南	0.59	145,485					-	50,133			
富士・東部	0.14	93,039					-	4,697	5.63	100,706	120,569

40 治山事業の現況（その2）

単位 面積:ha, 経費:千円

年度	総経費	本工事費計		林業施設 景観形成	小規模治山事業			
		面積	経費		危険地		災害緩衝機能強化	
				面積	経費	面積	経費	面積
平成28年度	386,997	0.83	368,571	84,377	0.73	136,767	0.06	38,578
平成29年度	366,954	0.49	366,954	8,177	0.39	181,409	0.09	55,092
平成30年度	375,787	0.59	358,704	15,228	0.54	203,676	-	61,441
令和元年度	381,479	2.44	364,960	7,701	1.84	172,861	-	36,912
令和2年度	373,310	0.59	358,310	4,586	0.59	218,325	-	35,467
令和3年度	337,240	0.58	324,771	5,729	0.58	222,427	-	31,324
(3年度内訳)								
中北	104,798	0.27	100,933	-	0.27	69,617	-	
峡東	67,404	0.09	64,910	-	0.09	53,497	-	4,348
峡南	55,831	0.08	53,711	-	0.08	32,041	-	11,378
富士・東部	109,207	0.14	105,217	5,729	0.14	67,272	-	15,598

総経費は、事務費を含む。

40 治山事業の現況（その2）

単位 面積:ha, 経費:千円

年度	小規模治山事業							
	治山施設維持	治山施設機能強化	災害復旧	流木等発生源対策	孤立集落周辺整備		県有林	
	経費	経費	経費	経費	面積	経費	面積	経費
平成28年度	82,838	-	-	-	0.04	24,947	-	1,064
平成29年度	106,713	-	-	-	0.01	15,563	-	-
平成30年度	56,656	-	-	13,808	0.05	7,895	-	-
令和元年度	73,119	22,517	13,203	34,069	0.60	4,578	-	-
令和2年度	56,072	14,368	6,912	22,580	0.00	0	-	-
令和3年度	34,370	0	-	30,921	-	-	-	-
(3年度内訳)								
中北	16,816	-	-	14,500	-	-	-	-
峡東	3,094	-	-	3,971	-	-	-	-
峡南	8,542	-	-	1,750	-	-	-	-
富士・東部	5,918	-	-	10,700	-	-	-	-

流木等発生源対策は、市町村への補助事業(H30～)

4 1 民有林直轄治山事業（山梨森林管理事務所）

単位 面積:ha、経費:千円

年 度	地区名	総経費	事業費			
			復旧治山		予防治山	
			面積	経費	面積	経費
平成29年度	総 数	336,333	1	336,333	-	-
	野呂川	224,746	1	224,746	-	-
	補正	111,588	0	111,588	-	-
平成30年度	総 数	465,320	2	465,320	-	-
	野呂川	220,941	1	220,941	-	-
	補正	244,379	1	244,379	-	-
令和元年度	総 数	212,270	1	212,270	-	-
	野呂川	133,451	1	133,451	-	-
	補正	78,819	0	78,819	-	-
令和2年度	総 数	482,066	1	482,066	-	-
	野呂川	263,327	1	263,327	-	-
	補正	218,739	1	218,739	-	-
令和3年度	総 数	343,370	1	343,370	-	-
	野呂川	99,710	1	99,710	-	-
	補正	244,020	1	244,020	-	-

林 野 被 害

4 2 林 野 被 害

単位 面積:ha、被害額:千円

年 度	総 数		風 水 害		凍・雪・寒・干害		病虫獣害	
	面 積	被 害 額	面 積	被 害 額	面 積	被 害 額	面 積	被 害 額
平 成 29 年 度	5,479.83	366,054	7	15,033	12	10,089	5,445.99	339,191
平 成 30 年 度	5,544.80	253,744	44.73	14,717	4.53	1,071	0.00	-
令 和 元 年 度	4,676.40	226,524	21.98	8,282	1.24	315	-	-
令 和 2 年 度	4,315.58	267,144	0.51	780	2.41	638	-	-
令 和 3 年 度	4,097.08	260,184	0.09	3	2.11	1,067	-	-
(令和3年度内訳)								
国 有 林	4.05	4,965	0.09	3	-	-	-	-
県 有 林	347.82	59,185	-	-	2.11	1,067	-	-
民 有 林	3,745.21	196,034	-	-	-	-	-	-
(林務環境事務所別内訳)								
中 北	1,807.94	69,756	-	-	-	-	-	-
峡 東	497.11	31,973	-	-	-	-	-	-
峡 南	60.57	37,861	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1,727.41	115,629	-	-	2.11	1,067	-	-

(注) 林務環境事務所別内訳は県有林・民有林のみ

(注) 「風水害」「凍・雪・寒・干害」「火災」については暦年

(注) 平成30年度以降は、病虫獣害を被害別で記載

単位 面積:ha、被害額:千円

松くい虫被害		クマ被害		シカ被害		その他獣害		火 災		その他	
面 積	被害額	面 積	被害額	面 積	被害額	面 積	被害額	面 積	被害額	面 積	被害額
-	-	-	-	-	-	-	-	15.07	1,741	-	-
4,641.39	38,142	276	91,494	556	103,716	4	989	17.68	3,615	-	-
3,906.94	34,581	449.41	78,354	283.53	105,938	1.23	778	12.07	78	-	-
3,778.96	37,976	331.12	106,366	188.09	107,287	8.38	11,070	6.11	3,027	-	-
3,478.47	34,952	389.19	120,378	223.38	103,473	0.39	311	3.45	-	-	-
-	-	-	-	3.96	4,962	-	-	-	-	-	-
275.19	1,499	6.39	4,806	61.87	51,813	-	-	2.26	-	-	-
3,203.28	33,453	382.80	115,572	157.55	46,698	0.39	311	1.19	-	-	-
1,755.33	21,194	16.07	23,211	36.02	25,351	-	-	0.52	-	-	-
333.37	2,397	83.49	10,727	77.62	18,849	-	-	2.63	-	-	-
1.11	335	6.40	14,644	53.00	22,882	-	-	0.06	-	-	-
1,388.66	11,026	283.23	71,796	52.78	31,429	0.39	311	0.24	-	-	-

4 3 森林保険契約及び損害てん補状況

単位 面積:ha、保険金額・保険料:千円

区 分	契 約			損			
				火 災		風 害	
	面 積	保険金額	保険料	面 積	保険金額	面 積	保険金額
平成 29 年度	2,120	2,216,409	10,770	0.25	415	-	-
平成 30 年度	2,158	2,132,982	9,976	1.08	2,063	0.31	440
令和元年度	2,140	2,242,866	14,328	-	-	0.61	901
令和 2 年度	2,019	2,060,392	12,231	-	-	-	-
令和 3 年度	1,980	1,946,828	11,656	-	-	-	-
(令和3年度内訳)							
県有林	20	43,667	972	-	-	-	-
民有林	1,960	1,903,161	10,684	-	-	-	-

害 て ん 補							
水 害		雪 害		干 害		凍 害	
面 積	保険金額	面 積	保険金額	面 積	保険金額	面 積	保険金額
-	-	-	-	1.61	1,397	-	-
0.38	581	-	-	5.08	3,715	0.02	24
0.31	476	-	-	0.82	403	-	-
0.04	53	8	2,878	0.69	683	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-

森林組合及び林業金融

4 4 森 林 組 合 の 状 況

単位 人数：人，金額：千円，面積：ha

年 次 林務環境事務所	組 合 数 組 合 名	組 合 員 数			出 資 金 払 込 済 額	組 合 員 所 有 森 林 面 積
		総 数	正 組 合 員	准 組 合 員		
平成29年	11	22,334	21,997	337	496,841	128,004
平成30年	11	22,298	21,964	334	498,447	127,861
令和元年	11	22,335	22,003	332	498,429	127,728
令和2年	11	22,314	21,984	330	497,481	127,713
令和3年	11	22,295	21,971	324	495,641	127,706
(3年次内訳)						
中 北		6,524	6,416	108	75,974	26,675
	中 央	2,341	2,263	78	41,800	16,004
	峡 北	4,183	4,153	30	34,174	10,671
峡 東	峡 東	2,319	2,315	4	43,837	12,583
峡 南		5,759	5,629	130	237,689	45,733
	峡 南	2,833	2,833	0	56,852	14,818
	早 川 町	665	659	6	21,736	12,896
	身 延 町	644	644	0	11,605	6,273
	南 部 町	1,617	1,493	124	147,496	11,746
富 士 ・ 東 部		7,693	7,611	82	138,141	42,715
	南 都 留	2,221	2,214	7	35,161	14,526
	大 月 市	1,774	1,774	0	25,195	10,726
	北 都 留	1,908	1,856	47	41,288	8,833
	富 士 北 麓	1,795	1,767	28	36,497	8,630

[注] 各年次のデータは各年12月末日のもの（森林組合一斉調査）
ただし、北都留森林組合と峡南森林組合については、
決算期が他組合と異なるため3月末日のもの

単位 人数：人，金額：千円，面積：ha

年次 林務環境事務所	組合 組 合 数 名	役 員				職員総数 (専任)
		総数	理 事		監事	
			常勤	非常勤		
平成29年	11	247	1	210	36	74 (74)
平成30年	11	246	1	210	35	78 (78)
令和元年	11	238	2	201	35	71 (71)
令和2年	11	236	3	198	35	71 (71)
令和3年	11	235	3	197	35	70 (70)
(3年次内訳)						
中北		54	0	48	6	14 (14)
	中央	30	0	27	3	7 (7)
	峡北	24	0	21	3	7 (7)
峡東	峡東	22	0	19	3	3 (3)
峡南		66	1	52	13	14 (14)
	峡南	21	0	18	3	5 (5)
	早川町	14	0	11	3	4 (4)
	身延町	13	0	10	3	2 (2)
	南部町	18	1	13	4	3 (3)
富士・東部		93	2	78	13	39 (39)
	南都留	23	1	19	3	10 (10)
	大月市	26	0	22	4	5 (5)
	北都留	15	0	12	3	20 (20)
	富士北麓	29	1	25	3	4 (4)

[注] 各年次のデータは各年12月末日のもの（森林組合一斉調査）
ただし、北都留森林組合と峡南森林組合については、
決算期が他組合と異なるため3月末日のもの

4 6 日本政策金融公庫資金借入状況

単位：千円

年 度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総 数	件 数	2	—	1	8	3
	金 額	1,100	—	8,600	164,500	40,700
造 林	件 数	2	—	—	—	—
	金 額	1,100	—	—	—	—
主 務 大 臣 指 定 施 設 資 金	件 数	—	—	—	5	3
	金 額	—	—	—	93,500	40,700
林 道	件 数	—	—	—	—	—
	金 額	—	—	—	—	—
振 興 山 村 ・ 過 疎 地 域 経 営 改 善	件 数	—	—	—	—	—
	金 額	—	—	—	—	—
林 業 経 営 育 成	件 数	—	—	—	—	—
	金 額	—	—	—	—	—
林 地 取 得	件 数	—	—	—	—	—
	金 額	—	—	—	—	—
共 同 利 用 施 設 等	件 数	—	—	1	1	—
	金 額	—	—	8,600	21,000	—
セーフティネット	件 数	—	—	—	2	—
	金 額	—	—	—	50,000	—

(注) 共同利用施設には、林業構造改善事業資金を含む。

4 7 林業関係資金貸付状況

(1) 林業・木材産業改善資金貸付状況

単位：千円

年 度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
林業・木材産業改善資金	件数	2	2	2	1	0
	金額	47,900	24,750	22,200	29,700	0

(2) 木材産業高度化推進資金貸付状況

例年、年度末時点の貸付残高としている。よって、タイミングによっては「0」となる。

単位：千円

年 度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総 数	件数	0	0	1	0	0
	金額	0	0	4,160	0	0
事業経営改善合理化資金	素材生産等促進資金	件数	—	—	—	—
		金額	—	—	—	—
	新規需要創出資金	件数	—	—	—	—
		金額	—	—	—	—
木材高度加工資金		件数	—	—	—	—
		金額	—	—	—	—
林業経営改善資金	林業経営高度化推進資金	件数	—	—	—	—
		金額	—	—	—	—
	伐採・造林一貫作業推進資金	件数	—	—	—	—
		金額	—	—	—	—
間伐等促進資金		件数	0	0	1	0
		金額	0	0	4,160	0

普 及

48 林業普及指導員配置状況

単位 人数：人 面積：ha

区分 \ 地域	総数	中北	峡東	峡南	富士・東部	本庁	森林総合研究所
林業普及指導員	11	1	1	1	1	1	6
民有林指導森林面積	188,663	34,426	29,693	56,592	67,952		—
普及指導員1人当たり平均指導森林面積	17,151						

(注) 面積は県有林植樹用貸地を含む。

49 林業普及指導の協力員・団体の状況

令和4年3月31日現在

区分 \ 地域	総数	中北	峡東	峡南	富士・東部	備考
指導林家	3		2	1		
青年林業士	2				2	
みどりのインストラクター	46	24	9	4	9	
林業研究グループ	12	4		3	5	

50 林業機械器具の現況

令和4年3月31日現在

番号	機械種名	備考	単位	所有区分別数量											
				地方公共団体	学校	会社	森林組合	支援センター	その他組合	集落	研究機関	個人	合計		
1-1	索道	索道重力式	セット				2								2
1-2		索道動力式	セット			9									9
2-1	集材機	小型集材機	動力10ps未満	台			13	6				1			20
2-2		大型集材機	動力10ps以上	台			22	6				1			29
3	モノケーブル	ジグザク集材施設	台			2	1				1				4
4	リモコンウインチ	リモコン、ラジコンによる可搬式木寄せ機	台	1		13	2								16
5	自走式搬器		台			1	2				1				4
6	モノレール	懸垂式含む	台			1					1				2
7-1	運材車	動力20ps未満のもの	台			3	6				1				10
7-2		動力20ps以上のもの	台	1		22									23
8-1	ホイールタイプトラクタ	林内で集材等の作業を行うホイールタイプのトラクタ	台			1									1
8-2	クローラタイプトラクタ	上記でクローラタイプのもの	台			2									2
9	育林用トラクタ	主として地拵え等の育林作業用	台												
10	フォークリフト		台	1		8	16				1				26
11	フォークローダ		台			1									1
12-1	クレーン	運材機能なし	トラッククレーン、ホイールクレーン等	台			3								3
12-2		運材機能あり	クレーン付きトラック	台	1		18	7				1			27
13-1	グラップル	運材機能なし	グラップルローダ作業車	台	1		79	7							87
13-2		運材機能あり	グラップルローダ付きトラック	台			2								2
14	トラクタショベル	搬出、育林用等に係わる土工用	台			9					1				10
15	ショベル系掘削機械	搬出、育林用等に係わる土工用	台	8		47	1				1				57
16	チェーンソー		台	55		541	101			1		17			715
17	チェーンリモコン装置	リモコンチェーンソー架台	台												
18	刈払機	携帯式刈払機	台	76	28	422	94					16			636
19	植穴堀機		台			6	2								8
20	動力枝打機	自動木登り式	台	1		6	3				2				12
21		背負い式等の上記以外のもの	台	3		49	4								56
22	苗畑用トラクタ		台	2		3									5
23	樹木粉碎機	伐倒木、伐根、枝条等を粉碎する機械	台	2		4									6
24	フェラーバンチャ	立木を伐倒、集積する自走式機械	台												
25	スキッド	牽引式集材専用のトラクタ	台								1				1
26	プロセッサ	枝払い・玉切りする自走式機械	台			2	2								4
27	ハーベスタ	伐倒・枝払い・玉切りする自走機械	台	1		20	2				1				24
28	フォワーダ	積載式集材専用車両	台			14	6								20
29	タワーヤーダ	元柱を具備した自走式機械	台								1				1
30	スイングヤーダ	簡易索張方式に対応し、かつ旋回可能なブームを装備する集材機械	台			13	1								14
31	その他の高性能林業機械①	フォーク収納型グラップルバケット（フェリグバケット付きを含む）	台	1		14	7								22
32	その他の高性能林業機械②	グラップルバケット以外	台			10	1								11
33	グラップルソー	巻立・玉切り自走式機械	台			6									6

試験研究及び研修

5 1 令和3年度試験研究実績表

部門	新 継	研究課題	補助区分	研究期間	概 要
生産科	継	希少植物等の生息域外保全研究	県単	R1～R4	レッドデータブックに記載されている本県に固有な希少植物種、観光資源として有用な種などホザキツクスキノウのような個体数が著しく少ない種の場合は、植物体からの増殖も検討する必要がある。そこで、希少植物の個体から増殖材料の採取する際に、できる限り個体の損傷を軽減する必要性から、新芽を採取して増殖させるバイテク技術による増殖を目指す研究を行う。
	継	さし木によるカラマツ苗の増殖技術の開発	県単	H30～R3	カラマツ材は強度等が優れるため、その需要が急増し、カラマツ種苗が慢性的に不足している。さし木増殖は種子の豊凶に影響を受けずに苗木生産できるため、安定的な増殖技術として、カラマツさし木苗の育苗手法についての技術開発を行う。
	継	低コスト更新技術の開発に関する研究	県単	H30～R3	人工林資源の成熟化に伴う主伐の進行により、伐採跡地等の確実かつ低コストでの更新が求められている。また、ニホンジカの個体数増加に伴い、その摂食や剥皮に対して忌避性または耐性のある樹種の更新が必要となる。そのため、植栽によらず、播種および挿し木による広葉樹を中心とした更新技術に関する研究を行う。
環境科	継	山梨県におけるコウヨウザンの植栽可能性に関する研究	県単	R1～R5	国の方針として早生樹造林を進める方向にあるため、先行的な研究を進める観点から、対象を姉妹県省関係にある中国四川省が原産地のコウヨウザンに絞り、早生樹造林の植栽に関して検討すべき課題等の抽出も含めた研究を行う。
	新	ニホンジカによる鉄道衝突事故の要因解明と対策に関する研究	県単	R3～R5	山梨県内のJR身延線沿線を対象に、線路や近隣田畑および森林へのニホンジカ出没場所の傾向に対する要因、及び線路上での行動を解析することで、出没場所とその要因に応じた、ニホンジカの影響対策を検討する。
	新	小規模流域における土砂流出対策のための水文地形的要因に関する研究	県単	R3～R6	土砂流出対策に資するために、近年の降水状況と地質に応じた土砂流出の原因を降雨解析、透水試験、土壌分析等により明らかにし、小規模流域での降雨一流出過程と地形的特徴を解明し、治山工事を計画する上での基準を検討する。
資源利用科	継	山梨県産ヒノキの強度性能の解明	県単	R1～R3	山梨県産ヒノキの強度データが無い場合、集成材ラミナ、CLTラミナ、平角材の強度(ヤング係数、曲げ強度)の測定を行い、県産ヒノキの強度性能を明らかにして価値の向上を図る。
	継	スギ大径丸太の簡易強度選別手法の開発	県単	R1～R3	地域の実情に合わせた安価で簡易な方法により、スギ大径丸太を強度選別する技術の開発を行う。これにより選別した丸太からどの程度の強度の2×8、2×10材が生産できるか検証する。
	新	UAV、ICT機器を活用した森林整備事業の業務効率化	県単	R3～R5	現場ニーズを踏まえ、県森林整備事業を中心にUAV、ICT機器を活用した検査業務効率化手法を開発し、普及する。
	新	産業用マルチコプターを用いたマツクイムシ防除等の検討	県単	R3～R5	急峻地等で複数の単木を対象にUAVの運用に際し散布操作可能距離、効果的な散布高度、薬剤飛散傾向などを検証する。また、忌避剤の調査や被害地において抵抗性マツへの転換についても検討する。
	新	素材生産性向上に着目した工程管理手法の検討	県単	R3～R5	林業経営体に生産性を把握できる日報を使用してもらい、そのデータと実際の生産活動を分析することで、ボトルネックの見つけ方など生産性向上に向けた改善手法の検討とする。また、これらの分析から、生産性向上に向けたガイドラインを作成する。

部門	新 継	研究課題	補助区分	研究期間	概要
環境科	継	森林下層植生が土砂流出防止および水源涵養機能に及ぼす影響と植生回復に関する研究	県単 (重点化)	R1～R3	県内の森林の下層植生の代表であるスズタケを中心に、 ① 過去の資料に基づいたスズタケ衰退状況の把握、② 下層植生量と土壌流出量の関係の定量化、③ 土壌流出リスクの地図化、④ 下層植生回復策提示、を実施する。
資源利用科	継	カラマツ材によるCLT(直交集成板)の優位性の提示	県単 (重点化)	R1～R3	地域材であるカラマツについて、丸太、ラミナ、CLTの樹種強度特性を把握し、カラマツCLTの優位性を提示する。また、事前に山土場等で簡易打音法による強度把握を行い、効率的なラミナ製造を行う方法を検討する。
生産科	継	高齢級人工林の適切な管理技術に関する研究	県単 (成長戦略)	R2～R5	充実した森林資源の循環利用に向けて、齢級構成の平準化と付加価値の高い大径材の生産が可能となる長伐期施業の導入が求められている。このため、標準的な伐期を越えた森林の成長量や特性等を把握することにより、長伐期施業に移行可能な森林の選定や施業指針を確立させる。
	継	新たなきのこ菌床栽培方法の確立	県単 (成長戦略)	R2～R4	ハタケシメジ、シロアラゲキクラゲについて、新たに菌床袋栽培の技術を確立することにより、袋栽培農家の新たな選択肢の提供を行う。
	新	トリュフ栽培に適した森林環境に関する研究	県単 (成長戦略)	R3～R5	既往研究で作出された感染苗を林地に植栽して、土壌内の菌糸体量を定量化し、感染木の生長と、複数年の季節ごとの菌糸体量の確認により、感染状態の変化や、地中のトリュフ菌の動態を明らかにするとともに、菌根の成長に適した栽培環境を明らかにする。
	新	森林空間を利用した山菜等栽培方法に関する研究	県単 (成長戦略)	R3～R5	これまで、薬用植物園で行ってきた特用林産物の栽培方法について、山梨県内の標高、上層木樹種、開空度など、異なる環境で栽培を行い、森林環境に応じた栽培種・栽培方法についてマニュアルを作成する。また、付加価値の高い山菜の選抜を行う。
生産科	継	松くい虫発生予察事業	研委	S61～	県内における松くい虫被害の原因となるマツノマダラカミキリの発生活性を調査し、マツノマダラカミキリに対する防除適期を年ごとに把握する。
	継	カシノナガキクイムシ生息状況モニタリング	研委	H24～	カシノナガキクイムシの県内における潜在的な生息状況と、周辺県等からの飛び込みの状況について調査する。
	新	カシノナガキクイムシ発生予察	研委	R3～	県内におけるカシノナガキクイムシの発生時期を調査し、温度との関係を明らかにする。

部門	新 継	研究課題	補助区分	研究期間	概 要
環境科	継	県有林モニタリング事業	研委	H19～R8	全県下に調査地4地点を設け、昆虫多様性、菌類多様性、植物多様性、水質状況、炭素固定量の可能な項目について、伐採が周辺林分に及ぼす影響を中心にモニタリングする。
	継	森林環境税モニタリング調査	研委	H25～	山梨県では、平成24年4月から「森林環境税」を導入し、公益的機能が発揮される森づくりを進めている。森林環境税により実施される事業の中で、荒廃した民有林の間伐を進め、針葉樹と広葉樹の混じり合った森林に再生する荒廃森林再生事業が実施された箇所について、その効果を検証することを目的に調査を行う。
	継	富士スバルライン沿線緑化試験	研委	S43～	富士山という特別な地域の中を通る道路である富士スバルラインの沿線の植生の遷移、修景緑化の方法、更新の状況等を調査する。
資源利用科	継	運搬用トラックへの原木グラップル積込みに係る工期調査	研委	H29～	グラップルを用いた搬出用トラックへの積み込み工期を調査し、作業時間、生産性に関するデータの収集、解析を行う。解析結果は県有林、出先事務所に提供し、事業見積り等の参考資料として活用することを目的とする。
	新	自走式草刈り機の遠隔操作に関する評価	研委	R3	自走式草刈り機の操作性および遠隔操作可能な距離などについて検討する。遠隔操作によるオペレータの負担軽減について様々な方法で検討する。
生産科	新	ヒノキ花粉対策品種の円滑な生産支援	外部資金	R3～R6	移動式採種園における根域抑制栽培したヒノキ少花粉品種採種木からの種子生産の実現に向け、根域抑制栽培に関する着花促進方法、交配方法等の諸問題を再検討する。
環境科	継	ニホンジカとその個体数管理が森林限界・樹木限界に及ぼす影響の解明	外部資金	R2～R4	ニホンジカの高山帯への進出は、その摂食により森林限界や樹木限界のような自然生態系の成立過程に大きな影響を及ぼす可能性がある。また、ニホンジカの個体数管理は、ニホンジカの行動を変化させその分布域をより奥地化させる可能性がある。そこで、ニホンジカとその個体数管理が森林限界・樹木限界に及ぼす影響を評価し、今後の高標高域でのニホンジカ管理のための提言につなげる。
	新	ニホンジカによる植生への現在の影響は深刻なのか？過去数千年の個体群動態からの検証	外部資金	R3～R6	ニホンジカによる植生の変化や消失が日本各地で報告されているが、ニホンジカは日本の在来種であるため、現在の影響の管理や保全の必要性はより長期的な時間軸で評価する必要がある。本研究は、遺伝学的手法でニホンジカと植物の過去数千年の個体群動態の関係を推定し、現在見られるニホンジカによる植生への影響の尺度を明らかにする。
環境科資源利用科	継	水源涵養機能の確保に向けたニホンジカと森林下層植生の管理に関する研究	外部資金	R1～R5	森林の水源涵養機能を確保するために、効率的なニホンジカ捕獲に関する技術開発とその効果評価のための研究を実施する。

5 2 令和3年度森林総合研究所及び部内研修実績表

(1) 基礎研修(対象者:教職員等)

研修の種類	日数	参加者数	内 容
教員指導者養成研修	2	14	「環境とものづくり研修会」「身近な自然の指導法研修会」
計	2	14	

(2) 専門研修(対象者:県及び市町村林業技術者、森林組合職員等)

研修の種類	日数	参加者数	内 容
専門研修	35	378	林業経営・森林整備、造林・育林、森林保護・環境保全、林業機械、森林土木、木材の利用・加工・流通、労働安全
計	35	378	

(3) 技能者養成研修(対象者:林業従事者等)

研修の種類	日数	参加者数	内 容
林業就業者養成研修	15	6	林業架線作業主任者免許規程に係る講習
「緑の雇用」 現場技能者育成研修	20	70	林業機械、森林整備、森林調査、素材生産、路網開設、現場管理
現場管理責任者研修	11	7	新規就労者等を指導する立場の中堅職員と経営者を対象とした現場指導能力向上研修
計	46	83	

- (注) 1. 平成22年度までは、林業技能者の養成を図るために、森林総合研究所の技能者養成研修の中で「林業就業者リーダー養成研修」を実施し、修了者を林業技能作業士(グリーンワーカー)として、県が認定していた。
2. 平成23年度からは、「林業就業者リーダー養成研修」の内容の大半が「緑の雇用」現場技能者育成対策事業(全国森林組合連合会委託事業)の対象となったため、「林業就業者リーダー養成研修」及び林業技能作業士の認定を廃止した。
3. 「緑の雇用」現場技能者育成研修については、森林総合研究所実施分のみを記載している。

(4) 森の教室(対象者:一般県民)

研修の種類	日数	参加者数	内 容
体験学習・自然観察会・ 森林環境教育	15	200	植物観察、昆虫教室、キノコ鑑定、枝打ち・間伐・炭焼き・キノコ植菌体験
木工・ クラフト教室	8	58	押し花、マガジンラック、クリスマスリース、小枝細工等の製作
夏休み工作教室	注1	39	小枝細工、踏み台作成
計	23	297	

(5) 植物園研修(対象者:農林家、一般県民)

研修の種類	日数	参加者数	内 容
山の幸教室	10	120	ハーブクラフト教室、野草茶、木工教室、スパイス教室、野生きのこ教室、七味唐辛子作り、かご作り、飾り炭作り、きのこ栽培教室
計	10	120	

注1：7～11月に開催

※(2)専門研修の内訳

名 称	対 象	内 容	受講者数
森林GISの効率的な活用に必要な基礎知識	林政部職員等	GPSによる位置測量技術、衛星画像等との連携手法の基礎知識	17人
森林・林業分野におけるUAV活用	林政部職員等	UAVの概要と応用分野に関する知識	10人
市町村森林整備計画の策定及び実行に係わる基礎知識	林政部職員等	市町村森林整備計画に関する基礎知識	8人
森林経営計画及び林地台帳制度の基礎知識	林政部職員等	林地台帳整備や森林経営計画の策定に必要な森林計画制度や実務に関する基本的な知識・技術	10人
森林経営管理制度の実務	林政部職員等	森林経営管理制度の基本的な知識と具体的な事務	22人
林内路網の基礎知識	林政部職員等	山梨県林内路網整備計画や作設指針の概要、効率的な路網配置などの基本的な知識	13人
森林作業道の計画・施工	林政部職員等	森林作業道について、森林整備区域における配置計画の立案、現地における線形踏査等、計画・施工に関する基本的な知識・技術	10人
保安林・林地開発制度の概要	林政部職員等	保安林や林地開発の制度、伐採届等の法体系に関する基本的な知識	15人
森林土木測量研修	林政部職員等	森林土木事業等の計画・実行に必要な基本的な測量技術	7人
法面緑化研修	林政部職員等	法面緑化に用いられる植物の種子、種類、現地に適した配合計画の作成等に関する基本的な知識・技術	7人
森林環境教育・森林ESDの進め方	林政部職員等	森林づくりや緑化の推進がSDGsの目標達成に貢献すること、木の良さや利用することの意義	4人
森林施業プランナー研修 -森林施業提案書作成演習-	林政部職員等	森林施業提案書の作成演習、林分調査や作業システムの検討手法等の基本的な知識・技術	6人
労働災害の防止対策	林政部職員等	林業現場における労働災害の防止対策に関する知識・技術	14人

名 称	対 象	内 容	受講者数
技術職員の安全管理（現場で被災しないために）	林政部職員等	労働安全衛生規則等の関係法令の基礎知識	27人
森林施業技術の基礎知識	林政部職員等	針広混交林造成、萌芽更新などの広葉樹林造成や大径材生産についての基本的な知識・技術	15人
山梨県におけるナラ枯れ被害実態と対策	林政部職員等	重要病害虫であるカシノナガキクイムシ等に関する最新情報や対策	29人
山梨県野生鳥獣保護管理事業計画と獣害対策の応用知識	林政部職員等	第11次鳥獣保護管理計画の概要と、獣害対策に必要な生態や防除方法について基礎知識	14人
特用林産の基礎知識	林政部職員等	特用林産物の栽培方法や加工、流通の現状等についての基礎知識	5人
木材の用途と品質	林政部職員等	木材の新たな活用事例や木造建築部材に求められる品質の基礎知識	8人
県産材利用に関する基礎知識	林政部職員等	県産材流通の実態、木質バイオマス等の県産材利用に関する基礎知識	13人
林業架線作業主任者免許講習	林業事業体職員等	機械集材装置や運材索道に関する基本的な知識・技術	-
架線系集材技術の基礎	林政部職員等	機械集材装置運転やワイヤー加工等に関する基本的な知識・技術	12人
林業安全作業指導Ⅰ（チェーンソー・刈払機）	林政部職員等	チェーンソー、刈払機の取扱いに係る特別及び安全衛生教育（補講）	17人
林業安全作業指導Ⅱ（チェーンソー補講）	林政部職員等	チェーンソー、刈払機の取扱いに係る特別及び安全衛生教育（補講）	15人
林業安全作業指導Ⅲ（チェーンソー補講）	林政部職員等	チェーンソー、刈払機の取扱いに係る特別及び安全衛生教育	1人
計			384人

（注）専門研修「林業架線免許講習」は技能者養成研修との併催であるため控除。

林業・木材産業構造改革

5 3 林業・木材産業構造改革事業実績

(1) 林業構造改善事業等市町村別実績

	市町村名等 (旧市町村名)	第1次 第2次 新林構 S40~58 計 A	新林構、 実験林構 S54~H6 計 B	林業山村活性化林業構造改善事業 H2~H13						計 C	経営基盤強化林構 H10~H13		計 D
				地域活 性化型	総合型	産地形成 型	資源活用型	美しい むらモ デル	活力増 進モデ ル		中山間 モデル	事業体 育成型	
峡中	楡形町	210,000											
	甲府林業地域 甲府市 芦安村 甲斐市 中央拠点		236,070 277,750 450,000		164,348		229,326			164,348 229,326		1,378,641	1,378,641
	計	210,000	963,820		164,348		229,326			393,674		1,378,641	1,378,641
峡東	御坂町	104,020											
	牧丘町 三富村 山梨市 大和村 甲州市 峡東森林組合	63,800 65,500 228,000	132,250	46,000 43,000	59,278					105,278 43,000		192,000	192,000
	計	461,320	132,250	89,000	59,278					148,278		192,000	192,000
峡南	増穂町	75,211	419,445										
	鵜沢町	146,000	78,000		396,213					396,213			
	中富町		161,000										
	早川町	190,019	579,300		360,484			201,200		561,684			
	身延町	216,946	138,000										
	南部町	100,392	199,408						100,176	100,176			
	富沢町	213,706	248,000										
	下部町	331,000	225,620										
	富士川地域 峡南地域	585,408	97,000		616,200					616,200			
	計	1,858,682	2,145,773		1,372,897			201,200		100,176	1,674,273		
峡北	韮崎市		403,600										
	明野村	70,000											
	須玉町	77,940	394,608		1,522					1,522			
	大泉村	86,100	274,000										
	白州町	297,990	469,970										
	武川村		193,200										
	小淵沢町		154,660										
	高根町				166,861				100,000	266,861		45,750	45,750
	白州小淵沢地区 峡北森林組合				162,074					162,074		24,670	24,670
	計	532,030	1,890,038		330,457				100,000	430,457		70,420	70,420
大月	大月市	462,226	435,400										
	都留市	284,500	271,594										
	上野原町	304,006	505,000	53,190						53,190			
	小菅村	241,973	425,310				350,000			350,000			
	丹波山村	290,000	327,184										
	秋山村	245,000	184,700										
	道志村	406,367	353,768		158,874		505,500			664,374			
	甲斐東部地域 都留地域 北都留地域		149,660			1,550,000				1,550,000			
	計	2,234,072	2,652,616	53,190	521,974	1,550,000	855,500			2,980,664	477,700		477,700
吉田	河口湖町		48,000										
合計	5,296,104	7,832,497	142,190	2,448,954	1,550,000	1,084,826	201,200	100,000	5,627,346	477,700	1,641,061	2,118,761	

(2) 令和3年度 林業・木材産業構造改革事業等実績

単位：千円

事業名	事業種目	実施市町村	事業主体	工種又は施設区分	事業費	負担区分			
						国費	県費	市町村費	その他
林業・木材産業成長産業化促進対策交付金	高性能林業機械等の整備	北杜市	(有)原林業	ハーベスタ	28,050	8,500	0	0	19,550
合計					28,050	8,500	0	0	19,550

環境緑化及び森林の保健・文化・教育的利用

54 緑の募金

(1)「緑の募金」実績額の推移

単位：円

年	家庭募金	職場募金	企業募金	団体募金	学校募金	その他(街頭・一般・自販機募金等)	合計
平成29年	43,400,278	2,059,489	3,950,782	2,223,151	7,514	820,017	52,461,231
平成30年	43,060,057	2,045,633	3,667,619	1,678,518	0	972,658	51,424,485
令和元年	42,583,676	2,278,986	3,903,362	2,402,538	0	730,666	51,899,228
令和2年	39,275,009	2,508,607	3,677,567	1,994,343	0	546,007	48,001,533
令和3年	41,291,285	2,330,111	4,224,563	2,022,063	0	868,870	50,736,892

※（公財）山梨県緑化推進機構の会計年度は暦年

※ 平成30年から学校募金は「その他」に集計

(2)「緑の募金」の主な用途

単位：円

事業項目	森林整備事業	緑化推進事業	国際緑化事業等	市町村の緑化活動交付金	募金活動推進費
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・水源林、学校林などの森林整備に交付金を交付 ・地球温暖化防止のための森づくり活動に交付金を交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、街路、公園などの緑化に交付金を交付 ・緑の少年隊の育成に交付金を交付 ・地区で行う植樹祭などの緑化普及啓発事業に交付金を交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・国土緑化推進機構が実施する「林業専攻高校生・海外研修」に参加する者に助成するために交付金を交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の緑化推進組織が行う森林整備や緑化推進に助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の募金活動に対する啓発活動など
平成29年	9,465,000	9,140,000	400,000	16,750,310	3,032,705
平成30年	11,145,643	9,551,841	400,000	16,469,454	2,712,434
令和元年	8,047,393	7,804,822	300,000	14,165,439	2,859,570
令和2年	6,812,442	7,183,729	0	10,458,652	2,750,062
令和3年	8,051,473	7,104,491	300,000	13,520,990	2,536,120

※（公財）山梨県緑化推進機構の会計年度は暦年

55 緑化樹生産

県では、「山梨県直営生産緑化樹利用要領」に基づき、緑化樹を各緑化園で養成し、県及び市町村の公共施設に配付している。

(1) 公共用緑化樹養成数

単位：本

緑化園名 年度	日野春	小淵沢	大泉	計
平成29年度	2,098	-	4,316	6,414
平成30年度	2,615	-	3,873	6,488
令和元年度	2,514	-	3,667	6,181
令和2年度	2,451	-	3,917	6,368
令和3年度	2,169	-	4,507	6,676

(2) 施設別緑化樹配付状況

単位：本

区分 年度	国・県施設		市町村施設		計		備考
	施設数	本数	施設数	本数	施設数	本数	
昭和49年度から平成28年度までの累計	2,219	392,062	3,576	288,140	5,795	680,202	
平成29年度	7	131	14	203	21	334	
平成30年度	3	157	6	199	9	356	
令和元年度	4	150	4	157	8	307	
令和2年度	2	104	3	94	5	198	
令和3年度	3	89	2	48	5	137	
計	2,238	392,693	3,605	288,841	5,843	681,534	

56 緑の少年隊

緑の少年隊は、次代を担う子どもたちが緑化推進活動をはじめ、森林での学習活動、地域の社会奉仕活動、キャンプなどのレクリエーション活動を通して、自然を愛し、人を愛し、自ら社会を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした、子どもたちの自主的な団体である。

本県では、昭和49年に山中湖緑の少年隊が結成されて以来、毎年1～3隊が設立され、昭和63年9月には「緑の少年隊山梨県連盟」が結成された。

令和4年1月現在の隊数・隊員は、65隊、6,086人(指導者除く)となっている。

緑の少年隊一覧(令和4年1月現在)

地区	市町村	隊名	設立年度	地区	市町村	隊名	設立年度	
中	甲府市	健康の森 緑の少年隊	S53	峡	市川三郷町	上野小学校 緑の少年少女隊	H4	
		北東中 緑の少年少女隊	H5			市川東小 緑の少年少女隊	H8	
		子どもの森みどりの少年隊	H28			六郷小 緑の少年少女隊	H9	
		中道南小学校 緑の少年少女隊	H11		富士川町	増穂中学校 緑の少年少女隊	H3	
	韮崎市	穂坂小 緑の少年少女隊	H2			鯉沢町 緑の少年少女隊	H8	
		南アルプス市	八田小 緑の少年少女隊		H12	早川町	早川中 緑の少年少女隊	S61
			白根百田小学校 緑の少年少女隊		H1		早川北小 緑の少年少女隊	H29
			芦安小 緑の少年少女隊		H11	身延町	下山小学校 緑の少年少女隊	H7
	若草 緑の少年少女隊		H12		南部中学校 緑の少年少女隊		H5	
	楡形西小 緑の少年少女隊		S62		富士	5町	9隊	
	甲西 緑の少年少女隊	H11	富士吉田市			富士見台中学校 緑の少年少女隊	S63	
	北杜市	明野小 緑の少年少女隊				H6	ガールスカウト富士吉田 緑の少女隊	H13
		須玉小 緑の少年少女隊	H11	都留市		都留文大附属小 緑の少年少女隊	H4	
		高根中 緑の少年少女隊	S55			ガールスカウト都留 緑の少女隊	H13	
		長坂小学校 緑の少年少女隊	H5	大月市		初狩小 緑の少年少女隊	H5	
		泉小 緑の少年少女隊	S61			上野原市	島田小学校 緑の少年少女隊	H29
		武川小 緑の少年少女隊	H9	秋山小 緑の少年少女隊		H6		
		白州小 緑の少年少女隊	H4	東部		道志村	道志小 緑の少年少女隊	H13
	小淵沢小 緑の少年少女隊	H8	西桂町			西桂小 緑の少年少女隊	H10	
	甲斐市	竜王北小 緑の少年少女隊	H11			忍野村	忍野小 緑の少年少女隊	H10
		敷島北小 緑の少年少女隊	H5			山中湖村	山中小学校 緑の少年少女隊	S49
		双葉中 緑の少年少女隊	S58		鳴沢村	鳴沢村 緑の少年少女隊	H2	
	中央市	田富中学校 緑の少年少女隊	H12		富士河口湖町	河口湖 緑の少年少女隊	H1	
		豊富 緑の少年少女隊	H12			勝山 緑の少年少女隊	S50	
		玉穂南小 緑の少年少女隊	H12			西浜小 緑の少年少女隊	H3	
	昭和町	昭和町 緑の少年少女隊	H12			勝山中 緑の少年少女隊	S60	
	7市町	26隊			小菅村	小菅小 緑の少年少女隊	H3	
	峡	山梨市	八幡小 緑の少年少女隊		H19	丹波山村	丹波小 緑の少年少女隊	H11
			笛川小 緑の少年少女隊		H5	12市町村	18隊	
		笛吹市	春日居小 緑の少年少女隊	H7	計	27市町村	65隊・6,086人	
			石和町 緑の少年少女隊	H11				
			黒駒 緑の少年少女隊	H4				
			一宮町 緑の少年少女隊	H7				
八代小 緑の少年少女隊			H25					
境川小 緑の少年少女隊			H10					
芦川 緑の少年少女隊		H4						
甲州市		神金小 緑の少年少女隊	S63					
		菱山小 緑の少年少女隊	H5					
		大和小 緑の少年少女隊	S60					
3市		12隊						

57 森林公園

(1) 県民の森

所在地	南アルプス市上市之瀬字中尾山1760番地外				
面積 (ha)	953ha				
供用開始	昭和50年4月1日(当初開設 S43年) *H29.4.1に南アルプス市に施設譲渡				
主な施設	森林科学館周辺(森林科学館、林間広場、展望台、休憩舎、第一駐車場、散策路) 南伊奈ヶ湖周辺(菖蒲池四阿、自由広場、水生植物園、木製デッキ、第二駐車場) 森林科学館分室・登山道等(森林科学館分室、アヤマ平避難小屋、見晴し平四阿、見晴し平駐車場、登山道等) ※登山道以外は、南アルプス市に施設譲渡 南アルプス市既設施設(グリーンロッジ、キャンプ場、ウッドビレッジ、北伊奈ヶ湖水辺公園)				
	H29	H30	R元	R2	R3
管理費(千円)	-	-	-	-	-
利用者数(人)	-	45,657	49,375	30,534	35,755

(注)H28までの利用者数は、県民の森森林科学館が実施する「入園者入込調査」による。
H29は集計データなし。H30以降は市が管理する施設利用者数から算出。

(2) 武田の杜

所在地	甲府市山宮町片山3371外				
面積 (ha)	2,500ha				
供用開始	昭和54年5月1日(当初開設 健康の森S48年) *H18より指定管理者導入				
主な施設	健康の森195ha(サービスセンター、森林学習展示館、展望休憩室、キャンプ場、デイキャンプ場、遊歩道、癒しの小径、林間広場、野鳥観察小屋、四阿、展望台、自由広場、岩石園、水飲み場、手洗い場、トイレ、駐車場等) 鳥獣センター1ha(第1展示館、第2展示館、野鳥園) 幹線遊歩道23.6km(休憩舎、水飲み場、トイレ)				
	H29	H30	R元	R2	R3
管理費(千円)	41,508	41,508	42,360	42,449	42,221
利用者数(人)	100,612	96,997	93,927	49,144	55,813

(注)利用者数は、健康の森、鳥獣センター、幹線遊歩道の合計値。武田の杜管理事務所が実施する「入園者入込調査」による。

(3) 金川の森

所在地	笛吹市一宮町国分1162-1外				
面積 (ha)	36ha				
供用開始	平成8年5月30日 *H18より指定管理者導入				
主な施設	どんぐりの森10.9ha(管理事務所、トイレ、遊具施設、経塚古墳、ターゲットバードゴルフ場(ミニコース)、森のせせらぎ、峯望池、バーベキュー場、サイクルステーション等) スポーツの森11.3ha(サイクルステーション、乗物広場、遊具施設、ターゲットバードゴルフ場、マウンテンバイクコース等) さくらの森2.7ha(さくら堤、花見台、トイレ等) ふれあいの森3.7ha(芝生広場、トイレ等) かぶと虫の森5.3ha(バードデッキ、遊具施設、野鳥のせせらぎ、ゲートボール場、トイレ、いきもの観察施設、空中観察施設等) こもれびの森2.3ha(ドッグラン、水飲み場等)				
	H29	H30	R元	R2	R3
管理費(千円)	69,737	69,737	73,603	71,381	69,316
利用者数(人)	275,050	265,050	266,812	249,762	286,143

(注)利用者数は、森林公園金川の森管理事務所が実施する「入園者入込調査」による。

58 森林文化の森

県有林を核とした豊かな森林と地域の歴史・文化、産業、風習などを関連づけ、山梨ならではの新しい森林文化を発信し、地域振興にも寄与するため、平成10年度に「森林文化の森」の整備計画を策定した。既にある3つの森林公園のほか、県内各地の12箇所の森を整備し、各種森林体験プログラムが実施されている。

「森林文化の森」

番号	箇所名	所在市町村	面積 (ha)	テーマ
①	釜無水源の森	北杜市白州町	400	豊かな溪流と山の幸に出会う森づくり
②	八ヶ岳の森	北杜市長坂町、大泉町、小淵沢町	2,300	鹿や蝶と共生し、星空を楽しむ森づくり
③	瑞牆の森	北杜市須玉町	1,600	瑞牆山とシラカバ林に人が集う森づくり
④	乙女高原の森	山梨市牧丘町	760	レンゲツツジと山野草とふれあう高原の森づくり
⑤	兜山の森	笛吹市春日居町	120	ヤマナシの森再生とふるさとの眺望を楽しむ森づくり
⑥	大菩薩の森	甲州市塩山	1,200	日川源流とブナ・モミ原生林に親しむ森づくり
⑦	小金沢シオジの森	大月市七保町	500	シオジの純林と富士のパノラマに出会える森づくり
⑧	稲山ケヤキの森	笛吹市八代町	120	ケヤキの巨木林に憩う森づくり
⑨	河口の森	富士河口湖町	340	富士の眺望と文学にふれあえる森づくり
⑩	十谷の森	富士川町	1,600	渓谷散策とヒノキの美林を体験する森づくり
⑪	本栖の森	身延町、富士河口湖町	700	本栖湖の悠久の自然と峠道文化をたどる森づくり
⑫	思親山の森	南部町	470	駿河湾の眺望と山の幸に出会う森づくり

「森林公園」

番号	箇所名	所在市町村	面積 (ha)	主な施設
①	県民の森	南アルプス市	953	森林科学館、森林科学館分室、遊歩道、休憩展望施設、菖蒲池園地等 *H29.4.1に南アルプス市に施設譲渡
②	武田の杜	甲府市	2,500	森林学習展示館、サービスセンター、遊歩道、自由広場、展望休憩舎、キャンプ場、ログキャビン等
③	金川の森	笛吹市	36	管理事務所、冒険遊び場、サイクルステーション、乗り物広場、ターゲットパードゴルフ場、芝生広場等

林地開発許可等の現況

59 林地開発許可状況

目的 年度	工場・事業場 用地の設置		住宅団地の造成		別荘地の造成		宿泊施設、レ ジャー施設の設置	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
平成29年度	6	41	0	0	0	0	0	0
平成30年度	6	15	0	0	0	0	0	0
令和元年度	3	20	0	0	0	0	0	0
令和2年度	4	21	0	0	0	0	0	0
令和3年度	2	5	0	0	0	0	0	0

※林地開発協議(連絡調整)は含まない

60 採石、山・陸砂利、土採取認可状況

単位 面積: m²、数量: m³

区分 年度	採石認可			山・陸砂利採取認可			土採取認可		
	件数	掘削面積	数量	件数	掘削面積	数量	件数	掘削面積	数量
平成29年度	2	34,687	274,519	3	12,455	63,108	1	4,708	8,299
平成30年度	2	6,664	49,927	2	8,219	44,594	1	4,708	8,299
令和元年度	6	255,652	5,326,339	2	10,959	54,899	1	4,708	8,299
令和2年度	3	136,568	1,921,926	2	5,929	30,070	0	0	0
令和3年度	2	59,966	719,791	2	6,870	32,257	1	4,118	7,249

面積の単位:ha

区分 年度	土石等の採掘		道路の新設又は改築		その他		計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
平成29年度	0	0	0	0	1	3	7	48
平成30年度	0	0	0	0	1	7	7	22
令和元年度	0	0	1	3	0	0	5	24
令和2年度	0	0	0	0	0	0	4	21
令和3年度	0	0	0	0	0	0	2	5

6 1 土砂の埋立て等許可等の状況

面積の単位:ha

区分 年度	許可		届出		計	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
平成29年度	2	4.5	10	10.5	12	15.0
平成30年度	1	1.1	8	8.9	9	10.0
令和元年度	2	9.2	8	29.5	10	38.7
令和2年度	1	13.2	6	7.3	7	20.5
令和3年度	0	0.0	10	27.3	10	27.3

※届出は法令又は他の条例の規定による許可を受けたもの
(条例第6条第5項)

6 2 ゴルフ場の現況

面積の単位:ha

区分	施設数	面積	ホール数	備考
ゴルフ場数	41	4,722	819	
設計確認済	1	94	18	
計	42	4,816	837	

恩賜県有財産

6 3 県有林の地籍移動

調査時点	面積
令和4年 3月31日	158,272ha

※不要存置含む

資料:「森林GIS集計表」

(附表)

令和3年度地籍移動表

単位:ha

区分	契約年月日	面積	摘要
売払	R3.7.12	0.0017	古杣西沢砂防事業用地として県土整備部へ売却
売払	R3.7.21	0.5734	奥野川砂防事業用地として県土整備部へ売却
売払	R3.12.17	7.0458	富士山砂防浅間沢遊砂地工事用地として国土交通省へ売却
計	3件	7.6209	

6 4 県有林以外の土地及び建物一覧表

単位：㎡

名 称	所 在 地	土 地	建物等	備 考
南アルプス林道駐在所跡地	南アルプス市芦安芦倉字野呂川入東方		284.75	
韮崎(林)職員宿舍跡地	韮崎市水神二丁目5053-3	303.27		恩特買収
吉田(林)水源用地	南都留郡富士河口湖町船津字東横塚6076-2	844.00		恩特買収
林業技術センター跡地	南アルプス市上今諏訪字中河原850-1外	57,162.58		一般と交換
岩殿貯木場跡地	大月市賑岡町岩殿字子神森104-1外	8,311.00		恩特買収
神金石材事業所石材土場跡地	甲州市塩山赤尾字相之田453-1外	3,302.43		恩特買収
松里貯木場跡地	甲州市塩山小屋敷巳の起1866外	27,699.15		恩特買収
遅能戸林道先作業道	大月市賑岡町奥山字中村430-5,435-2	652.00		恩特寄附
高根営林区事務所跡地	北杜市高根町清里字念場原3545-1934、3545-1997	1,320.13		恩特買収
計		99,594.56	284.75	

*R4.3.31現在「山林資産等の現在高」による

6 5 境界保全管理事業実績

所属	種別	年度						
		29	30	1	2	3		
						委託	自力	計
中 北	巡視	86.58 km	190.84 km	172.29 km	194.98 km	178.78 km		178.78 km
	伐開	21.90	136.11	78.14	138.15	97.31		97.31
	歩道	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	検測	0.32	5.95	0.00	0.00	0.00		0.00
	標柱	12 本	28 本	17 本	37 本	19 本		19 本
峡 東	巡視	64.82 km	64.51 km	65.95 km	76.06 km	104.29 km		104.29 km
	伐開	41.70	39.58	25.51	41.59	59.13		59.13
	歩道	0.00	0.00	0.00	0.00			0.00
	検測	0.00	1.13	2.34	1.87	1.54		1.54
	標柱	27 本	27 本	23 本	19 本	13 本		13 本
峡 南	巡視	74.21 km	82.62 km	70.83 km	82.53 km	71.60 km		71.60 km
	伐開	48.48	56.95	48.84	54.96	51.52		51.52
	歩道	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	検測	0.33	0.45	0.30	0.00	0.12		0.12
	標柱	0 本	13 本	14 本	0 本	4 本		4 本
富士・東部	巡視	160.52 km	170.77 km	193.47 km	190.70 km	201.39 km		201.39 km
	伐開	48.48	49.56	63.99	60.74	67.38		67.38
	歩道	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	検測	17.33	1.70	0.00	0.00	0.00		0.00
	標柱	56 本	55 本	20 本	16 本	15 本		15 本
合 計	巡視	386.13 km	508.74 km	502.55 km	544.27 km	556.06 km	0.00 km	556.06 km
	伐開	160.56	282.20	216.48	295.44	275.34	0.00	275.34
	歩道	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	検測	17.98	9.23	2.64	1.87	1.66	0.00	1.66
	標柱	95 本	123 本	74 本	72 本	51 本	0 本	51 本

(注) 境界保全管理事業は、昭和63年度から実施。

林

政

6 6 林政関係予算及び決算

(1)一般会計

歳 出

単位:円

年 度	予 算 額	決 算 額	差 引 額
平成29年度	(1,195,874,534) 15,117,250,534	(1,195,341,997) 10,072,164,218	(4,559,291,100) 5,045,086,316
平成30年度	(4,559,291,100) 16,847,664,100	(4,553,731,368) 13,544,454,651	(2,787,328,524) 3,303,209,449
令和元年度	(2,787,328,524) 16,490,463,524	(2,766,238,978) 12,107,922,090	(3,845,301,911) 4,382,541,434
令和2年度	(3,845,301,911) 18,924,230,911	(3,541,212,754) 12,588,267,226	(5,406,601,919) 6,335,963,685
令和3年度	(5,406,601,919) 18,185,295,919	(5,129,731,237) 12,412,164,659	(4,872,831,884) 5,773,131,260

令和3年度内訳

単位:円

科目 (款)(項)(目)	予 算 額	決 算 額	差 引 額
農林水産業費	(5,051,172,919) 17,623,645,919	(4,930,274,237) 12,177,083,479	(4,872,831,884) 5,446,562,440
林業費	(5,051,172,919) 17,623,645,919	(4,930,274,237) 12,177,083,479	(4,872,831,884) 5,446,562,440
林業総務費	(125,377,700) 1,801,485,700	(114,089,500) 1,723,468,098	(0) 78,017,602
緑のふるさと推進事業費	(34,727,560) 278,442,560	(33,347,696) 268,117,969	(4,486,000) 10,324,591
林業振興指導費	(23,534,259) 717,646,259	(17,779,044) 506,491,120	(133,894,395) 211,155,139
造林費	(521,669,650) 1,606,285,650	(447,807,247) 940,186,641	(591,643,989) 666,099,009
林道費	(751,462,100) 3,528,840,100	(731,064,600) 2,673,640,733	(853,599,700) 855,199,367
治山費	(3,594,401,650) 9,588,127,650	(3,586,186,150) 5,978,419,850	(3,289,207,800) 3,609,707,800
鳥獣管理費	(0) 0	(0) 0	(0) 0
林業試験費	(0) 102,818,000	(0) 86,759,068	(0) 16,058,932
災害復旧費	(355,429,000) 561,650,000	(199,457,000) 235,081,180	(0) 326,568,820
農林水産施設災害復旧費	(355,429,000) 561,650,000	(199,457,000) 235,081,180	(0) 326,568,820
林道災害復旧費	(355,429,000) 428,350,000	(199,457,000) 202,627,000	(0) 225,723,000
治山施設災害復旧費	(0) 100,000,000	(0) 0	(0) 100,000,000
国直轄災害復旧事業費負担金	(0) 33,300,000	(0) 32,454,180	(0) 845,820
諸支出金	(0) 0	(0) 0	(0) 0
自然保護基金積立金	(0) 0	(0) 0	(0) 0
自然保護基金積立金	(0) 0	(0) 0	(0) 0
計	(5,406,601,919) 18,185,295,919	(5,129,731,237) 12,412,164,659	(4,872,831,884) 5,773,131,260

注: ()は繰越額で内数であり、予算額及び決算額は前年度からの、差引額は翌年度への繰越額をいう。

(2) 林業改善資金特別会計

歳入

単位:円

年 度	予算額	決算額	差引額
平成29年度	83,997,000	167,023,961	83,026,961
平成30年度	83,969,000	136,076,795	52,107,795
令和元年度	83,997,000	124,437,052	40,440,052
令和2年度	89,842,000	124,195,643	34,353,643
令和3年度	84,012,000	106,139,869	22,127,869

令和3年度内訳

科 目	予算額	決算額	差引額
国庫支出金	0	0	0
繰入金	1,502,000	132,688	△ 1,369,312
繰越金	56,987,000	76,629,000	19,642,000
諸収入	25,523,000	29,378,181	3,855,181
県債	0	0	0
計	84,012,000	106,139,869	22,127,869

歳出

単位:円

年 度	予算額	決算額	差引額
平成29年度	83,997,000	60,338,961	23,658,039
平成30年度	83,969,000	36,847,495	47,121,505
令和元年度	83,997,000	34,199,052	49,797,948
令和2年度	89,842,000	47,566,643	42,275,357
令和3年度	84,012,000	11,636,869	72,375,131

令和3年度内訳

科 目	予算額	決算額	差引額
林業・木材産業改善資金貸付金	72,510,000	136,527	72,373,473
資金貸付金	71,000,000	0	71,000,000
資金運営費	1,510,000	136,527	1,373,473
木材産業等高度化推進資金貸付金	11,502,000	11,500,342	1,658
資金貸付金	11,502,000	11,500,342	1,658
資金運営費	0	0	0
林業就業促進資金貸付金	0	0	0
資金貸付金	0	0	0
資金運営費	0	0	0
計	84,012,000	11,636,869	72,375,131

(3) 恩賜県有財産特別会計

歳入

単位:円

年 度	予 算 額	決 算 額	差 引 額
平成29年度	7,384,467,000	10,112,290,353	2,727,823,353
平成30年度	8,333,640,500	9,952,105,078	1,618,464,578
令和元年度	8,439,650,000	9,844,571,079	1,404,921,079
令和2年度	8,798,781,000	10,311,557,863	1,512,776,863
令和3年度	9,528,064,852	10,000,647,765	472,582,913

令和3年度内訳

単位:円

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引 額
分担金及び負担金	5,000,000	4,854,300	△ 145,700
造林費負担金	5,000,000	4,854,300	△ 145,700
使用料及び手数料	1,979,470,000	1,989,832,639	10,362,639
行政財産使用料	1,979,470,000	1,989,832,639	10,362,639
県支出金	2,891,743,852	2,042,293,944	△ 849,449,908
管理費県補助金	96,664,700	89,325,146	△ 7,339,554
事業費県補助金	2,795,079,152	1,952,968,798	△ 842,110,354
公共事業特例法 精算費県補助金	0	0	0
財産収入	2,254,641,000	2,321,118,926	66,477,926
財産貸付収入	1,912,481,000	1,887,019,392	△ 25,461,608
利子及び配当金	1,301,000	2,540,582	1,239,582
生産物売払収入	340,853,000	367,502,926	26,649,926
不動産売払収入	4,000	64,056,026	64,052,026
物品売払収入	1,000	0	△ 1,000
有価証券等売払収入	1,000	0	△ 1,000

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引 額
寄 附 金	6,001,000	6,000,000	△ 1,000
一般寄附金	6,001,000	6,000,000	△ 1,000
繰 越 金	827,447,000	1,994,496,616	1,167,049,616
繰 越 金	827,447,000	1,994,496,616	1,167,049,616
諸 収 入	3,528,000	387,817,340	384,289,340
受託事業収入	560,000	560,000	0
延滞金、加算金及び過料	1,000	0	△ 1,000
補 償 金	1,000	3,037,106	3,036,106
弁 償 金	1,000	6,696,005	6,695,005
違約金及び延納利息	1,000	150,954	149,954
雑 入	2,964,000	377,373,275	374,409,275
県 債	1,560,234,000	1,254,234,000	△ 306,000,000
造 林 債	0	0	0
林 道 債	1,175,000,000	898,000,000	△ 277,000,000
林道災害復旧債	34,000,000	5,000,000	△ 29,000,000
借 換 債	351,234,000	351,234,000	0
繰 入 金	0	0	0
県有林基金繰入金	0	0	0
一般会計繰入金	0	0	0
計	9,528,064,852	10,000,647,765	472,582,913

歳 出

単位:円

年 度	予 算 額	決 算 額	差 引 額
平成29年度	(635,520,182) 8,019,987,182	(635,115,000) 7,233,078,671	(577,845,080) 786,908,511
平成30年度	(577,845,080) 8,400,777,080	(570,552,311) 7,373,838,748	(840,503,080) 1,026,938,332
令和元年度	(840,503,080) 9,280,153,080	(802,414,869) 7,582,811,551	(1,420,332,352) 1,697,341,529
令和2年度	(1,420,332,352) 10,219,113,352	(1,262,130,714) 8,317,061,247	(1,494,027,800) 1,902,052,105
令和3年度	(1,494,027,800) 9,763,252,800	(1,345,433,177) 8,350,745,893	(1,041,219,100) 1,412,506,907

令和3年度内訳

単位:円

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引 額
管理費	(217,691,400) 1,078,391,400	(210,445,500) 988,132,997	(33,635,000) 90,258,403
総務費	(0) 611,190,000	(0) 595,873,666	(0) 15,316,334
[職員給与費等]	564,657,000	552,445,806	12,211,194
[管理指導費]	45,032,000	42,119,065	2,912,935
[労務対策費]	1,501,000	1,308,795	192,205
保護管理費	(217,691,400) 467,201,400	(210,445,500) 392,259,331	(33,635,000) 74,942,069
[森林保護費]	13,811,000	10,835,244	2,975,756
[県有林基金積立金]	1,300,000	1,195,182	104,818
[境界管理費]	35,892,000	31,584,915	4,307,085
[財産管理費]	(71,942,700) 94,282,700	(71,942,000) 88,867,715	(0) 5,414,985
[清里の森管理費]	(0) 16,857,000	(0) 13,731,298	(0) 3,125,702
[清里の森再整備事業費]	(145,748,700) 250,338,700	(138,503,500) 203,461,500	(33,635,000) 46,877,200
[分収林管理費]	54,720,000	42,583,477	12,136,523
事業費	(1,276,336,400) 5,217,971,400	(1,134,987,677) 3,965,723,522	(1,007,584,100) 1,252,247,878
計画調査費	(600,000) 77,234,000	(471,240) 69,319,030	(0) 7,914,970
[県有林管理計画編成費]	(0) 7,614,000	(0) 3,859,786	(0) 3,754,214
[調査処分費]	(600,000) 69,620,000	(471,240) 65,459,244	(0) 4,160,756
造林費	(171,200,000) 962,360,000	(169,499,137) 711,125,477	(241,643,700) 251,234,523

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引 額
[県造林費]	(166,000,000)	(165,059,537)	(237,698,000)
	867,360,000	623,475,631	243,884,369
[森林整備支援事業費]	59,800,000	58,702,146	1,097,854
[県造林費(合板・製材・ 集成材)]	(0)	(0)	(0)
			0
[分収林造林費]	(5,200,000)	(4,439,600)	(3,945,700)
	35,200,000	28,947,700	6,252,300
林 道 費	(796,398,800)	(766,459,200)	(765,940,400)
	3,781,526,800	2,982,586,925	798,939,875
[県営林道改良費]	(432,407,800)	(432,407,800)	(276,666,200)
	1,446,953,800	1,170,287,600	276,666,200
	(0)	(0)	(0)
[県営林道維持修繕費]	623,008,000	590,080,325	32,927,675
[県営森林管理道 開設費]	(347,880,000)	(317,940,400)	(467,748,200)
	1,444,411,000	976,591,000	467,820,000
[県営森林居住環境 整備事業費]	(16,111,000)	(16,111,000)	(21,526,000)
	267,154,000	245,628,000	21,526,000
林道災害復旧費	(308,137,600)	(198,558,100)	(0)
	395,990,600	202,132,090	193,858,510
[平成30年 林道災害復旧費]	(0)	(0)	(0)
	0	0	0
[令和元年 林道災害復旧費]	(308,137,600)	(198,558,100)	(0)
	311,745,600	202,132,090	109,613,510
[令和3年 林道災害復旧費]	(0)	(0)	(0)
	84,245,000	0	84,245,000
県有林野開発費	860,000	560,000	300,000
[スバルライン沿線管理費]	560,000	560,000	0
[県有林総合利用調査費]	300,000	0	300,000
交 付 金	2,067,645,000	2,021,087,600	46,557,400
交 付 金	2,067,645,000	2,021,087,600	46,557,400
公 債 費	1,088,245,000	1,065,801,774	22,443,226
元利償還金	1,088,245,000	1,065,801,774	22,443,226
繰 出 金	310,000,000	310,000,000	0
一般会計繰出金	310,000,000	310,000,000	0
予 備 費	1,000,000	0	1,000,000
予 備 費	1,000,000	0	1,000,000
計	(1,494,027,800)	(1,345,433,177)	(1,041,219,100)
	9,763,252,800	8,350,745,893	1,412,506,907

注:()は繰越額で内数であり、予算額及び決算額は前年度からの、差引額は翌年度への繰越額をいう。

[]は事業名を示す。

6 7 恩賜林の交付金交付状況

単位 面積:ha、金額:円

区分 年度	保護団体				保護面積	交付金				
	総数	内訳				総額	内訳			
		市町村	保護組合	財産区			事業割交付金	面積割交付金	その他交付金	
平成29年度	160	6	43	111	122,339.9	2,026,832,197	1,600,542	1,832,296	2,023,399,359	
平成30年度	160	6	43	111	122,452.8	2,042,423,779	1,196,562	1,600,542	2,039,626,675	
令和元年度	160	6	43	111	122,557.8	2,026,742,876	1,444,096	1,196,562	2,024,102,218	
令和2年度	160	6	43	111	122,643.3	2,051,280,741	1,477,578	1,444,096	2,048,359,067	
令和3年度	160	6	43	111	122,726.9	2,025,793,039	2,849,964	1,477,578	2,021,465,497	
所属別内訳	中北	77	1	18	58	44,532.0	111,610,486	2,153,740	498,391	108,958,355
	峡東	26	0	11	15	19,543.7	13,347,488	292,086	278,644	12,776,758
	峡南	26	0	6	20	23,401.3	7,055,111	87,385	268,629	6,699,097
	富士・東部	32	5	9	18	35,249.9	1,893,779,954	316,753	431,914	1,893,031,287

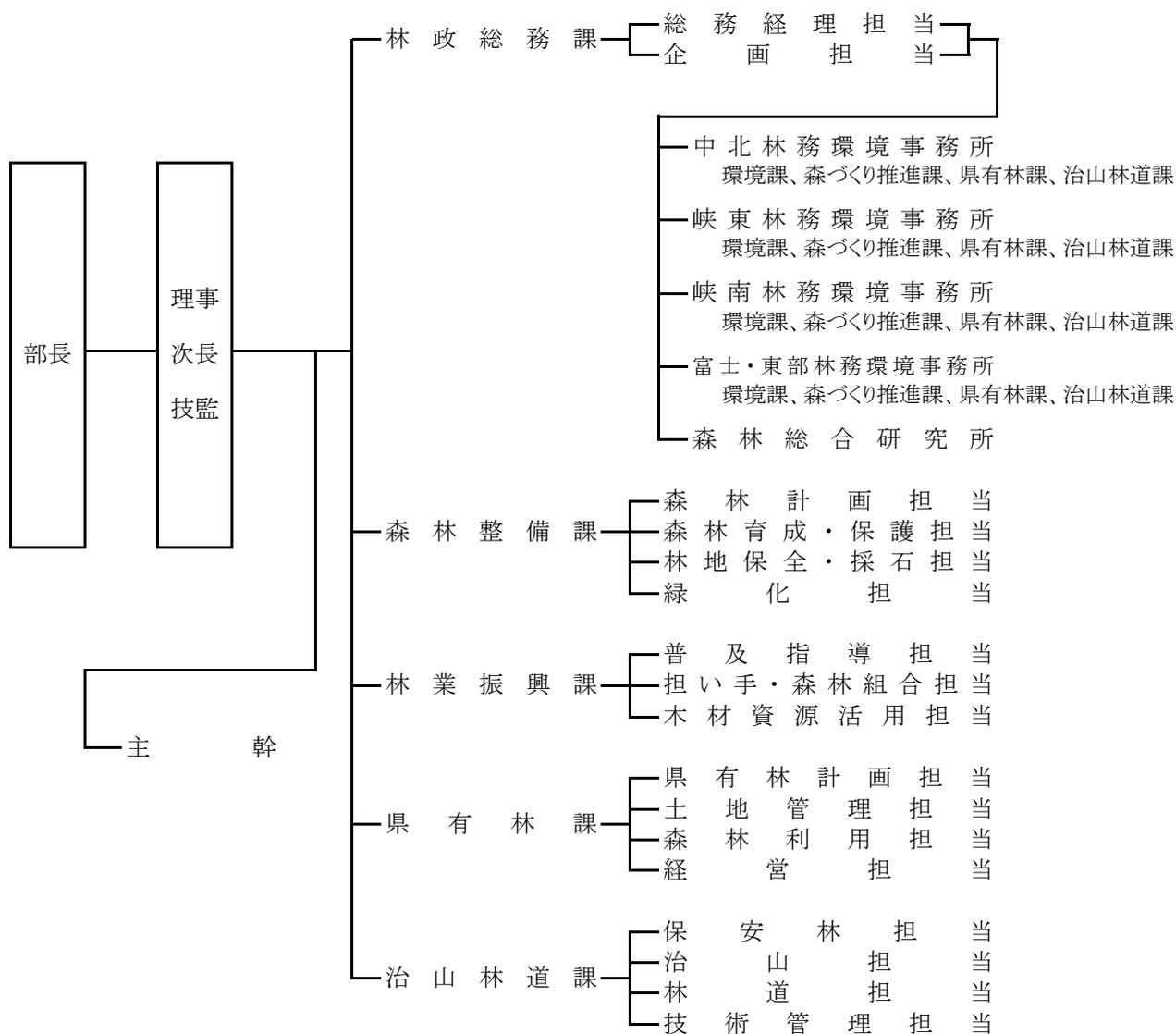
※ 保護組合数については、甲府市(上帯那町)と山梨市(牧丘町)で構成される北奥仙丈外二山恩賜県有財産保護組合を中北・峡東の両所属で計上。

その他交付金の内訳

部分林分収交付金	41,868,365
土地利用条例交付金	68,845,388
県有資産所在市町村交付金	120,633,200
演習場交付金	1,790,118,544
計	2,021,465,497

68 林政行政組織図（令和3年4月1日）

【林政部】



69 林政行政職員数

令和3年4月1日現在 単位：人

区 分	総 数	事務吏員	技術吏員	その他	非常勤嘱託	会計年度任用 職員
総 数	351	48	240	2	7	54
本 庁 総 数	82	21	57	0	0	4
部 長	1		1			
理 事	1	1				
次 長	1	1				
技 監	2		2			
主 幹	2		2			
林政総務課	11	8	2			1
森林整備課	19	4	13			2
林業振興課	13	2	10			1
県有林課	17	3	14			
治山林道課	15	2	13			
出 先 総 数	269	27	183	2	7	50
中北林務環境事務所	71	7	51		1	12
峡東林務環境事務所	51	5	35		2	9
峡南林務環境事務所	50	6	36			8
富士・東部林務環境事務所	66	6	49		1	10
森林総合研究所	31	3	12	2	3	11

総務経理担当(総務L)が管理する業務資料「所属別・職種別職員数」より作成

・事務吏員：行政事務、再任用(常勤)

・技術吏員：林業職、土木一括、総合土木、土木、農業土木、農業技術、化学、薬剤師などの技術職と研究職、再任用(常勤)

・その他：森林総研の技能員

・非常勤：非常勤嘱託、再任用(短時間)、森林総研の客員研究員

※育休取得中の職員を含む。会計年度任用職員に欠員補充(退職者補充代替)を含むが、育休代替・傷病代替は含まない。

※交流等による他部局からの職員数を含み、交流等による他部局への職員数は含まない。

※公益法人(森林協会、緑化推進機構)への派遣職員を在席所属に含む。

※事務取扱、兼務による重複カウントは行っていない。

※併任の公安職は含まない。

林 業 公 社
(H 2 8 年 度 廃 止)

70 造林実行面積

単位：h a

樹種 年度	スギ	ヒノキ	アカマツ	カラマツ	計
平成27年度 までの累計	1,219	5,455	1,255	377	8,306
平成28年度	—	—	—	—	0
平成29年度	—	—	—	—	0
平成30年度	—	—	—	—	0
令和元年度	—	—	—	—	0
令和2年度	—	—	—	—	0
令和3年度	—	—	—	—	0

71 保育事業実績

単位：h a、m

区分 年度	下刈	つる切	除伐	獣害防除	枝打	間伐	その他	作業道開設
平成27年度 までの累計	73,390	10,885	12,483	4,300	8,698	8,367	9,929	9,381
平成28年度	0	0	0	6	7	31	0	0
平成29年度	0	0	0	0	0	0	0	0
平成30年度	0	0	0	0	0	0	0	0
令和元年度	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年度	0	0	0	0	0	0	0	0
令和3年度	0	0	0	0	0	0	0	0

注)その他:倒木起、クズ枯殺等

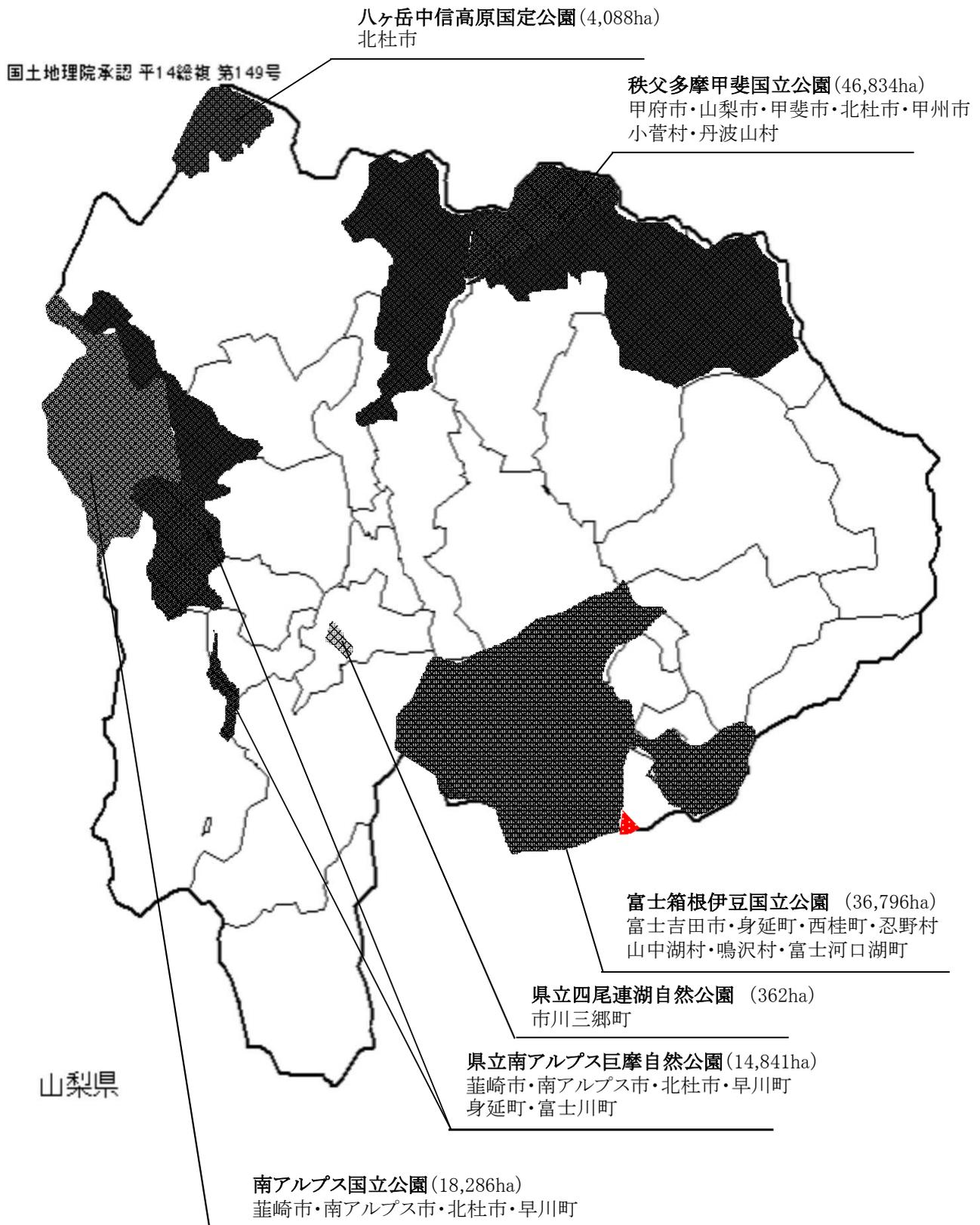
そ の 他

7 2 自 然 公 園

公園名	関係市町村 (都、県)	指定年月日 追 加 山梨県分のみ	公 園 全面積 (ha)	特徴
富士箱根伊豆 国立公園	〔東京都 神奈川県 山梨県 静岡県〕 富士吉田市 南巨摩郡 身延町 南都留郡 西桂町 忍野村 山中湖村 鳴沢村 富士河口湖町	昭和11年2月1日 〔昭和50年2月21日 北富士地域追加 平成3年7月20日 乗り入れ規制地域 の指定(北麓地域) 平成8年7月16日 変 更 平成18年3月22日 変 更 乗り入れ規制地域 の指定(本栖湖水面) 平成30年3月27日 変 更 小富士東側追加 乗り入れ規制地域 の指定(西湖水面・ 小富士東側)〕	121,749	富士山は、海拔高3,776mの孤峰の壮大さと単式コニーデの典型的なもので、その裾野には明媚な五湖をたたえ、北方には、三ツ峠、御坂山地、パノラマ台などの好展望地を備え、富士山の山腹を被う植生には顕著な垂直分布が観測され、北西部の青木ヶ原樹海、山中のハリモミ純林、つつじが原のレンゲツツジの群落、富士カラ松などが特徴のある植生を示している。また、山腹には、随所に火山現象による樹型溶岩、溶岩風穴など学術的にも貴重な資料が多い。
秩父多摩甲斐 国立公園	〔埼玉県 東京都 山梨県 長野県〕 甲府市 山梨市 北杜市 甲斐市 甲州市 北都留郡 小菅村 丹波山村	昭和25年7月10日 〔平成12年8月10日 変更と同時に秩父 多摩甲斐国立公園 に名称変更〕	126,259	この公園は、北奥千丈岳2,601mを最高峰とし、標高2,000mを超える山々が10座以上におよぶ奥秩父連峰がほぼ東西に屏風状に並び、甲武信岳(2,475m)で三方に分水して、笛吹川、荒川、千曲川となり、それぞれ、駿河湾、東京湾、日本海に注ぐ水源地帯である。この地域は、構造山地特有の古生層と相まって、すばらしいV字型渓谷をつくり、壮年期の地ぼうを呈し、花崗岩からなる金峰山、瑞牆山、昇仙峡などの奇勝が特異なランドマークを形成し、傑出した景観を備えている。また、山地を被う森林植生は暖帯林から亜寒帯林の垂直分布が観測でき、貴重な高山植物や野生動物の生息地としても適した地域である。
南アルプス 国立公園	〔山梨県 長野県 静岡県〕 韮崎市 南アルプス市 北杜市 南巨摩郡 早川町	昭和39年6月1日	35,752 (35,751)	本地域は、富士山に次ぐ第2の高峰北岳(3,193m)をはじめとする、3,000m級の高峰を有する赤石山地、駒ヶ岳、鳳凰三山により構成されており、垂直的地殻隆起の壮大雄偉な重量感ある山々と、山稜・山腹には高山植物群落、原生林があり、原始的景観がよく保たれている。また、間ノ岳、北岳、大樺沢、白根御池付近には氷河地形がある。

公園名	関係市町村 (都、県)	指定年月日 追 加 〔 山梨県分のみ 〕	公園 全面積 (ha)	特徴
八ヶ岳中信高原 国 定 公 園	〔 山 梨 県 〕 〔 長 野 県 〕 北杜市	昭和39年6月1日	39,857	八ヶ岳は、最高峰の赤岳で標高2,899mにおよび、日本列島を地質学上東西に二分する大地溝帯に沿って噴出した、南北25km標高2,000mを超える一連の見事な火山列を形成し、この火山列の頂部は並走する断層群によって地形が複雑化し、さらに著しい浸食作用により荒々しく削り出され、きわめて変化に富んでいる。また、山壁からは千尋の溪谷が流下し、中腹以下は優美な裾野が展開して、山岳と森林が形成する自然景観が特徴である。
県立四尾連湖 自 然 公 園	西八代郡 市川三郷町	昭和34年4月2日	362	本地帯は、山上湖として有名な四尾連湖を中心として、これをとりまく大畠山、蛾ヶ岳の諸峰と山麓にわたる地域である。四尾連湖は、周囲1.2kmの小湖であるが、山上にあって静かなたたずまいである。蛾ヶ岳はこの地域で最も高く、富士山、南アルプス、秩父の各連峰の展望地として格好の位置にある。
県立南アルプス 巨摩自然公園	韮崎市 南アルプス市 北杜市 南巨摩郡 早川町 身延町 富士川町	昭和41年4月1日	14,841	本地域は、南アルプス国立公園の前衛一帯からなり、御所山、燕頭山・千頭星山・大崖頭山・楡形山・富士見山と連続している巨摩山地で、赤石山地との境は一大断層線に相当していて、断層の裂け目に沿って西山温泉をはじめとする温泉や鉱泉に恵まれている。巨摩山地には小規模ながら準平原が残存するほか、白鳳溪谷、湯川不動庵などの溪谷美に恵まれた山岳景勝地である。また、亜高山植物の群落、天然記念物のカモシカあるいは野猿、鳥類の生息地である。

面積（山梨県分）				備 考 (関係都県公園面積)
(公園名)				
総数 (ha)	国有地 (ha)	公有地 (ha)	私有地 (ha)	
〔富士箱根伊豆 国立公園〕 36,796	2,167	22,325	12,304	東京都 27,499 神奈川県 10,356 静岡県 <u>46,693</u> 合計 121,344 ※静岡県との境界未定 405
〔秩父多摩甲斐 国立公園〕 46,834	197	35,403	11,234	埼玉県 34,411 東京都 35,298 長野県 <u>9,716</u> 合計 126,259
〔南アルプス 国立公園〕 18,286	—	(17,692)	593	長野県 14,079 静岡県 <u>3,387</u> 合計 35,752 ※公園計画の再検討が終了して いないため、県別合計と公園面 積は一致しない。 ()内は県の再測定値による。
〔八ヶ岳中信高原 国定公園〕 4,088	—	4,088	—	<u>長野県 35,769</u> 合計 39,857
〔県立四尾連湖 自然公園〕 362	—	60	302	
〔県立南アルプス 巨摩自然公園〕 14,841	—	11,740	3,101	



令和3年3月末現在

73 名勝および天然記念物

(1)文化財保護法による指定

名称	地域	指定年月日	解説
名勝			
特別名勝富士山	富士吉田市 外4町村	昭27. 11. 22	日本最高の高さ火山活動によって生まれた円錐形の山容は筆舌しがたい美しさがある。
特別名勝御岳昇仙峡	甲府市、甲斐市	昭28. 3. 31	荒川上流に展開する奇石怪石と青松のコントラストは絶景である。
猿橋	大月市	昭7. 3. 25 昭55. 2. 19(追加指定)	卓抜な構架は日本三奇橋の一つとして有名である。
恵林寺庭園	甲州市	昭19. 6. 26	心字池を中心とした築山、滝、洞穴などの岩石を多用した石組みは、剛健な趣がある。山号の乾徳山を垣間見ることが出来る。
向嶽寺庭園	甲州市	平6. 6. 6	本堂の裏、塩山の斜面に石組みを配し、滝を落とし、龍池には東から西に水を通した池泉鑑賞式庭園。
富士五湖	身延町、山中湖村、富士河口湖町	平23. 9. 21	山中湖・河口湖・西湖・精進湖・本栖湖からなり、富士山信仰とも関わりがあり、浮世絵「甲州三坂水面」等に代表される富士山と湖の一体感のある多くの芸術作品の題材となっている。
天然記念物			
特別天然記念物 ライチョウ	地域を定めず	昭30. 2. 15	キジ目、キジ科、ライチョウ属で、氷河期の大陸と陸続の時に、生息域を拡大したが、その後高山帯にとりのこされた。
特別天然記念物 カモシカ	地域を定めず	昭30. 2. 15	名前からはシカの仲間のようだが、偶蹄目、ウシ科、カモシカ属である。北海道、沖縄を除く日本全土の低山地から高山帯にかけて分布している。
特別天然記念物 鳴沢熔岩樹型	鳴沢村	昭27. 3. 29	溶岩樹型とは、溶岩が森林地を流れる時、樹木を包囲し、樹木は燃え尽きて樹幹の形となった堅穴あるいは横穴のことである。
富士山原始林及び青木ヶ原樹海	鳴沢村・富士河口湖町	大15. 2. 24 平22. 3. 8(追加指定・名称変更)	富士北麓青木ヶ原樹海から5合目に向かって一大原始林が続いている。この原始林は富士山の熔岩流の量により、森林の様相も異なっており、学術上からもまた植物垂直分布を見る上からも重要であり、また景観のうえからも価値が高い。
燕岩岩脈	甲府市	昭9. 12. 28	柱状節理の代標的岩脈。
躑躅原レンゲツツジおよびフジザクラ群落	富士吉田市	昭3. 3. 3	レンゲツツジは背が低く、多数の枝を出して株立ちとなり大きな花をつける。フジザクラの正名はマメザクラで、サクラとしては低木である。県花となっている。
山ノ神のフジ	富士吉田市	昭3. 1. 31	樹種はマメ科のフジ2株からなっていて、甲樹は幹囲2.40m、乙樹は2.20m。
吉田胎内樹型	富士吉田市	昭4. 12. 17	剣丸尾熔岩流の東縁にあり、1本の横臥樹型と3本の井型樹型、小円筒型横臥樹型からなる全長61mの熔岩樹型。
雁ノ穴	富士吉田市	昭7. 10. 19	雁ノ穴丸尾にあり、崩れ穴(全長57m)、流れ穴(全長150m)の2つの熔岩洞穴と16個の熔岩樹型からなる。
三恵の大ケヤキ	南アルプス市	昭3. 11. 30	指定当時日本一の巨樹ともいわれ目通り幹囲14.35m、高さ20m、幹の中心部が朽ちて2本に別れたような形になっている。
古長禅寺のビャクシン	南アルプス市	昭29. 6. 21	約650年前の開山当時前庭の四隅に夢窓疎石によって植えられたと伝える古木、4本のうち最大のは株立ちとなっている。北西の木で根回り6.95m、高さ約16mである。
山高神代ザクラ	北杜市	大11. 10. 12	樹種はシロヒガンで開花期は4月20日ころである。伝説によれば日本武尊のお手植えで、樹勢が衰えを憂慮した日蓮上人が念じたところ、不思議にも快復したといわれる。
美森の大ヤマツツジ	北杜市	昭10. 6. 7	ツツジ類は高木樹などが失われた場所に2次的に生えるもので、この付近山ツツジは赤色、赤紫色の花をつけるものが多く、指定樹は赤色である。群落をなす。
根古屋神社の大ケヤキ	北杜市	昭33. 5. 15	根古屋神社の拝殿前にある巨木で向かって左を田木、右を畑木と称して、芽吹きで豊作を占ったという。田木幹囲13.19m、畑木幹囲12.23mである。
上野原の大ケヤキ	上野原市	昭19. 11. 13	もと御岳神社の境内にあったもので、神社移転後、埋め立てて校庭となった。基部の約3mは盛土の中であるが、幹囲8.64m、高さ28mの巨木である。

名称	地域	指定年月日	解説
新倉の糸魚川-静岡構造線	早川町	平13. 8. 13	本州を東西に分かつ構造線である糸魚川静岡地質構造線の中で最大規模の断層路頭であり、フォッサ・マグナ構造発達史研究上極めて貴重な路頭。
本国寺のおハツキイチョウ	身延町	昭 4. 4. 2	雌株で、葉の上に種子を結ぶ。幹囲5.30m、高さ29.0m。日蓮上人お手植えの伝説がある。
上沢寺のおハツキイチョウ	身延町	昭 4. 4. 2	雌株で、葉の上に実をつける珍しい種であることが白井博士により紹介された逆さイチョウ、毒消しイチョウの名で親しまれている伝説の木である。平成30年10月の台風24号の強風により倒伏し、現在は斜めの状態となっており、支柱で支えている。
身延町ブッポウソウ繁殖地	身延町	昭12. 12. 21	ブッポウソウは、仏法僧目、仏法僧科、仏法僧属に入り、一科一属である。東南アジアやインド等に分布し、5月ころ日本には飛来する。ハトよりやや大きく、頭部は黒、嘴と足が赤、他は青紫色である。本県唯一の生息地。
八木沢のおハツキイチョウ	身延町	昭15. 7. 12	雄株で、葉の上に雄花がつくものである。おハツキイチョウの雄株は県下では2本しか見つかっていない。目通り幹囲約2.8m、高さ25mである。
忍野八海	忍野村	昭 9. 5. 1 平24. 9. 19 (追加指定・一部指定解除)	出口池、お釜池、底抜池、銚子池、湧池、濁池、鏡池、菖蒲池の八湧水からなる。このほかにも小湧水はあるが、仏教思想に基づき八海とした。
山中のハリモミ純林	山中湖村	昭38. 1. 18	鷹丸尾という熔岩流の上(72.34ha)に発達したハリモミの純林である。世界的に有名。近年植生の変化が見られる。
鳴沢氷穴	鳴沢村	昭 4. 12. 17	長さ約81.6mの熔岩洞穴で、2つの広間を持ち、天井には熔岩鐘乳石面が保存され、トンネルに並行して熔岩樹型が見られる。また富士山の覆流水が氷った氷塊があるので、名称のもととなった。
神座風穴 附 蒲鉾穴及び眼鏡穴	鳴沢村	昭 4. 12. 17	総延長約440mの規模の大きな風穴で、風穴内の空気は外温とほとんど変わらず、氷がない。蒲鉾穴は28mの長さで、ガスが表層を走った表層洞穴、眼鏡穴は円形のガス噴気孔とガスによって形成されたものである。
大室洞穴	鳴沢村	昭 4. 12. 17	大室山の北麓にあり、標高1190mである。現在入り口部が塞がれ入洞することができない。
精進の大スギ	富士河口湖町	昭 3. 1. 31	諏訪神社社殿南側にあり、目通り幹囲10m、樹高40mの巨木。
富士風穴	富士河口湖町	昭 4. 12. 17	総延長230m、幅5～10m、高さ5m前後で、多量の氷を有している。
富岳風穴	富士河口湖町	昭 4. 12. 17	総延長258.7m、熔岩棚がよく発達しているほか、熔岩鐘乳石は落下しており、洞穴形成後あとから流入した熔岩が縄状熔岩を形成している。
本栖風穴	富士河口湖町	昭 4. 12. 17	長さ約494mで、洞穴中央部に2つのガス噴気孔と一部に熔岩葡萄状鐘乳石が発達している。
龍宮洞穴	富士河口湖町	昭 4. 12. 17	標高940m、長さ約60mで、洞穴入り口付近に南北性の熔岩溝が発達する。崩壊が激しい危険な洞穴である。
船津胎内樹型	富士河口湖町	昭 4. 12. 17	複雑に雑交した溶岩樹型で、特に広場と呼ばれる部分の熔岩は肋骨状をなし、鉄分のため赤味を帯びる。
西湖蝙蝠穴及びコウモリ	富士河口湖町	昭 4. 12. 17	標高925mで洞穴の総延長が約350mにも及ぶ。熔岩鐘乳石面、縄状熔岩床が発達している。夏季でも冷気を覚えず、冬季も比較的温暖であることから、コウモリの冬眠場所となった。
甲斐犬	地域を定めず	昭 9. 1. 22	体高32～51cm、体重12～24kg、耳はやや長く、四肢は強健で飛節が発達し、尾は差尾または巻尾、毛は虎模様で粗剛である。
ヤマネ	地域を定めず	昭50. 6. 26	ネズミ目ヤマネ科の小動物。高山の森林地帯に棲み、果実や昆虫を食する。

(2)山梨県文化財保護条例による指定

名 称	所在地	指定年月日	特 徴
名勝			
棲雲寺庭園	甲州市	昭54. 3.31	急斜面にある庭園は、規模雄大で他に例がなく、その中に磨崖仏二軀がある。
東光寺庭園	甲府市	昭54. 3.31	池泉鑑賞式庭園で再興開山蘭溪道隆作と伝える。枯滝を中心に豪快な石組で、大変迫力に富む。
三光寺庭園	甲州市	昭54. 3.31	寺の草創は推古天皇の三年と伝える。流水式庭園、二つの鶴、亀の出島を持つ。
大善寺庭園	甲州市	昭54. 3.31	池泉鑑賞式庭園で、江戸時代初期の三枝守全の作庭。豪華な景趣、洗練された造形美を特つ。
永安寺庭園	山梨市	昭58.12.26	斜面を利用した2段構成の石組み構成は見事で、右手奥の斜立石手法の巨石が王石で、あるいは蓬莱石組の主峰ともみられる。
天然記念物			
富士浅間神社の大スギ	富士吉田市	昭33. 6.19	神社の御神木、目通り幹囲8.23m、高さ45m、富士太郎と呼ばれる。
富士金山神社のイチョウ	南部町	昭33. 6.19	雌木で県下一の巨木、幹囲8.85m、高さ30m。
湯島の大スギ	早川町	昭33. 6.19	幹囲は、10.8m。高さは50m、県下一の大杉。
河口浅間神社の七本スギ	富士河口湖町	昭33. 6.19	7本のスギの巨木。最も大きいもので、囲8.65m、高さ47.5mである。
檜峰神社のコノハズク生息地	笛吹市	昭33. 6.19	コノハズクは、4月下旬ころ飛来する。コノハズクがブッポウソウと鳴くのを確認した記念の場所。
七面山の大トチノキ	早川町	昭34. 2. 9	目通り幹囲7.0m。高さ25mの巨樹。
身延山の千本スギ	身延町	昭34. 2. 9	身延山西谷にある面積0.85ha、本数約250本、代表的な木は幹囲2.5～3.8m、高さ55mである。
神田の大糸サクラ	北杜市	昭34. 2. 9	エドヒガンの変種イトザクラ。目通り幹囲7.50m、高さ9mで、花期は4月中下旬である。
白州殿町のサクラ	北杜市	昭34. 2. 9	エドヒガン、目通り幹囲5.4m、高さ16m。
雲峰寺のサクラ	甲州市	昭34. 2. 9	エドヒガン、目通り幹囲5.0m、高さ約21.5m。
本良院の大ツゲ	北杜市	昭34. 2. 9	幹囲2.0m、高さ約5.85mである。樹種はモチノキ科のイヌツゲである。
渋沢のヒイラギモクセイ	北杜市	昭34. 2. 9	樹種はギンモクセイとヒイラギの雑種と推定される。枝下幹囲3.2m、高さ約6.4mである。
岩窪のヤツブサウメ	甲府市	昭34. 2. 9	ウメの変種ザロンバイ(座論梅)。結果した形が品の字に似ているので「品字梅」ともいう。
真福寺の大カヤ	都留市	昭34. 2. 9	目通り幹囲6.00m、高さ16.30mの巨木。
上於曾のアカガシ	甲州市	昭34. 2. 9	ブナ科アカガシで、高さ18.7m。
永岳寺の大カシ	韮崎市	昭34. 2. 9	ブナ科シラカシで、高さ25m。
塩部寿のフジ	甲府市	昭34. 2. 9	県道拡幅で昭和48年に現在地に移植、2本に別れ目通り幹囲0.75mと0.80m、花期は4月下旬。
苗敷山のアスナロ	韮崎市	昭34. 2. 9	穂見神社に植えられた、目通り幹囲3.25m、高さ30mの大樹。
モリアオガエル及び生息地	南部町	昭34. 2. 9	樹上生活を行い、産卵も水上の枝に卵塊を着け、孵化してオタマジャクシとして水中に落ちる。
七面山の大イチイ	早川町	昭34. 2. 9	目通り幹囲6.4m、高さ21.50mの巨樹。
笹子峠の矢立のスギ	大月市	昭35.11. 7	『甲斐叢記』の記述や二代広重の名画になっている。目通り幹囲9.0m、高さ26.2mで樹幹は空洞。
湯沢の思いスギ	南アルプス市	昭35.11. 7	連理(れんり)の姿を示す大木で、それぞれの幹囲5mで根廻りは10mとなる。高さ33m。

名 称	所在地	指定年月日	特 徴
上大幡のナシ	都留市	昭35.11.7	アオナシの台木にサビナシを接木したもので貴重。
一宮浅間神社の夫婦ウメ	笛吹市	昭35.11.7	花は紅色八重、めしべが2本で、1つの花に2果結実し、ゆ着する。
洞雲寺八房のウメ	山梨市	昭35.11.7	ヤツブサウメの特徴顕著。『甲斐国志』に紹介あり。
野牛島のビャクシン	南アルプス市	昭35.11.7	目通り幹囲2.65m、高さ11.5mの巨樹。
楡形町中野のカキ	南アルプス市	昭35.11.7	渋柿の品種エブク、目通り幹囲3.50mの巨木。
宝珠寺のマツ	南アルプス市	昭35.11.7	クロマツ、目通り幹囲3.25mの巨樹。
忍草浅間神社のイチイ群	忍野村	昭35.11.7	イチイ17本。最大は、幹囲3.70m、高さ15m。
本郷の千年ザクラ	南部町	昭36.12.7	エドヒガンの花の白色なもの。目通り幹囲4.40m、高さ12mで巨樹、老樹として有名。
一色のニッケイ	身延町	昭36.12.7	目通り幹囲1.60m、高さ8mの巨樹。
下竹森のネズ	甲州市	昭36.12.7	目通り幹囲3.10m、高さ16.5mの巨樹。
軍刀利神社のカツラ	上野原市	昭36.12.7	上地面上より1mの幹囲9.2m、高さ33mの巨樹。
比志神社の大スギ	北杜市	昭36.12.7	目通り幹囲6.8m、高さ33mの巨樹。
吉祥寺の新羅ザクラ	山梨市	昭36.12.7	エドヒガン、倒れた幹からまた成長、幹囲3.10mの巨樹。
青岩鍾乳洞	丹波山村	昭37.12.17	丹波山川支流、後山川の上流青岩谷左岸にある。総延長約740m。
水晶峠のヒカリゴケ洞穴	甲府市	昭38.9.9	昔、水晶を採掘した洞穴に発生するヒカリゴケ。
上菅口のネズ	甲斐市	昭38.9.9	目通り幹囲2.65m、高さ13.3m、樹齢約300年の巨樹。
龍地の揚子ウメ	甲斐市	昭38.9.9	本樹はアンズ。果実の核に揚子をさしたような穴がある。幹囲1.05m、高さ6.3mの巨樹。
菅田天神社のカシ群	甲州市	昭38.9.9	ソクバネガシとオオツクバネガシの巨木24木。最大のものは、幹囲3m以上、高さ24mである。
小原東のザクロ	山梨市	昭38.9.9	目通り幹囲1.25m、高さ7.35mの巨樹。
顕本寺のおハツキイチョウ	南部町	昭38.9.9	目通り幹囲4.80m、高さ25.5m。双性のお葉付イチョウである点が植物学上特異である。
竜泉寺の万年マツ	山梨市	昭38.9.9	クロマツ、目通り幹囲2.65m、高さ6.25mの名木。
鏡円坊のサクラ	身延町	昭39.2.20	イトザクラ、幹囲3.75m、高さ13mの巨樹。
湯沢のサイカチ	南アルプス市	昭39.6.25	目通り幹囲3.00m、高さ6.4mの巨木。
萬福寺のムクノキ	甲州市	昭39.6.25	目通り幹囲5.1m、高さ22.5mの巨樹。根が板状。
塩沢寺の舞鶴マツ	甲府市	昭40.5.13	クロマツ、目通り幹囲2.0m、高さ6m、鶴が舞い上がった形をした名木である。
膝立の天王ザクラ	山梨市	昭40.8.19	エドヒガン、目通り幹囲3.9m、高さ14.7mの巨樹。
城下のシキザクラ	山梨市	昭40.8.19	シキザクラ、春秋2回咲く珍種。
小淵沢のモミ	北杜市	昭41.5.30	目通り幹囲5.85m、高さ40mの巨木。

名 称	所在地	指定年月日	特 徴
樋之上のタカオモミジ	身延町	昭41. 5.30	タカオモミジ、目通り幹囲3.90m、高さ25.0mの巨樹。
本妙寺のイチョウ	身延町	昭41. 5.30	目通り幹囲6.75m、高さ30mの巨樹。
鶴島のムクノキ	上野原市	昭41. 5.30	目通り幹囲6.30m、高さ23mの巨樹。
清春のサクラ群	北杜市	昭41. 5.30	ソメイヨシノ48株の巨樹群、最大幹囲3.80m、高さ10mである。花期は4月下旬。
寺所の大ヒイラギ	北杜市	昭42. 5.29	幹囲2.05m、高さ8.5mの巨樹。
一宮神社の社叢	上野原市	昭42. 5.29	目通り幹囲8.40mのスギを始め、ヒノキ、トチノキの巨木が多い。
樋之上のヤマボウシ	身延町	昭42. 5.29	目通り幹囲1.60m、高さ16mの巨樹。
流通寺のビャクシン	市川三郷町	昭43. 2. 8	目通り幹囲3.5m、高さ8mの巨樹。
清泰寺のカヤ	北杜市	昭43. 2. 8	目通り幹囲5.40m、高さ28mの巨樹。
大嵐のビャクシン	南アルプス市	昭43. 2. 8	目通り幹囲3.48m、高さ17mの巨木。
智光寺のカヤ	笛吹市	昭45.10.26	根張りの発達状況は県下一。目通り幹囲5.5m、高さ29mの巨木。
下黒沢のコウヤマキ	北杜市	昭45.10.26	目通り幹囲4.5m、高さ21mの巨木。
鳥久保のサイカチ	北杜市	昭45.10.26	目通り幹囲5.2m、高さ10mの巨木。
遠照寺のアカマツ	北杜市	昭45.10.26	2本(夫婦の松)の巨木。各根回り4.85m、3.30m
宗源寺のヒダリマキカヤ	笛吹市	昭45.10.26	カヤノ変種ヒダリマキガヤデ。カヤの奇木。
鏡中条のゴヨウマツ	南アルプス市	昭45.10.26	庭木で目通り幹囲0.74m、高さ10.55m。ゴヨウマツの別種ネギシゴヨウにあたる。
井出八幡神社の社叢	南部町	昭45.10.26	本県最南端の社叢、タブノキ、カゴノキのほかヤブニッケイ、クスノキなどの暖地系植物が目立つ。
氷室神社の大スギ	富士川町	昭48. 7.12	目通り幹囲8.4m、高さ40m巨木。
一瀬クワ	市川三郷町	昭51. 2.23	一瀬クワの原木。一瀬クワは葉質、収量ともに優れ、養蚕に貢献した功績はきわめて大きい。
キマダラルリツバメ	南都留郡、北都留郡、富士吉田市、都留市及び大月市	昭52. 3.31 昭58. 7.21 記載変更	シジミチョウ科。後翅に2本の尾を持つ珍しい蝶。
ミヤマシロチョウ	南巨摩郡、南アルプス市、北杜市及び韮崎市	昭52. 3.31 昭58. 7.21 記載変更	標高1400～2000m生息する高山蝶の一種。
須玉町日影のトチノキ	北杜市	昭54. 2. 8	目通り幹囲7.95m、高さ35mの巨木。
四尾連のリョウメンヒノキ	市川三郷町	昭55. 9.18	二株。目通り幹囲6.30m、高さ28mと目通り幹囲4.6m、高さ27mの巨樹。
法久寺のコツブガヤ	甲斐市	昭58.12.26	果実が15～20mmと矮小。
下黒駒の大ヒイラギ	笛吹市	昭60. 3.19	幹囲2.95m、高さ7.5mの巨樹。
十日市場の大ケヤキ	南アルプス市	昭61. 3.19	幹囲8.8m、高さ24mの巨木。
島尻の大カヤ	南部町	昭61. 3.19	幹囲5.8m、高さ16.5mの巨樹。普通のカヤより実が大きく3cm近くある。
慈恩寺のフジ	甲府市	昭62. 1.21	囲2.5m、枝の広がり約300㎡の巨木。

名 称	所在地	指定年月日	特 徴
下石森のチョウセンマツ	山梨市	昭62.12. 2	幹囲1.70m、高さ7.3mのチョウセンゴヨウの名木。
称願寺のサクラ	笛吹市	昭63.11.16	樹種はヤマザクラ系の園芸種で名前が特定できない珍しいものである。幹囲4.18m、高さ6.5m
七日市場のチョウセンマキ	山梨市	昭63.11.16	根元で別れ、その幹囲2.05m、高さ5.70mの大木。
養福寺のフジ	北杜市	平 1. 4.19	シラカシとスギ、エノキに絡んで、高さ30m。古い木で根元は7本に別れ、太いものは1.1m。
大豆生田のヒイラギ	北杜市	平 2. 2. 7	幹囲3.5m、高さ7.7mの県下随一の雄株の巨樹。
京ヶ島の夫婦スギ	早川町	平 2 .6.28	2本の巨木(夫婦スギ)男スギは幹囲7.23m、高さ38.5m、女スギは幹囲6.77m、高さ40.5m。
比志のエゾエノキ	北杜市	平 2.12.20	幹囲3.90m、高さ13mの巨木。
表門神社のコツブガヤ	市川三郷町	平 3. 5.30	目通り2.2m、樹高19.5m。コツブガヤは、種子が小さい点が特色。甲斐市法久寺にも同種がある。
鳴沢のアズキナシ	鳴沢村	平 3. 5.30	幹囲3.15m、高さ23mの巨木。
薬王寺のオハツキイチョウ	市川三郷町	平 4. 3. 5	珍しい雄木。幹囲3.8m、高さ18m。
若神子新町のモミ	北杜市	平 4. 3. 5	幹囲5.5m、高さ33mの巨木。
東の大イヌガヤ	山梨市	平 4. 3. 5	貴重な老大樹。
箕輪新町のヒメコマツ	北杜市	平 5. 2.15	ゴヨウマツ(ヒメコマツ)で幹囲2.96m、高さ25mの巨木。
切差金毘羅山のヒノキ群	山梨市	平 5.11.29 平 9.12.15	山中の岩脈上に発達したヒノキ群で、最大のものは幹囲6.75m、高さ16.5m。
フジマリモ及び生息地	山中湖、河口湖、西湖	昭33. 6.19 平 5.11.29	フジマリモは緑藻類ミドリゲ族シオグサ科マリモ属の藻類。
リニア高川トンネル産出新第三紀化石	甲府市	平 6.11. 7	新生代(約700万年前)のツキヒガイ等の化石。
諏訪神社の社叢	北杜市	平 6.11. 7	アサダ、トチノキの大木の森床に石灰岩特有の植物群落がある。
船宮神社の大ヒノキ	甲州市	平 6.11. 7	幹囲6.48m、高さ30mの巨木。
柳川のイヌガヤ群	富士川町	平 6.11. 7	約40本が群生。最大は、幹囲0.9m、高さ7m。
兄川から出土したナウマン象等の化石	甲府市、山梨市	平 7. 6.22	約3万年前の年代が得られているナウマンゾウの臼歯および大型のシカの化石。
手打沢の不整合露頭	身延町	平 8. 2.19	フォッサマグナ構造発達史研究の歴史的舞台となった不整合露頭。
小淵沢町・白州町のトウヒ属樹根化石	北杜市	平 9.12.15	出土層位からリス氷期のもものと推定されるトウヒ属の樹根化石。
軽水風穴	鳴沢村	平10. 6. 8	殻(クラスト)の三層の間に空間が出来て鍾乳が見られること、チューブ・イン・チューブ、葡萄状溶岩鍾乳の特に貴重な洞穴。
溶岩球(LAVA BALL)群	鳴沢村	平10. 6. 8	入口部に引っ掛った3個、洞外に2個の計5個の球状をした溶岩球。
慈雲寺のイトザクラ	甲州市	平17.12.26	目通幹囲3.31m、樹高17.6m、枝張り11.5～12.5m、花卉5枚、花径2～2.2cm、紅紫色
関のサクラ	北杜市	平21.12.24	エドヒガン、幹囲5.79m、樹高15mの巨木
本遠寺の大クスノキ	身延町	平24. 8.30	幹囲7.3m、樹高19m、本県でこれほどのクスノキの巨木は稀である。
身延の六老杉	身延町	平30. 3.1	幹囲9.99m、樹高51.3m、本県有数の杉の巨樹である。

7 4 山梨県自然環境保全条例による自然環境保全地区等一覧表

(1) 自然環境保全地区一覧表

区分	名称	場所	所有区分 (ha)			
			国有地	県有地	民有地	計
自然保存地区 (13)	小金沢山	甲州市塩山上萩原、塩山下萩原、塩山牛奥 甲州市大和町初鹿野、田野 大月市大月町真木 大月市七保町瀬戸、奈良子		612		612
	小金沢土室	大月市七保町瀬戸		15		15
	滝子山	大月市笹子町白野、初狩町下初狩		37		37
	三ヶ峠山	都留市大幡		140		140
	御正体山	都留市鹿留、菅野熊井戸 南都留郡道志村		55	41	96
	七里ヶ岩	斐崎市穴山町重久 北杜市須玉町若神子	3	44	1	48
	黒岳	笛吹市御坂町上黒駒		12		12
	七面山	南巨摩郡早川町赤沢 南巨摩郡身延町身延		147	51	198
	笹ヶ岳	南巨摩郡早川町雨畑、保		615		615
	篠井山	南巨摩郡南部町成島、福土、楮根		74	19	93
	大岩山	北杜市白州町大武川		241		241
	大平	北杜市白州町上教来石		15		15
	清水谷	北杜市白州町上教来石		22		22
	計		3	2,029	112	2,144
自然環境保全地区 景観保存地区 (12)	小金沢溪谷	大月市七保町瀬戸		165		165
	小櫛山	山梨市牧丘町北原		13		13
	大滝不動尊	甲州市勝沼町菱山			40	40
	竜門峽	甲州市大和町初鹿野、田野、木賊		18	48	66
	戸川溪谷	南巨摩郡富士川町小室、平林		28	2	30
	雨畑湖	南巨摩郡早川町雨畑		46	170	216
	保川溪谷	南巨摩郡早川町保		9	61	70
	早川溪谷	南巨摩郡早川町湯島、新倉		18	53	71
	福士川溪谷	南巨摩郡南部町福士			44	44
	観音峠・茅ヶ岳	甲斐市上芦沢 北杜市須玉町江草、金ヶ岳		401		401
	紅葉橋	北杜市須玉町江草、比志		47	3	50
	八ヶ岳川俣	北杜市大泉町西井出		132		132
		計		0	877	421
歴史景観保全 地区(5)	塩の山	甲州市塩山上於曾			34	34
	岩殿山	大月市賑岡町強瀬、畑倉		48	1	49
	白山城	斐崎市神山町鍋山			12	12
	山梨岡	笛吹市春日居町鎮目			16	16
	谷戸城	北杜市大泉町谷戸			6	6
	計		0	48	69	117
世界遺産景観 保全地区(1)	富士山北麓	富士吉田市、南都留郡山中湖村 南都留郡鳴沢村、南都留郡富士河口湖町		2,937	10,138	13,075
		計		0	2,937	10,138
自然活用地区	乙女高原	山梨市牧丘町北原		91		91

(2)自然記念物一覧表

区分	名称	場所	所有区分 (ha)			
			国有地	県有地	民有地	計
植 物 (28)	新屋山神社の社そう	富士吉田市新屋			0.52	0.52
	三窪のレンゲツツジ及び生育地	甲州市塩山小屋敷、平沢		29.67		29.67
	竹森のザゼンソウ	甲州市塩山竹森			1.11	1.11
	嵯峨塩のオオバボダイジュ、モイワボダイジュ、ハルニレ及び生育地	甲州市塩山牛奥、大和町初鹿野		0.73		0.73
	三ツ峠山の特殊植物	都留市大幡 南都留郡西桂町下暮地 南都留郡富士河口湖町河口		794.67	57.86	852.53
	川棚のアラカシ林	都留市川棚			0.14	0.14
	宝鏡寺のヤマブキノソウ及び生育地	都留市夏狩			0.14	0.14
	苗敷山のモミ林	韭崎市旭町上条南割			2.46	2.46
	滝戸山のアオギリ林	甲府市中畑町		1.65		1.65
	滝戸山のシラカシ林	甲府市中畑町		0.65		0.65
	芦川のズズラン及び生育地	笛吹市芦川町上芦川			2.61	2.61
	畑熊のミスミノ	西八代郡市川三郷町畑熊			0.06	0.06
	氷室神社のスギ林	南巨摩郡富士川町平林			1.60	1.60
	早川橋のモクゲンジ林	南巨摩郡身延町遅沢			0.12	0.12
	七面山のゴヨウツツジ	南巨摩郡早川町高住 南巨摩郡早川町雨畑		8.12		8.12
	一宮賀茂神社のサカキ林	南巨摩郡身延町下山			0.29	0.29
	佐野の暖帯林	南巨摩郡南部町下佐野			0.06	0.06
	円蔵院のカギガタアオイ及びリンボク	南巨摩郡南部町南部			0.11	0.11
	西市森の暖帯林	南巨摩郡南部町富士			0.05	0.05
	富士川のサツキ及びシラン	南巨摩郡南部町万沢	0.72			0.72
	金山沢のハシドイ林	北杜市須玉町小尾		4.91		4.91
	木賊平のエゾリンドウ	北杜市須玉町比志		0.41		0.41
	石尊神社のアカマツ並木	北杜市白州町鳥原			0.55	0.55
	大室のカワノリ	南都留郡道志村大室	350m*1			350m
	石合のカタヒバ	南巨摩郡南部町富士			0.20	0.20
	古城山のシイ及びウラジロ	南巨摩郡南部町南部			0.30	0.30
	反木川上流のヨコグラノキ	南巨摩郡身延町八坂			0.0066	0.0066
	楡形山アヤマ平及び裸山のアヤマ群落	南アルプス市上市之瀬		11.33		11.33
動物 (2)	栃代川上流のハコネサンショウウオ及び生息地	南巨摩郡身延町栃代	1170m*2			1170m
	日野のオオムラサキ及び生息地	北杜市長坂町日野		0.59	市有地 0.92	1.51
地質鉱物 (8)	大島の灰長石	大月市七保町葛野			0.01	0.01
	牧丘の千貫岩	山梨市牧丘町北原		0.07		0.07
	曾根丘陵の植物化石及び珪藻化石	笛吹市境川町藤堡			0.02	0.02
	日蔭山の枕状溶岩	甲府市右左口町		0.02		0.02
	小原島の貝化石	南巨摩郡身延町栗倉			0.14	0.14
	上佐野の透輝石	南巨摩郡南部町上佐野			0.03	0.03
	ホッチ峠のマンジュウ石	甲斐市神戸、亀沢			0.02	0.02
	小袖の鍾乳洞	北都留郡丹波山村			0.49	0.49

*1公有土地水面 *2河川敷延長

75 やまなしの森林100選

平成4年度選定

分類	番号	名称	所在地	特長等
① 林業上模範となる森林	1	奥仙丈のクリ林	甲府市上帯那町	広範囲に密生して分布
	2	塔岩のアカマツ林	甲府市上帯那町	良質な種子採取する母樹林
	3	富士山の人工カラマツ林	富士吉田市上吉田	大正天皇即位を記念し植樹
	4	萩原山のヒノキ・カラマツの二段林	甲州市塩山上萩原	水源かん養を目指した複層林
	5	塚本山のヒノキ林	山梨市三富上釜口	塚本氏の寄付金で植栽
	6	中草のスギ・ヒノキ林	南部町成島	富士川地域の代表的優良林
	7	相の山のヒノキ林	南部町内船	手入れの行き届いた美林
	8	森村山林のスギ・ヒノキ林	南部町富士	明治中期に造林開始
	9	南又のスギ・ヒノキ林	南部町富士	林業経営の手本に
	10	富沢町有林のヒノキ林	南部町富士	古い歴史もつ一斉人工林
	11	高谷山の人工シラビソ林	南アルプス市芦安芦倉	低い標高に貴重な造林地
	12	東条林	南アルプス市上市之瀬	恩賜林御下賜に感激し植樹
	13	木賊峠の人工カラマツ林	北杜市須玉町比志	まれに見る大木の美林
	14	江草前山のケヤキ林	北杜市須玉町江草	人工植栽で集団的に生育
	15	八ヶ岳山麓人工カラマツ林	北杜市小淵沢町、高根町、長坂町、大泉町	広大な美林
	16	小淵沢のアカマツ林	北杜市小淵沢町棒道下	周辺の景観形成に役立つ
	17	下暮地のケヤキ林	西桂町下暮地	150年前から順次植栽
	18	札合のヒノキ・アカマツ林	忍野村内野	優れた林相、森林浴にも人気
	19	富士山二合目の人工シラビソ林	鳴沢村富士山	低い標高でも生育良好
	20	鳴沢の人工シラビソ・カラマツ林	鳴沢村富士山	公益的機能を重視し列状混植
	21	典範山のヒノキ林	小菅村棚沢	造林に17年費やす
	22	サカサ沢のヒノキ林	丹波山村泉水谷	森林復旧と水源かん養目的に植栽
	23	大沼沢のスギ林	丹波山村泉水谷	ヒノキ、カラマツを混交植栽
② 景観等に優れ人々に親しまれている森林	24	御岳昇仙峽のアカマツ林	甲府市高成町、甲斐市吉沢	優れた渓谷美を彩る天然林
	25	要害山のアカマツ林	甲府市上積翠寺町	自然休養林として親しまれる
	26	小松山のアカマツ林	甲府市和田町	森林浴や遠足に最適
	27	諏訪の森のアカマツ林	富士吉田市上吉田	雪代防止に3万本植林
	28	中の茶屋のフジザクラ群	富士吉田市上吉田	カラマツの緑と美しく調和
	29	北口浅間神社の森	富士吉田市上吉田	境内を埋める巨樹群
	30	大菩薩のブナ林	甲州市塩山上萩原	ハイカーの憩いの場に
	31	柳沢峠のブナ・ミズナラ林	甲州市塩山上萩原	自然散策に絶好の天然広葉樹林
	32	塩の山のアカマツ林	甲州市塩山上於曾	古今和歌集に読まれた景勝地
	33	嵯峨塩の広葉樹林	甲州市塩山牛奥、大和町初鹿野	日川渓谷沿いに多様な樹種
	34	御正体山の広葉樹林	都留市鹿留	針葉樹林と共生する森
	35	万力林	山梨市万力	公園に広がるアカマツ林
	36	黒岳の広葉樹林	大月市七保町	樹種豊富なカエデが魅力
	37	滝子山のブナ・ミズナラ林	大月市笹子町	米背峠に高樹齢の大木
	38	午頭のアカマツ林	韮崎市円野町	八ヶ岳、富士望む憩いの場
	39	西奥仙丈の原生林	山梨市牧丘町北原	シラビソ主体に分布
	40	檜峯神社の森	笛吹市御坂町上黒駒	スギ、ヒノキの古木でうっそうと
	41	沢妻川のシラカンバ林	笛吹市芦川町新井原	川沿いに集団的に生育
	42	竜ヶ岳の広葉樹林	富士河口湖町本栖	ミズナラ純林含む優れた天然林
	43	一宮浅間神社のアカマツ林	市川三郷町高田	境内に広がる高樹齢の美林
	44	氷室神社の森	富士川町平林	スギ林が県自然記念物に
	45	小室山妙法寺の森	富士川町小室	親しまれるスギ、ヒノキの大木
	46	赤沢のスギ、ヒノキ林	早川町赤沢	七面山参道沿いに壮観な林相
	47	筑ヶ岳の原生林	早川町雨畑	県最南端のハイマツ群落
	48	久遠寺の森	身延町身延	スギ、ヒノキで見事な森林美
	49	奥山七ツ釜の暖帯林	南部町富士	溪流沿いの紅葉見もの
	50	篠井山の広葉樹	南部町富士	ブナ林にヒメシャラ混生

分類	番号	名称	所在地	特長等
② 景観等に 優れた人々 に親しまれ ている森林	51	伊奈ヶ湖のヒノキ林	南アルプス市上市之瀬	湖畔に広がる美しい人工林
	52	紅葉橋の広葉樹とアカマツ林	北杜市須玉町江草	橋付近にトゲナシサイカチ
	53	本谷川渓谷の広葉樹林	北杜市須玉町小尾	増富温泉奥に広がる天然林
	54	金山沢の広葉樹林	北杜市須玉町小尾	県自然記念物指定のハンドイ林
	55	みずがき山麓のシラカンバ林	北杜市須玉町小尾	樹皮の美しさ登山者に人気
	56	富士見平のミズナラ林	北杜市須玉町小尾	登山道沿いに純林広がる
	57	通仙峡の広葉樹林	北杜市須玉町小尾	針葉樹と混生する天然林
	58	川俣溪谷の広葉樹林	北杜市大泉町西井出	東沢橋からの紅葉が絶景
	59	大滝湧水の森	北杜市小淵沢町上笹尾	優良な水環境の保全担う
	60	編笠山の原生林	北杜市小淵沢町小淵沢	コケむした森林にやすらぎ
③ 学術上貴重 な森林	61	梨ヶ原のアカマツ林	山中湖村山中	帯状の大径木が特別名勝に
	62	小菅川雄滝のシオジ林	小菅村川入	都民の生活用水確保に貢献
	63	三条谷の広葉樹林	丹波山村奥後山	シオジ主体の天然林
	64	大菩薩稜線のコメツガ林	丹波山村泉水谷	登山コース一帯に広がる
	65	奥仙丈のミズナラ林	甲府市上帯那町	大木揃いの貴重な原生林
	66	金峰山のネズコ林	甲府市御岳町	中腹一帯に珍しい樹種
	67	富士山の天然シラビソ林	富士吉田市、鳴沢村	岩に根張り風雪に耐える
	68	剣丸尾のアカマツ林	富士吉田市剣丸尾、富士河口湖町剣丸尾	溶岩地に発達した天然林
	69	大菩薩峠のウラジロモミ林	甲州市塩山上萩原	今後の森林施業に指針
	70	鈴庫山の天然ヒノキ林	甲州市塩山小屋敷	学術参考林で保存
	71	小金沢のシオジ林	大月市七保町	林道沿いの優れた広葉樹林
	72	鳳凰山のシラビソ・大シラビソ林	韮崎市清哲町	深山幽谷の世界醸す
	73	鳳凰山のダケカンバ林	韮崎市清哲町	枝張り広く古木の風情
	74	苗敷山のモミ林	韮崎市旭町	近くに植物の宝庫
	75	杣口のサワラ林	山梨市牧丘町杣口	火山岩上に群状に生育
	76	黒岳のブナ・ミズナラ林	笛吹市御坂町藤野木	御坂山を彩る広葉樹林
	77	稲山のケヤキ林	笛吹市八代町岡	県内一の規模誇る見本林
	78	滝戸山のミズナラ林	笛吹市境川町藤壘	大規模な純林、尾根筋に分布
	79	滝戸山のアオギリ林	甲府市中畑町	山地に自生の自然記念物
	80	滝戸山のシラカンバ林	甲府市中畑町	温帯林の代表的な樹種
	81	大室山のブナ林	富士河口湖町本栖	富士北麓を代表する広葉樹
	82	青木ヶ原樹海	富士河口湖町、鳴沢村	富士のすそ野に広大な原生林
	83	本栖の天然ヒノキ林	富士河口湖町本栖	溶岩地に自生の大径木
	84	柄代のミズメ林	身延町杉山	まれにみる大木の群生
	85	身延山の千本スギ	身延町身延	県天然記念物指定の美林
	86	安倍峠のオオイタヤメイゲツ林	身延町大城	静岡との県境に群生
	87	信玄堤のケヤキ林	甲斐市竜王	あばれ川を収める礎に
	88	北沢峠の原生林	南アルプス市芦安芦倉	ドロノキとシラビソ混生
	89	広河原のカツラ林	南アルプス市芦安芦倉	大木が集団的に生育
	90	白鳳峠のシラビソ林	南アルプス市芦安芦倉	典型的な倒木更新の林相
	91	楡形山の原生林	南アルプス市上市之瀬	コメツガ、ダケカンバが主体
	92	金峰山のヒメコマツ林	北杜市須玉町小尾	登山道に沿って集団的に生育
	93	清水谷の広葉樹林	北杜市白州町上教来石	コメツガ混生の優良天然林
	94	大平のシラカバ林	北杜市白州町大武川	釜無川源流に広範囲に群生
	95	鞍掛山の天然カラマツ林	北杜市白州町白須	価値ある大規模な純林
	96	精進口登山道二合目のブナ林	鳴沢村富士山	原生林の特徴示す貴重な森
	97	富士山三合五勺の天然カラマツ林	鳴沢村富士山	国の特別母樹林に指定
	98	精進口登山道の富士山原生林	鳴沢村富士山	亜高山帯の典型的針葉樹林
	99	御庭・奥庭のカラマツ林	鳴沢村富士山	風下にだけ伸びた片枝
	100	富士山五合目のダケカンバ林	鳴沢村富士山	森林限界での生育が教材に

附 属 资 料

森林・林業関係団体

令和4年3月31日

団 体 名	所在地(〒)・電話番号
(一社)山梨県森林協会	〒400-0016 甲府市武田1-2-5 055-287-7775 FAX 055-254-6020
(公社)山梨県恩賜林保護組合連合会	〒400-0031 甲府市丸の内1-5-4 恩賜林記念館内 055-237-1595 FAX 055-237-1596
(一社)山梨県林業研究会	〒400-0031 甲府市丸の内1-5-4 恩賜林記念館内 055-235-4391
(公財)山梨県緑化推進機構	〒400-0031 甲府市丸の内1-5-4 恩賜林記念館内 055-226-6279 FAX 055-226-6291
(一社)山梨県造園建設業協会	〒400-0115 甲斐市篠原2456-4 055-279-7328 FAX 055-234-5160
山梨県造園建設業協同組合	〒400-0115 甲斐市篠原2456-4 055-279-1311 FAX 055-279-1312
山梨県山砕石事業協同組合	〒409-3866 中巨摩郡昭和町西条5279 055-240-7311 FAX 055-240-7312
山梨県石材建設事業協同組合	〒404-0012 山梨市牧丘町室伏50 0553-35-4430 FAX 0553-35-4431
(一社)山梨県猟友会	〒400-0031 甲府市丸の内1-5-4 恩賜林記念館内 055-232-1869
山梨県山林種苗緑化木協同組合	〒400-0031 甲府市丸の内1-5-4 恩賜林記念館内 055-235-3989 FAX 055-227-5770
山梨県造林協会	〒409-3811 中央市極楽寺1214 森林組合連合会内 055-273-0511 FAX 055-273-0549
山梨県水源林造林推進協議会	〒404-0033 甲州市塩山赤尾453-1 峡東森林組合内 0553-33-2901 FAX 0553-33-3903
山梨県森林組合連合会	〒409-3811 中央市極楽寺1214 055-273-0511 FAX 055-273-0549
(一社)山梨県木材協会	〒400-0047 甲府市徳行4-11-20 055-228-7339 FAX 055-222-7703
林業・木材製造業労働災害防止協会 山梨県支部	〒400-0047 甲府市徳行4-11-20 055-242-8115 FAX 055-242-8116

森林・林業関係団体

令和4年3月31日

団 体 名	所在地(〒)・電話番号
山梨県林業・木材産業対策協議会	〒409-3811 中央市極楽寺1214 森林組合連合会内 055-273-0511 FAX 055-273-0549
山梨県特用林産協会	〒409-3811 中央市極楽寺1214 森林組合連合会内 055-273-0511 FAX 055-273-0549
山梨県林業改良普及協会	〒400-0016 甲府市武田1-2-5 森林協会内 055-251-5522 FAX 055-252-0244
山梨県木材青壮年協会	〒400-0026 甲府市塩部3-16-13 055-253-2240
山梨県素材生産事業者協議会	〒409-3811 中央市極楽寺1214 森林組合連合会内 055-273-0511 FAX 055-273-0549
山梨県林業機械化協会	〒400-0113 甲斐市富竹新田793-2 055-276-0011 FAX 055-276-0023
山梨県林業研究グループ連絡協議会	〒409-2734 南巨摩郡早川町雨畑1 早川町森林組合内 0556-20-5100
山梨県森林整備生産事業協同組合	〒400-0047 甲府市德行4-11-20 055-227-6067 FAX 055-227-6167
(株)清里の森管理公社	〒407-0301 北杜市高根町清里3545-1 0551-48-3151 FAX 0551-48-3051
(一財)山梨県森林土木コンサルタント	〒400-0105 甲斐市下今井2868 0551-28-7500 FAX 0551-28-7778

審議会等

令和4年3月31日

山梨県森林審議会	〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 森林整備課内 055-237-1111 (内6155)
山梨県ゴルフ場等造成審査会	〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 森林整備課内 055-237-1111 (内6170)

森 林 組 合

令和4年3月31日

組 合 名	所在地(〒)・電話番号
中 央	〒400-0851 甲府市住吉1-2-19 055-232-0581
峡 東	〒404-0033 甲州市塩山赤尾453-1 0553-33-2901
峡 南	〒400-0601 南巨摩郡富士川町鯉沢新居山官有番地 0556-27-0231
早 川 町	〒409-2734 南巨摩郡早川町雨畑1 0556-20-5100
身 延 町	〒409-2531 南巨摩郡身延町梅平2483-36 0556-62-0084
南 部 町	〒409-2212 南巨摩郡南部町南部8013-1 0556-64-2064
峡 北	〒408-0303 北杜市武川町宮脇36 0551-26-2300
南 都 留	〒402-0025 都留市法能404-13 0554-43-7455
大 月 市	〒401-0015 大月市大月町花咲1669-11 0554-22-4111
北 都 留	〒409-0112 上野原市上野原5273-2 0554-62-3330
富 士 北 麓	〒401-0301 南都留郡富士河口湖町船津6663-1 0555-72-2300
山梨県森林組合連合会	〒409-3811 中央市極楽寺1214 055-273-0511

国の機関等

令和4年3月31日

名 称	所在地(〒)・電話番号
関東森林管理局 山梨森林管理事務所	〒400-0021 甲府市宮前町7-7 055-253-1336
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 関東整備局 甲府水源林整備事務所	〒400-0031 甲府市丸の内3-1-6 山梨316ビル 055-235-7276
関東農政局 山梨県拠点	〒400-0031 甲府市丸の内1-1-18 甲府合同庁舎 055-254-6055